「接続ガイド」ホームページ
本機の接続などに関する情報を、以下のホームページでも確認できます。
http://www.sony.co.jp/im/

「Q&A」ホームページ
お客様からよくあるお問い合わせと解決法に関する情報を、以下のホームページで確認できます。
http://www.sony.co.jp/faq/bravia/

本機を壁にかけて使用する場合の設置方法はこの取扱説明書に記載されています。別冊の取扱説明書「本機を壁にかけて使う」は付属していません。

よくあるお問い合わせ、解決方法などはホームページをご活用ください。 http://www.sony.co.jp/support

使い方相談窓口
フリーダイヤル……0120-333-020
携帯電話・PHS・一部のIP電話…0466-31-2511

修理相談窓口
フリーダイヤル……0120-222-330
携帯電話・PHS・一部のIP電話…0466-31-2531
※取扱説明書・リモコン等の購入相談はこちらへお問い合わせください。

左記番号へ接続後、最初のガイダンスが流れている間に「200」+「#」を押してください。直接、担当窓口へおつなぎします。

FAX(共通) 0120-333-389 受付時間 月～金：9:00～20:00 土・日・祝日：9:00～17:00
ソニー株式会社 〒108-0075 東京都港区港南1-7-1

この説明書は、古紙70％以上の再生紙を使用しています。

Printed in Japan

3294238020

SONY 地上・BS・110度CSデジタルハイビジョン液晶テレビ KDL-20J1/26J1

SONY

3-294-238-02(1)

BRAVIA

地上・BS・110度CSデジタルハイビジョン液晶テレビ 取扱説明書

KDL-20J1/KDL-26J1

お買い上げいただきありがとうございます。

⚠警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。**この取扱説明書と別冊の「安全のために」をよくお読みのうえ、**製品を安全にお使いください。
お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

別冊ガイドのご案内

本機を設置するときまたはつないだ機器や便利な機能を使うときなど、シーンに合わせて別冊ガイドもご覧ください。

お買い上げ時の設置のとき、引越ししたとき

かんたん設置ガイド

アンテナ接続も迷わずできます

ブラビアリンク対応機器をつないで便利に使いたいとき

もっとつながるブラビアリンクガイド

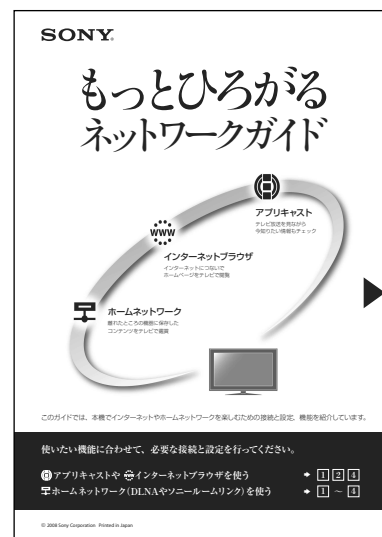
接続･設定をすると、本機のリモコンのボタンひとつで複数の機器を連動操作できます

ブラビアリンク対応機器やHDMI機器制御対応機器について詳しくは、

http://www.sony.co.jp/bravia/support/をご覧ください

ネットワークにつなぎたいとき

もっとひろがるネットワークガイド

お使いの環境に合わせた接続が一目でわかり、アプリキャストやホームページなどを楽しめます

目次

テレビを見るために準備する

「接続ガイド」ホームページ
http://www.sony.co.jp/im/

他機器をつなぐ

「接続ガイド」ホームページ
http://www.sony.co.jp/im/

基本的な使いかた

テレビを見る

次のページにつづく⇨

見たい番組を探す

つないだ機器の映像を見る／録画する

さまざまな設定／調整をする

ネットワークで楽しむ

「接続ガイド」ホームページ
http://www.sony.co.jp/im/

困ったときは

「Q&A」ホームページ
http://www.sony.co.jp/faq/bravia/

その他

付属品を確かめる

付属品一覧

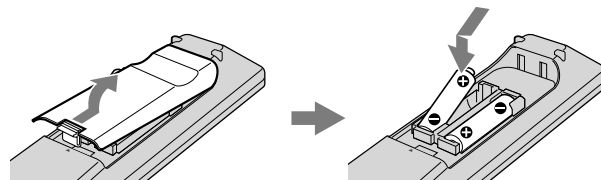
付属品	
• B-CASカード（デジタル放送用ICカード）（1枚） • B-CAS用ユーザー登録はがき台紙（1枚）	
• リモコン（1個） • 単3形乾電池（2個）	
• VHF/UHF用同軸アンテナ接続ケーブル（2.5m）（1本）	
• テーブルトップスタンド（1個）	 KDL-26J1
• 本体固定用ネジ（3本）	
• 転倒防止用ベルト（1本） • 取付用ネジ（M6×18mm）（1本） • 木ネジ（M3.8×20mm）（1本） 	 取付用ネジ 木ネジ
• 取扱説明書 • かんたん設置ガイド • もっとつながるブラビアリンクガイド • もっとひろがるネットワークガイド • 安全のために • 地上アナログ／地上デジタル放送の地域別チャンネル表 • ソニーご相談窓口のご案内 • 保証書 • ソフトウェアに関する重要なお知らせ （各1部）	

別売りアクセサリーについて

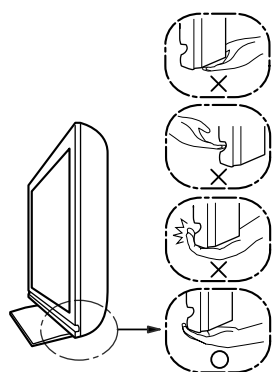
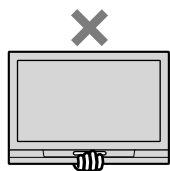
他の機器との接続（☞14、21ページ）には、別売りアクセサリーが必要です。本書記載の別売りアクセサリーは、2008年1月現在のものです。万一品切れや生産完了のときはご容赦ください。

リモコンに電池を入れるには

つまみを押しながら、ふたを上げてください。

必ずイラストのように⊖極側から電池を入れてください。無理に入れたり逆に入れたりすると、ショートの原因になり、発熱することがあります。

テレビの持ち運びかた

正しい方法で運搬／移動する

誤った方法で運搬したり移動したりすると、本機が落下し、打撲や骨折をしたり、大けがや故障をすることがあります。
テレビの底面を持つときは、イラストのようにしっかりと持ってください。
運ぶときには、衝撃を与えないようにしてください。落下や破損などにより、大けがの原因となります。
特に、液晶画面を押さえたり、強い力が加わるような持ちかたをしないでください。
本機を運ぶときは、電源プラグおよび本機に接続されているケーブル類をすべてはずしてください。電源プラグを差し込んだまま移動させると、電源コードが傷つき、火災や感電の原因となることがあります。
修理や引越しなどで本機を運ぶ場合は、お買い上げ時に本機が入っていた箱と、クッション材を使ってください。

本体前面やへこんでいる部分を強く握らずに、下部を支える。

下側を持たないでください。

スタンドの付けかた／はずしかた

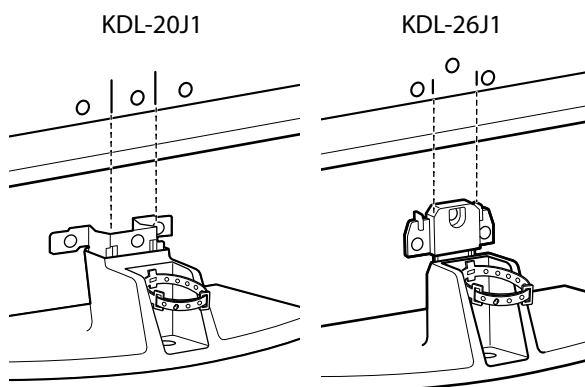
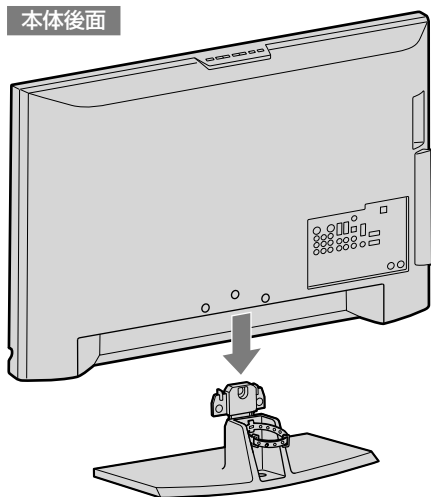
スタンドの付けかた

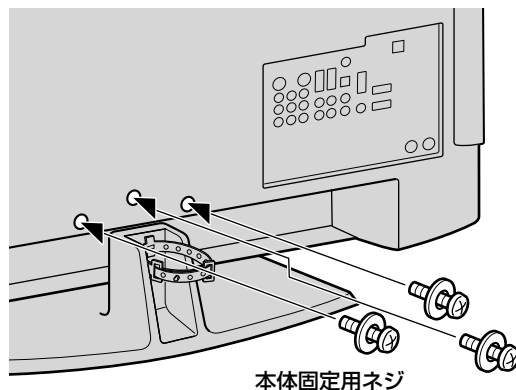
本体を付属のテーブルトップスタンドに取り付けます。
取り付ける前に、付属のネジに合ったドライバーをご用意ください。

1 本体をスタンドに載せる。

本体後面に差し込み口の目印となる2本線があります。スタンドの接合部の真上に、この2本線を合わせて、本体を載せてください。

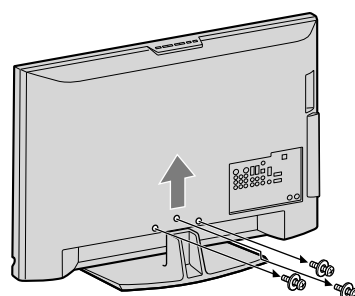
ご注意

片方の手で底面を持ち、もう片方の手で本体上部を支えてください。

2 本体とスタンドを本体固定用ネジ3本で固定する。

⬆の位置で本体固定用ネジを締め、スタンドを固定してください。

ご注意

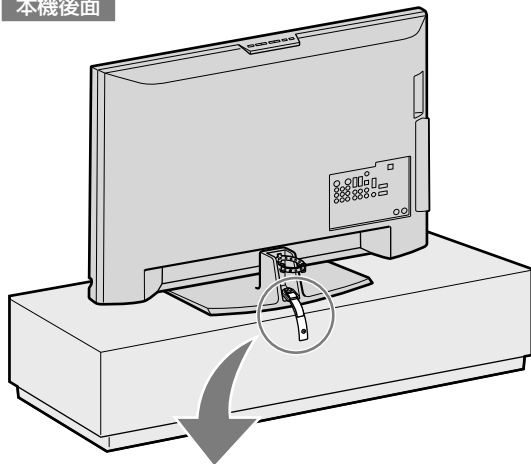
電動ドライバーを使う場合、締め付けトルクは約1.5N·m {15kgf·cm} に設定してください。

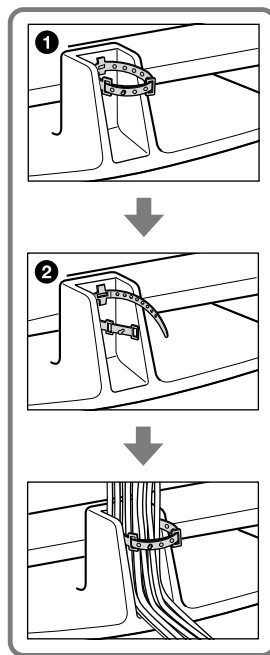
スタンドのはずしかた

本機を壁にかけるときにのみ、スタンドをはずしてください。
⬆の位置の本体固定用ネジをはずし、スタンドをはずしてください。

ご注意

- 液晶画面を下にして置かないでください。
  スピーカー部分が変形することがあります。
- とりはずしたスタンドのネジは、壁掛けユニットの取り付けに使用しないでください。

転倒防止の処置をする

スタンドとテレビ台などに付属の転倒防止用ベルトを取り付けて、本機が転倒しないようにします。

ケーブルをまとめる

本機はワイヤークランパーを使って、ケーブル類をすっきりまとめられます。
ただし、電源コードはこのワイヤークランパーでまとめないでください。

壁に掛けるとき

本機を壁に掛けて使用するときは、必ず下記の別売りの壁掛けユニットをご使用ください。
SU-WL100
(2008年1月現在)
詳しくは、壁掛けユニットの取扱説明書や本書の「別売りアクセサリーを取り付ける」(☞119ページ)をご覧になり、正しい手順で作業してください。
壁掛けユニットの取り付けは、お買い上げ店や工事店にご依頼ください。

ご注意

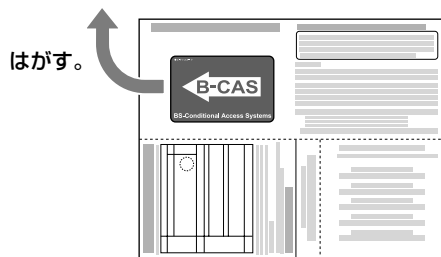
- 転倒防止の処置をしないと、本機が転倒し、けがの原因となることがあります。
- テレビ台の種類により、付属の木ネジが使用できないときや、強度が充分とれないときには、お買い上げ店や工事店にご相談の上、市販のネジ(直径3 ～ 4mm)をご使用ください。

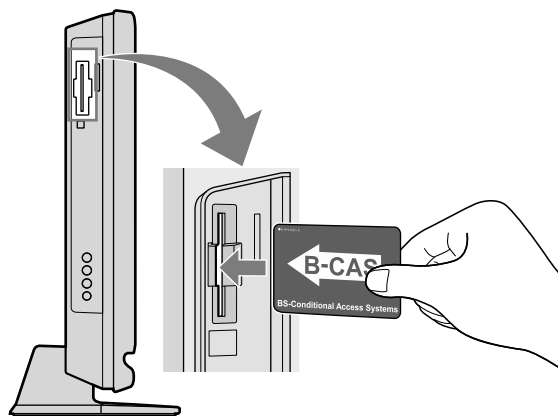
B-CAS(ビーキャス)カードを入れる

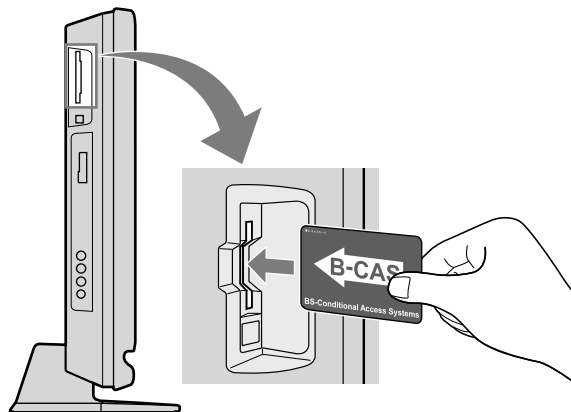
B-CASカード(デジタル放送用ICカード)はお客様と地上デジタル、BSデジタル、110度CSデジタルの放送局をつなぐカードです。
デジタル放送を視聴するしないに関わらず、必ずB-CASカードを挿入してください。

次の手順は、電源を切った状態で行ってください。

1 同封の「ビーキャス(B-CAS)カード使用許諾契約約款」の内容を読み、了解された上で、台紙からB-CASカードをはがす。

B-CAS用ユーザー登録はがき台紙の内容にご不明な点があるときは、B-CASカスタマーセンター(電話番号0570-000-250)へお問い合わせください。

2 B-CASカードを奥までしっかり挿入する。

KDL-20J1

上の図のとおり、印刷された矢印の方向に挿入する。

KDL-26J1

上の図のとおり、印刷された矢印の方向に挿入する。

3 同梱のB-CAS用ユーザー登録はがきに必要事項を記入し、投函する。

ご注意

- 2004年4月から、番組の著作権保護のためにB-CASカードを利用しています。
  B-CASカードを挿入しないと、すべてのデジタル放送を視聴できなくなります。
- 2004年4月からデジタル放送には、「一回だけ録画可能」のコピー制御信号が加えられています。詳しくは、「録画制限と著作権保護について」(☞113ページ)および録画機器の取扱説明書をご覧ください。

アンテナをテレビだけにつなぐ

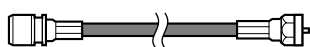
録画／再生機器と接続する場合には、「アンテナをテレビと録画機器につなぐ」（☞14ページ）を参照してください。
アンテナを接続するときは、電源コードをコンセントにつないでおかないでください。

地上波と衛星放送の信号が混合の場合

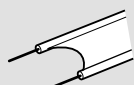
＊ 地上デジタル放送を受信します。

ご注意

- 電波干渉を防ぐためにアンテナ線は電源コードからなるべく離してください。
- これまでお使いのUHF用アンテナを地上デジタル用に使用する際に、受信エリア内であってもアンテナ設置状態、屋内配線状態でうまく映らなかったり、画面が乱れたりすることがあります。お買い上げ店などにご相談ください。
- BS/110度CS IF入力端子には、必ず衛星用同軸ケーブルをつないでください。
- 衛星用同軸ケーブルを接続する際には、同軸ケーブルの芯線が曲がらないよう、端子やコネクターに正しく差し込んでください。曲がると金属部分に触れ、ショートの原因となります。

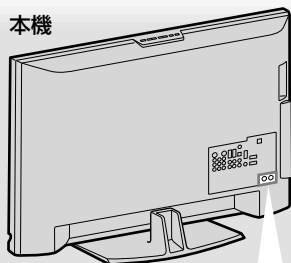
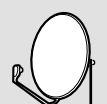
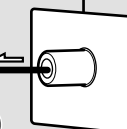
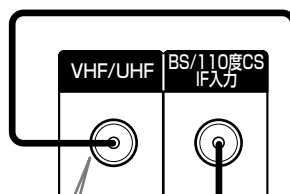
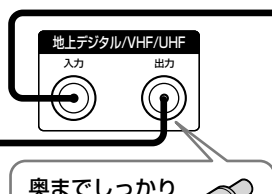
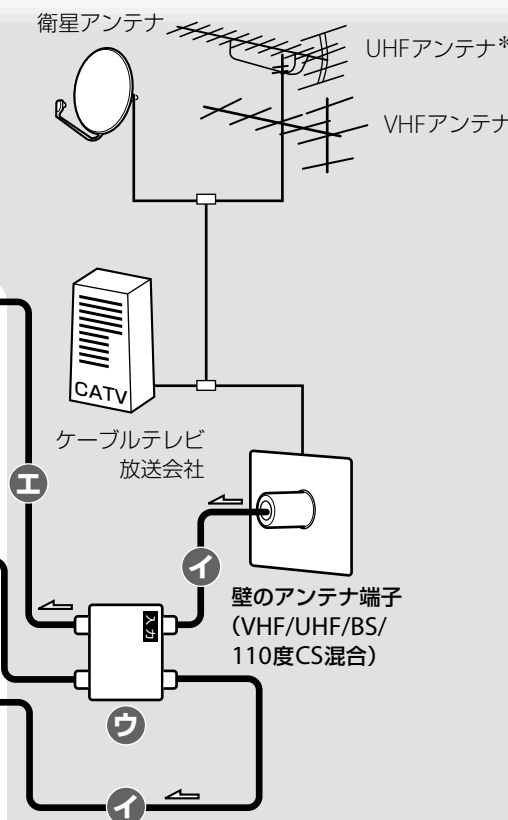
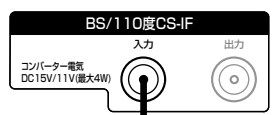
- ショートすると画面に表示が出て、本機前面の電源／録画予約／録画ランプが緑色に点滅しますので、「故障かな？と思ったら」（☞106ページ）をご覧になり対処してください。

地上波と衛星放送の信号が個別の場合

＊ 地上デジタル放送を受信します。

- フィーダー線は同軸ケーブルよりも雑音電波などの影響を受けやすいため、信号が劣化します。お買い上げ店などにご相談ください。

フィーダー線

アンテナをテレビと録画機器につなぐ

アンテナを接続するときは、電源コードをコンセントにつないでおかないでください。

地上波と衛星放送の信号が混合の場合

本機
録画機器
衛星アンテナ
UHFアンテナ*
VHFアンテナ
VHF/UHF
BS/110度CS IF入力
地上デジタル/VHF/UHF
入力
出力
ア
奥までしっかり差し込む。
CATV
ケーブルテレビ放送会社
エ
イ
BS/110度CS-IF
入力
出力
コンバーター電気 DC15V/11V(最大4W)
壁のアンテナ端子（VHF/UHF/BS/110度CS混合）
ねじ込み式側を奥までしっかり締める。
ウ
映像
1
右ー音声ー左
映像

映像／音声端子をオ～ケのケーブルで接続してください。

22ページ

⟶：信号の流れ

＊ 地上デジタル放送を受信します。

付属

ア VHF/UHF用同軸アンテナケーブル（1本）

別売り

イ 衛星用同軸ケーブル（3本）

ウ 全端子電流通過型のCS ／ BS ／地上波放送対応分配器（EAC-DSD13など）（1個）

エ VHF/UHF用同軸アンテナケーブル（1本）

ご注意

- つなぐ機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。
- 電波干渉を防ぐためにアンテナ線は電源コードからなるべく離してください。
- これまでお使いのUHF用アンテナを地上デジタル用に使用する際に、受信エリア内であってもアンテナ設置状態、屋内配線状態でうまく映らなかったり、画面が乱れたりすることがあります。お買い上げ店などにご相談ください。
- BS/110度CS IF入力端子には、必ず衛星用同軸ケーブルをつないでください。
- 衛星用同軸ケーブルを接続する際には、同軸ケーブルの芯線が曲がらないよう、端子やコネクターに正しく差し込んでください。曲がると金属部分に触れ、ショートの原因となります。

- ショートすると画面に表示が出て、本機前面の電源／録画予約／録画ランプが緑色に点滅しますので、「故障かな？と思ったら」（☞106ページ）をご覧になり対処してください。

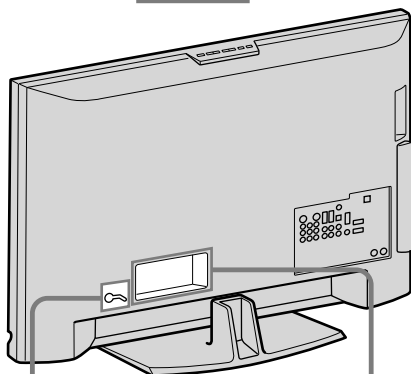
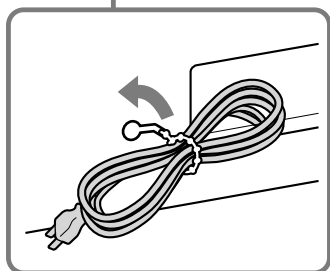
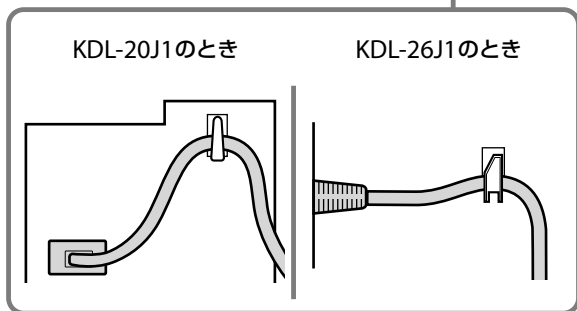
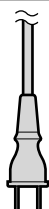
地上波と衛星放送の信号が個別の場合

- フィーダー線は同軸ケーブルよりも雑音電波などの影響を受けやすいため、信号が劣化します。お買い上げ店などにご相談ください。

フィーダー線

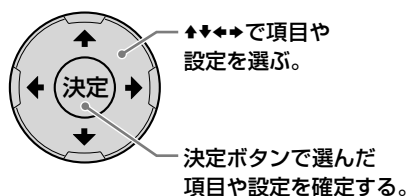
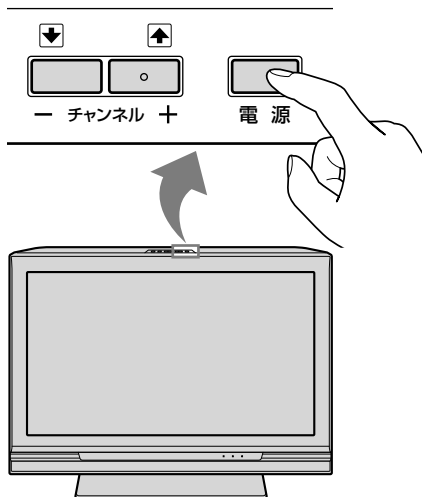
- 衛星アンテナから録画機器を経由して本機のBS/110度CS IF入力端子につながないでください。110度CSデジタルを受信できないことがあります。

電源コードをつなぐ

すべての接続が終わってから、電源コードをコンセントにつなぎます。

ご注意

DVDレコーダーなどの他機器をつなぐときも、すべての接続が終わってから、電源コードをコンセントにつないでください。

かんたん初期設定をする

地上アナログ、地上･BS･110度CSデジタルの受信設定は、[かんたん初期設定]で一度にできます。アンテナと電源コードの接続が終わったら、画面のメッセージに従い、リモコンで設定してください。[かんたん初期設定]のあと続けて[かんたん機能設定](☞20ページ)を行うと、より快適に本機を使えます。

1 **本体上面の電源スイッチを押して、電源を入れる。**

画面1 かんたん初期設定開始	表示されたメッセージをよくお読みになり、➡を押して、画面に従って設定してください。

2 **地上アナログの受信設定をする(画面2 ～ 5)。**

画面2 地上アナログ受信設定開始	[アナログ放送の設定をする]を選んでください。 [デジタル放送の設定をする]を選ぶと、地上アナログの設定をせずに、地上デジタルの受信設定に進みます。
画面3 チャンネルの登録方法を選ぶ	[オート]は、受信地域を選んで登録できます。チャンネルスキャンしないので、かんたんにチャンネル登録できます。 [スキャン]は、下記のようなときに選んでください。 ● 隣接地域の放送も受信したいとき ● ケーブルテレビ(CATV)のとき 受信地域について詳しくは、別冊の「地上アナログ／地上デジタル放送の地域別チャンネル表」をご覧ください。
画面4 放送局の地域を設定する	お住まいの地域と放送局がある地域とで異なる場合があります。お住まいの地域で一般的とされている放送局所在地を選んでください。
画面5 登録チャンネルを確認する	登録されたチャンネルを手動で修正することもできます。

次のページにつづく⇨

かんたん初期設定をする（つづき）

3 地上デジタルの受信設定をする（画面6 ～ 10）。

画面6 **地上デジタル受信を選択する**	［デジタル放送の設定をする］を選んでください。 ［終了する］を選ぶと、デジタル放送の設定をせずに、かんたん初期設定を終了します。現在時刻が設定されていない場合は、現在時刻を設定してから終了することもできます。
画面7 **受信地域を設定する**	お住まいの地域のチャンネル設定のために必要です。
画面8 **地上デジタル受信設定開始**	［地上デジタル放送の設定をする］を選んでください。 ［BS･CS放送の設定をする］を選ぶと、地上デジタルの設定をせずに、BS･110度CSデジタルの受信設定に進みます。
画面9 **チャンネルの登録方法を選ぶ**	［オート］は、受信地域を選んで登録できます。 ［スキャン］は、下記のようなときに選んでください。 ● 初めてチャンネルを登録するとき ● 隣接地域の放送も受信したいとき ● 視聴する地上アナログ放送局の地域を選んでいないとき ● ケーブルテレビ（CATV）のとき ● 放送局が増えたとき
画面10 **登録チャンネルを確認する**	［スキャン］を選んだときは、地上デジタルで受信できるチャンネルが表示されます。

4 BS･110度CSデジタルの受信設定をする（画面11 ～ 12）。

画面11 **衛星受信設定開始**	［BS･CS衛星アンテナレベルを確認する］を選んでください。 ［郵便番号の設定をする］を選ぶと、BS･110度CSデジタルの受信設定をせずに、郵便番号設定に進みます。
画面12 **アンテナレベルを確認する**	アンテナレベルを確認しながら、衛星アンテナの向きを調整します。できるだけ最大値に近くなるように調整してください。

5 郵便番号の設定をする（画面13）。

画面13 **郵便番号を設定する**	データ放送で天気予報などの地域密着の情報を受信するために設定します。

6 現在時刻の設定をする（画面14）。

画面14 **現在時刻を設定する**	デジタル放送受信中に自動で時刻を取得しなかったときに、手動で設定します。 デジタル放送を受信するときはこの設定は不要です。

7 かんたん初期設定を終了する（画面15）。

画面15 **かんたん初期設定終了**	設定した放送を見ることができるようになります。

引き続き、より便利な機能設定を行うときは、［今すぐ設定をはじめる］を選んで、かんたん機能設定をはじめます（☞20ページ）。
あとで、かんたん機能設定を行うときは、［今は設定しない］を選びます。
地上デジタルのチャンネルを今まで見ていた地上アナログのチャンネルと同じリモコンボタンに割り当てたいときは、☞19ページをご覧ください。

マンションなどの共同受信システムの場合は

［BS/CS：衛星アンテナ設定］を［切］にしてください。
ホームメニューから（設定）→（アンテナ設定）→［BS/CS：衛星アンテナ設定］→［切］の順に選ぶ。

かんたん初期設定をあとでやり直すには

引越しなどでお住まいの地域が変わったときや地上デジタル放送が開始されたときは、かんたん初期設定をやり直してください。
ホームメニューから（設定）→（かんたん設定）→［かんたん初期設定］を選び、手順1 ～ 7（☞17ページ）を行う。

リモコンボタンに希望のチャンネルを割り当てる

数字ボタンのチャンネルは自動で割り当てられるので、お好みのチャンネルと異なることがあります。その場合は手動でお好みのチャンネルに変更してください。

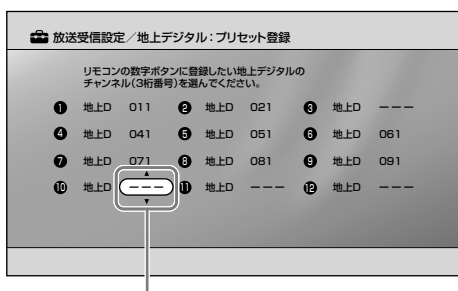
1 ホーム を押す。

2 ←→で(設定)を選ぶ。

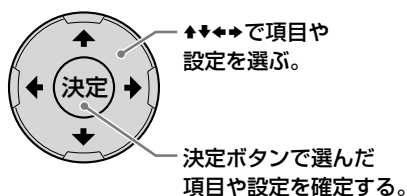
3 ↑↓で(放送受信設定)を選んで、決定を押す。

4 ↑↓でチャンネルを変更したい放送のプリセット登録を選んで、決定を押す。

5 ↑↓←→で変更したい数字ボタンを選んで、決定を押す。

6 ↑↓で3桁のチャンネル番号を変更して、決定を押す。

10を押して051チャンネルを見たいときは、ここを「051」にする。

かんたん機能設定をする

より使いやすく、より便利な機能のために設定を行います。画面のメッセージに従い、リモコンで設定してください。

1 かんたん機能設定を始める。

画面1 かんたん機能設定開始	表示されたメッセージをよくお読みになり、→を押して、画面に従って設定してください。

2 高速起動設定をする。

画面2 高速起動設定	リモコンで電源を入れたときに、テレビを早く起動できるようになります。[高速起動]については、☞83ページをご覧ください。

3 画質モードを設定する。

画面3 画質モード設定	お好みの明るさ、画質に設定します。ここで設定した画質モードは各放送と入力で共通になります。画質モードについては、☞66ページをご覧ください。

4 選局時表示を設定する。

画面4 選局時表示設定	デジタル放送で選局したときに、選局先のチャンネル番号や現在放送されている番組のタイトルなどの情報を画面中央に表示します。[選局時表示]については、☞77ページをご覧ください。

5 お好みナビを設定する。

画面5 お好みナビ設定	おすすめの番組をアイコンでお知らせします。お好みナビについては、☞40、77ページをご覧ください。

6 かんたん機能設定を終了する。

画面6 かんたん機能設定終了	テレビを快適に使うための設定ができました。 これで、かんたん設定はすべて終了です。

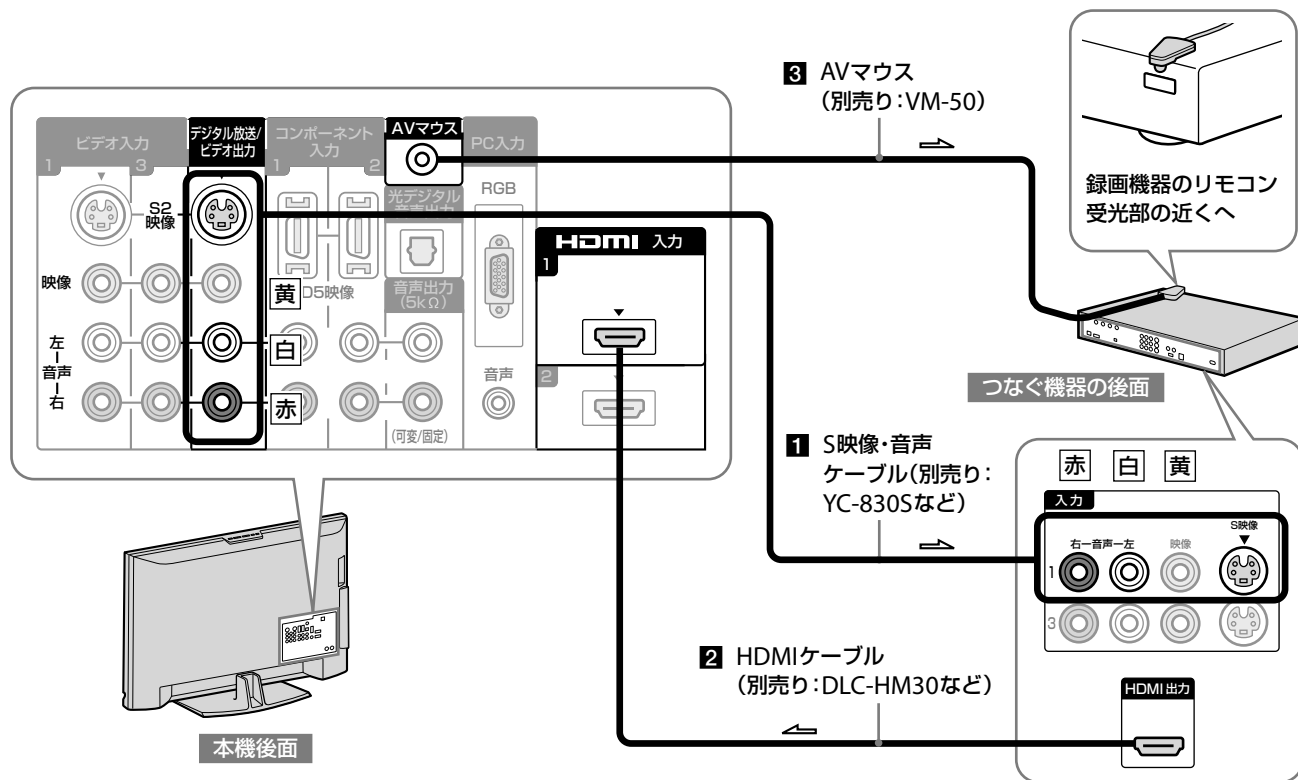
ご注意

高速起動設定で[入]に設定すると、電源スタンバイ中の消費電力が上がりますので、ご注意ください。

デジタルチューナーのない録画機器をつなぐ

アナログチューナー内蔵の録画機器で録画をする場合は、以下のとおりつなぐと本機で録画予約設定できます。デジタルチューナー内蔵の録画機器をお持ちのかたは、録画機器側で録画予約設定してください。

この接続を推奨する映像機器

ビデオデッキやDVDレコーダーなどのアナログチューナー録画機器

:映像・音声信号の流れ

1 本機の映像を録画するための接続
デジタル放送のテレビ放送を録画(☞57ページ)するための接続です。

2 つないだ機器の映像を本機で再生するための接続
HDMI端子がない録画機器のときは、☞22ページをご覧ください。

3 AVマウスを使ってデジタル放送を録画予約するための接続
デジタル放送のテレビ放送を、本機と連動して録画予約できます。AVマウスの設定もしてください(☞78ページ)。シンクロ録画機能(☞57ページ)を使って録画予約するときはつながないでください。

ご注意

- つなぐ機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。
- DVDレコーダーなどの他機器をつなぐときも、すべての接続が終わってから、電源コードをコンセントにつないでください。
- 本機は、録画防止機能(コピープロテクション)が付いています。そのため、番組によっては、正常な画像で録画できなかったり、録画したものを正常な画像で再生できなかったりすることがあります。また、本機の映像信号を、録画機器を経由して外部モニターに出力すると、録画防止機能のため画像が乱れる場合があります。その場合、本機の映像出力端子から外部モニターに直接接続してください。

ちょっと一言

- HDMI端子のない機器をビデオ1入力につないだときは、[ビデオ1出力の設定]を[ビデオ1出力なし]にしてください(☞79ページ)。
- S映像ケーブルでつないだときは、つないだ機器側で映像入力の設定が必要になることがあります。
- アンテナの接続については☞14ページをご覧ください。

本機で再生するために録画／再生機器をつなぐ

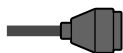
録画／再生機器にある映像端子と音声端子に応じて、以下のいずれかのケーブルでつないでください。

別売り

オ HDMIケーブル（1本）

ご注意

- HDMIケーブルはHDMIロゴが入っているものをお使いください。
- HDMI機器制御に対応したオーディオ機器をつないだときは、光デジタル接続ケーブルで音声の接続もしてください（☞24ページ）。

別売り

カ D映像ケーブル（1本）

キ 音声ケーブル（1本）

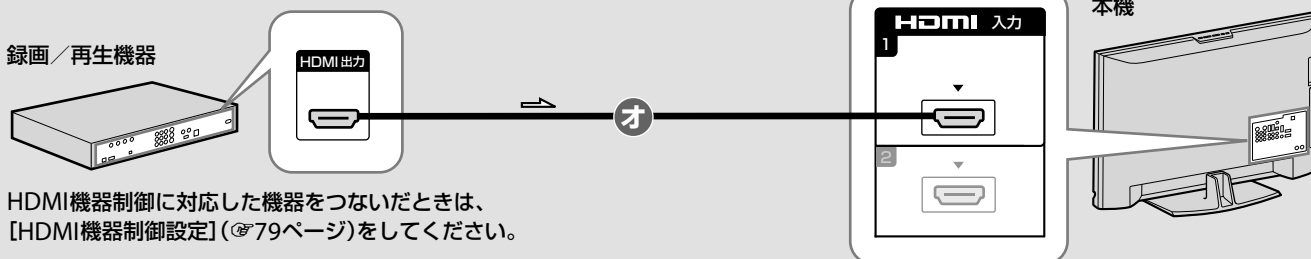
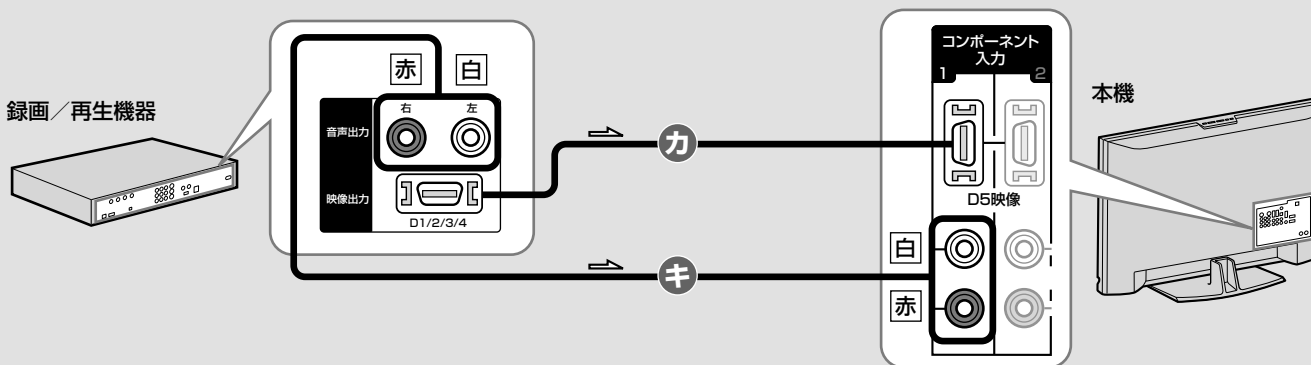
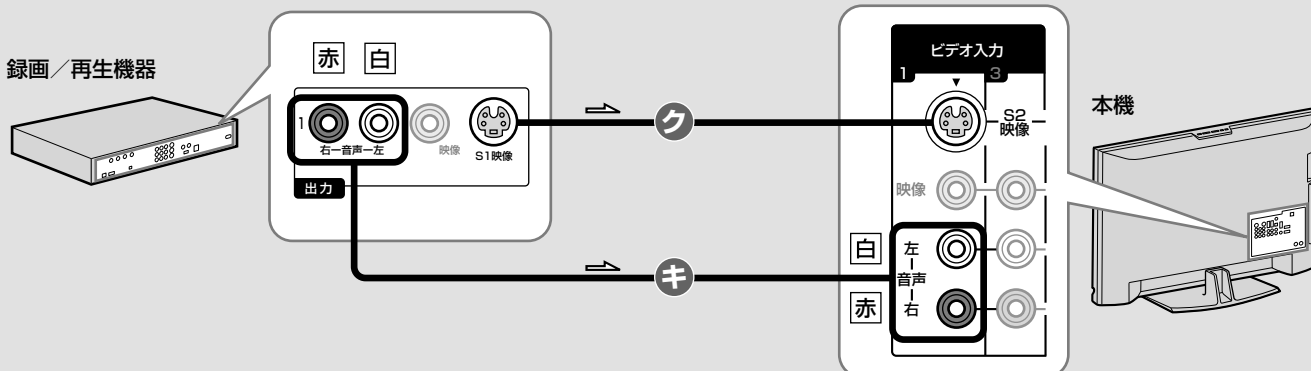
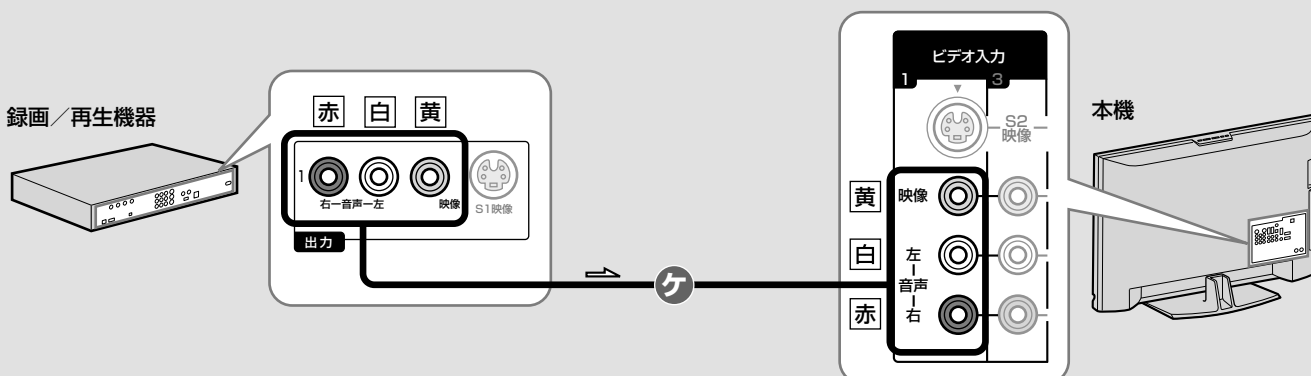
別売り

ク S映像ケーブル（1本）

キ 音声ケーブル（1本）

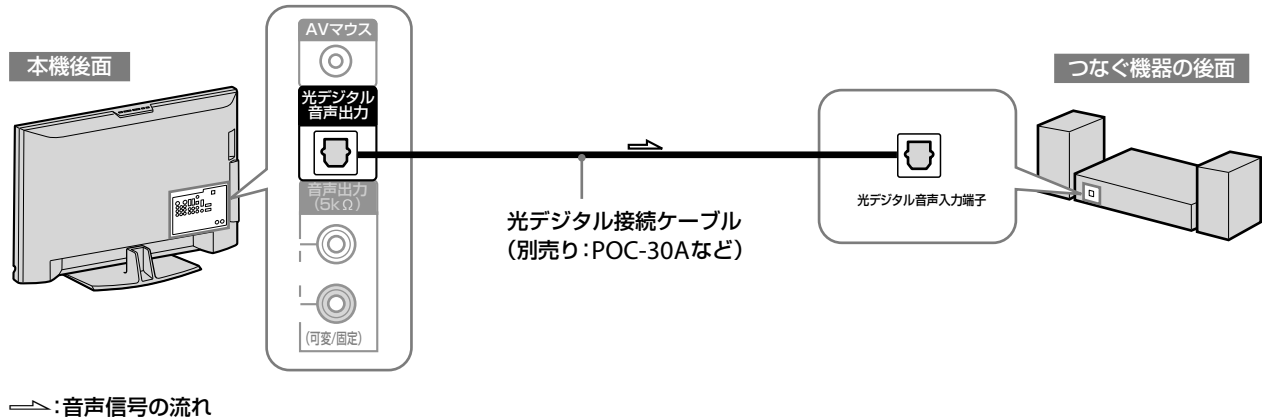
別売り

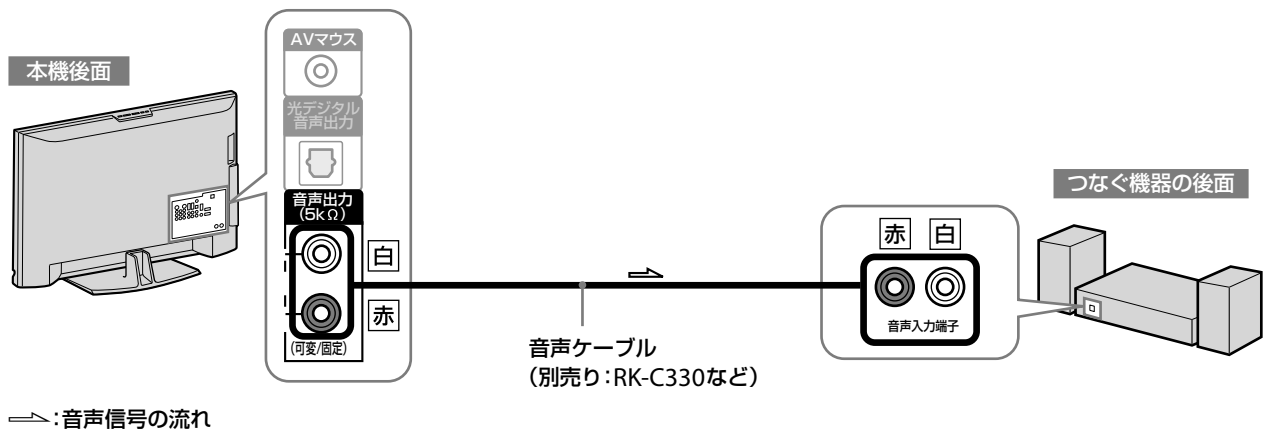
ケ 映像／音声ケーブル（1本）

録画／再生機器
HDMI出力
HDMI 入力
1
2
本機
オ
HDMI機器制御に対応した機器をつないだときは、
［HDMI機器制御設定］（☞79ページ）をしてください。
録画／再生機器
赤
白
音声出力
右
左
映像出力
D1/2/3/4
コンポーネント
入力
1
2
D5映像
本機
白
赤
カ
キ
録画／再生機器
赤
白
右ー音声ー左
映像
S1映像
出力
ビデオ入力
1
3
S2
映像
映像
白
赤
左
音声
右
本機
ク
キ
録画／再生機器
赤
白
黄
右ー音声ー左
映像
S1映像
出力
ビデオ入力
1
3
S2
映像
黄
映像
白
赤
左
音声
右
本機
ケ
：映像・音声信号の流れ

他機器をつなぐ

オーディオ機器をつなぐ

光デジタル入力対応のオーディオ機器をつなぐとき

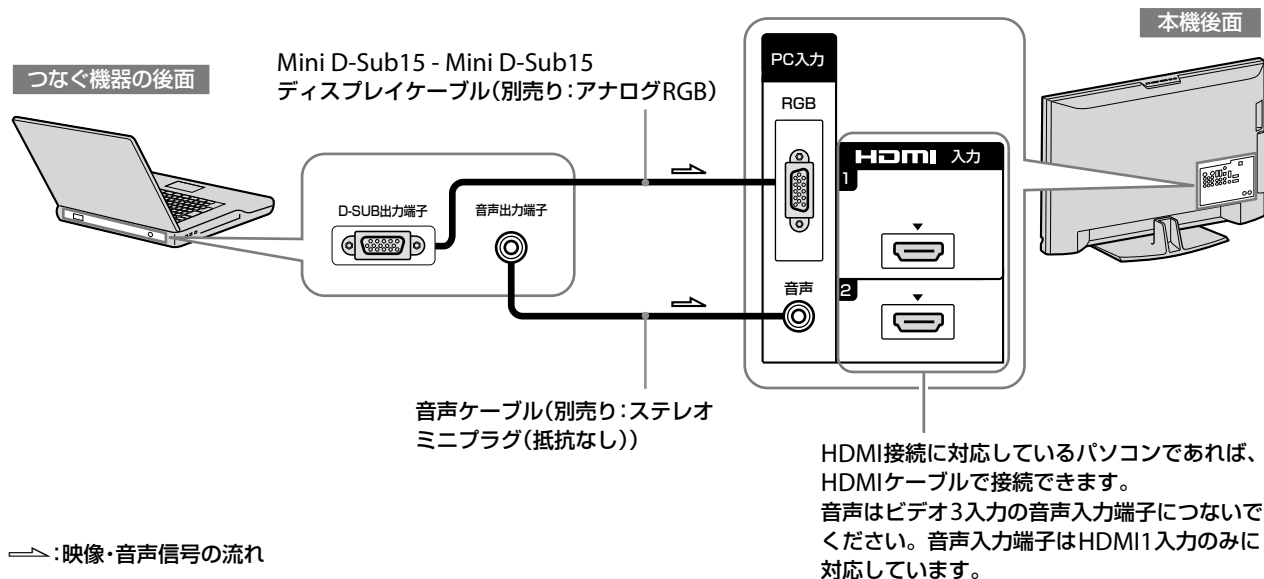
光デジタル音声入力端子を持つAVアンプや、ホームシアター機器などをつなぎます。

その他のオーディオ機器(2ch入力対応)をつなぐとき

ご注意

- つなぐ機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。
- HDMI機器制御に対応したオーディオ機器をつなぐときは、HDMIケーブル(☞22ページ)と光デジタル接続ケーブルの両方での接続が必要です。
- 光デジタル音声出力端子につなぐオーディオ機器が対応している音声信号に合わせて、[光音声出力設定](☞70ページ)を設定してください。

ちょっと一言

オーディオ機器を音声出力端子につないだときは、音声出力(可変／固定)端子から出力される音量を本機で調節できます(☞70ページ)。

パソコン(PC)をつなぐ

本機を別売りのディスプレイケーブルでパソコンにつなぐと、本機の画面にパソコンの画面を映し出せます。また、別売りの音声ケーブルをつなぐと、本機のスピーカーでパソコンの音声を楽しめます。

ご注意

パソコンの取扱説明書もあわせてご覧ください。

ちょっと一言

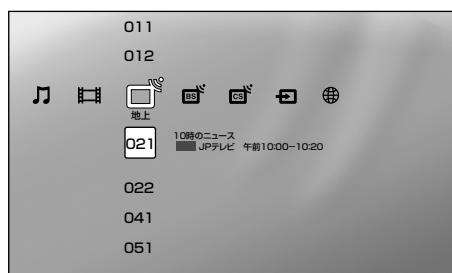
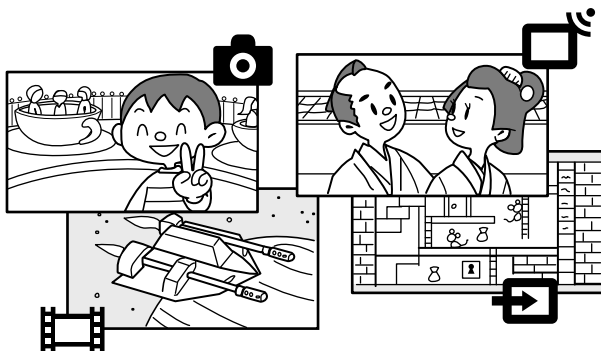
- 対応信号については、☞122ページをご覧ください。
- パソコンの画像を見るための操作については「パソコン(PC)の画像をテレビに映す」(☞61ページ)をご覧ください。

本機でできること

快適な操作性

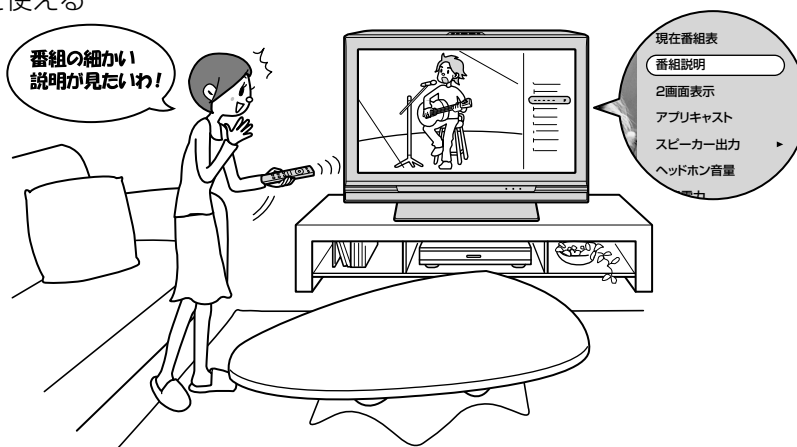
ホームメニュー —“XMB”（クロスメディアバー）

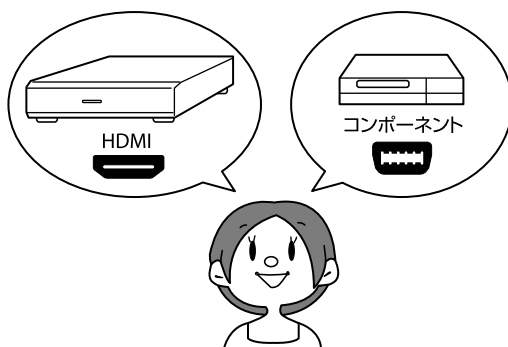
☞28ページ

放送やつないだ機器を快適に楽しめる！

オプションボタン

☞30ページ

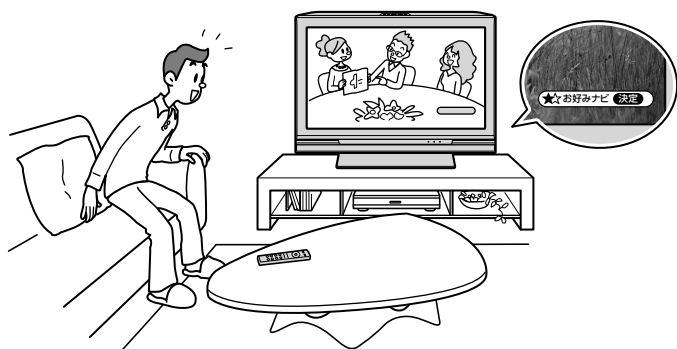
そのときできる便利な機能を使える

入力切換

☞50ページ

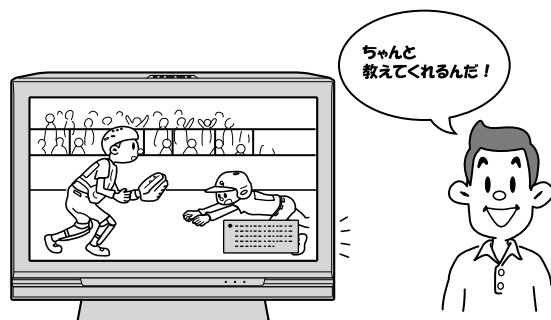
テレビにつないだ機器を一覧表示で切り換え

デジタル放送でできる便利な機能

お好みナビ

☞40ページ

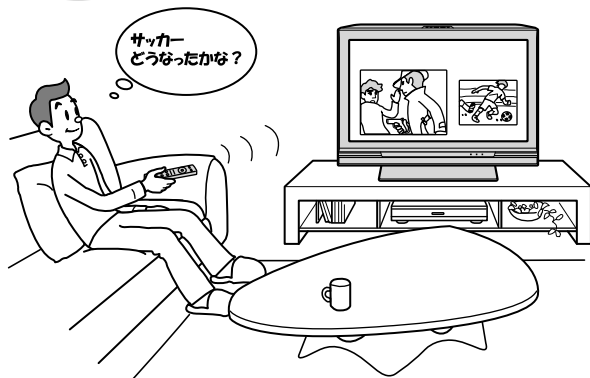
おすすめの番組を自動でお知らせ

イベントリレー

☞111ページ

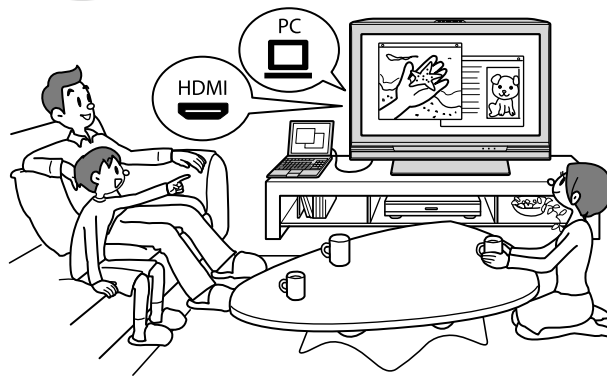
違うチャンネルで放送を継続するときに自動で選局

つないだ機器を楽しむ

番組子画面

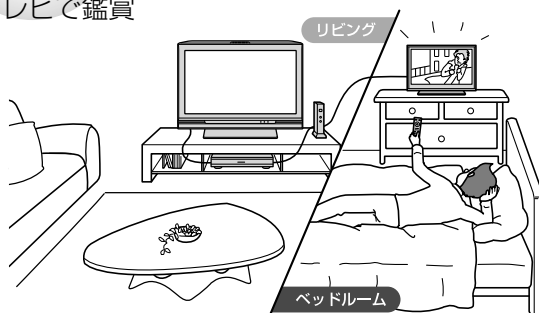
☞42ページ

放送とつないだ機器の映像を同時に視聴

PC画像視聴

☞61ページ

パソコンをつないでテレビでチェック

ホームネットワーク

☞91、116ページ

他の機器で保存した写真や音楽、映像などをテレビで鑑賞

ホームメニュー一覧

「ホームメニュー」から操作をはじめましょう
リモコンの（ホーム）を押すと、画面にホームメニューが表示されます。この画面から各種操作・設定画面に移動できます。

お問い合わせ

お知らせ（64ページ）

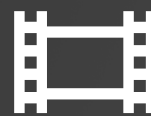
タイマー（65ページ）

番組予約（57ページ）

番組表・検索（44ページ）

設定（63ページ）

フォト（91ページ）

ミュージック（91ページ）

ビデオ（57、91ページ）

地上（34ページ）

画質・映像設定（66ページ）

音質・音声設定（69ページ）

画面モード（71ページ）

アンテナ設定（73ページ）

放送受信設定（74ページ）

表示設定（77ページ）

お好みナビ・語句設定（77ページ）

録画予約設定（78ページ）

外部入出力設定（79ページ）

HDMI機器制御設定（79ページ）

通信設定（80ページ）

本体設定（83ページ）

かんたん設定（84ページ）

ネットワーク機器名（91ページ）

ネットワーク機器名（91ページ）

ネットワーク機器名（91ページ）

地上アナログch（34ページ）

地上デジタルテレビch（34ページ）

地上デジタルデータch（39ページ）

本機をインターネットにつないでいる場合、ホームメニューで追加情報が表示されることがあります。表示を消すには、追加情報が表示されている状態で、オプションの[追加情報表示]を[切]にしてください。オプションについて、詳しくは30ページをご覧ください。

リモコン操作ボタンの説明は☞30ページをご覧ください。

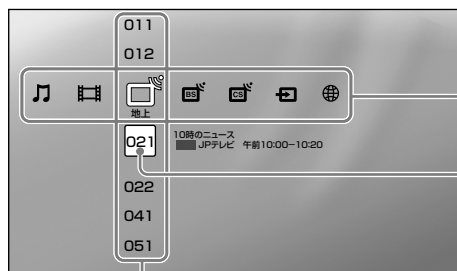
かんたんなリモコン操作

ホームボタン―操作や設定すべての「入り口」

放送を見たり、録画予約したり、お好みの設定に変更したりなど本機でできることの入り口となるのが、ホームメニューです。

1 ホーム を押す。

ホームメニューが表示されます。

011
012
地上
021　10時のニュース　JPテレビ　午前10:00−10:20
022
041
051

2 ←→を押して、カテゴリーを選ぶ。

選んでいるチャンネル

3 ↑↓を押して項目を選んで、
決定を押す。

オプションボタン―そのとき「できること」を表示

オプションを使えば、そのときにできる便利なことが表示されるので、通常の手順よりも早く操作できます。

1 （オプション）を押す。

オプションが表示されます。

2 ↑↓を押して項目を選んで、
決定を押す。

オプションの［項目の並び換え］を選んで設定すると、よく使う項目順に並べられます。

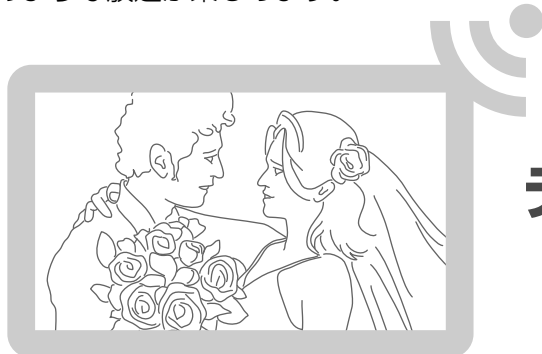
この取扱説明書では、オプションでできることを、以下のマークで紹介しています。

便利なボタン

ボタン1つでできる、便利な操作です。

リモコンのボタンについては、「各部の名前」(☞125ページ)もご覧ください。

本機で楽しめる放送について

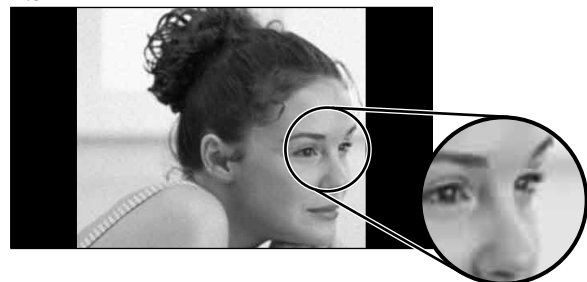
本機では、以下のような放送が楽しめます。

テレビ放送

地上アナログ放送（従来のテレビ放送）

従来の地上アナログ放送を引き続きご覧いただけます。
本機では、オートワイド機能を使って、横縦比4:3の映像をワイド画面に広げて違和感無く見ることができます。

ご注意

番組表や番組説明、番組検索、お好みナビ、録画予約などの機能は地上アナログ放送には対応していません。

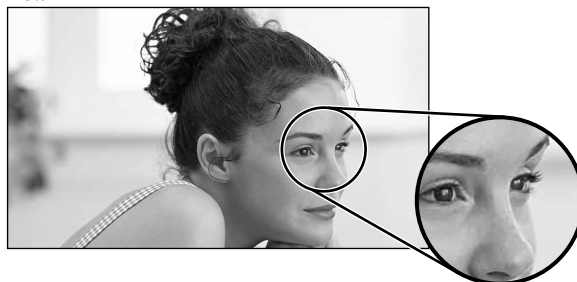
4:3

… 34ページ（選局について）
… 71ページ（オートワイドについて）

拡大イメージ

地上デジタル　BSデジタル　110度CSデジタル

デジタル放送

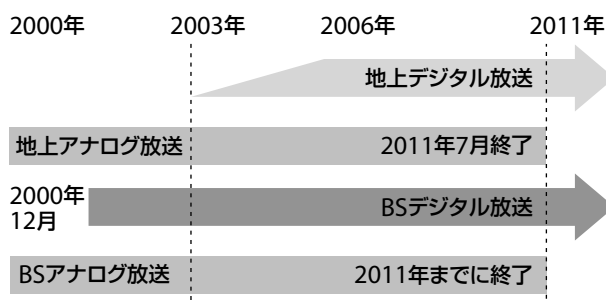
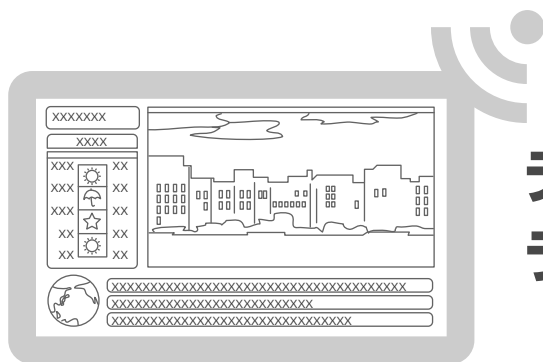
デジタル放送の高画質·高音質で多彩な番組をご覧いただけます。デジタルハイビジョン放送やサラウンド音声のある番組では、臨場感あふれる映像·音声をお楽しみいただけます。
本機では、番組表や検索機能を使って、デジタル放送のたくさんのチャンネルの中から簡単にお好みの番組を選べ、番組説明で各番組の詳しい情報も見ることができます。

16:9

… 34ページ（選局について）
… 44ページ（番組表について）

拡大イメージ

アナログ放送からデジタル放送への移行

地上デジタルは、関東、中京、近畿の三大広域圏の一部地域で2003年12月より放送が開始され、その他の県庁所在地は2006年末までに放送が開始されました。今後も受信可能エリアは順次拡大されます。地上アナログは2011年7月*に、BSアナログは2011年*までに放送が終了することが、国の方針として決定されています。

＊ 2008年1月現在の情報です。

データ／ラジオ放送

地上デジタル　BSデジタル　110度CSデジタル

データ放送

デジタル放送のデータ放送をご覧いただけます。これまでは見るだけが主流だったテレビですが、簡単なリモコン操作でクイズやアンケートに参加して双方向で楽しめます。また、テレビ番組に連動したデータ放送（連動データ放送）では番組に関連した情報や地域の情報などもご覧いただけます。他に、データ放送のみを専門にしている独立データ放送があります。

… 39ページ（選局について）

BSデジタル　110度CSデジタル

ラジオ放送

衛星放送のラジオ放送を楽しめます。
本機では、通常のステレオ音声の番組でも、サラウンド機能を使って、クリアで臨場感と迫力のある音声に再現してお聞きになれます。また消画機能を使って、映像を消して音声のみを楽しむこともできます。

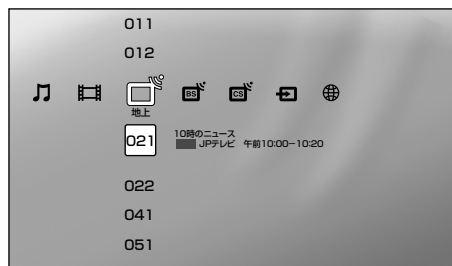
… 39ページ（選局について）
… 69ページ（サラウンドについて）
… 83ページ（消画について）

テレビ放送を見る

あらかじめかんたん初期設定をしてください(☞17ページ)。

ホームメニューからチャンネルを選ぶには

1 ホームを押す。

2 ←→で見たい放送を選ぶ。

地上アナログ*
地上デジタル　BSデジタル　CSデジタル

＊ 地上アナログのみ非表示にできます(☞76ページ)。

3 ↑↓で見たいチャンネルを選んで、決定を押す。

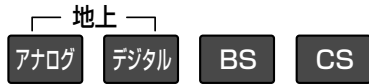
↑↓を押し続けると高速でスクロールします。

ご注意

[ホームメニュー速度設定]が[モード2]に設定されているときは、手順3で↑↓を押し続けても、高速でスクロールしません(☞83ページ)。

数字ボタンでチャンネルを選ぶには

1 アナログまたはデジタル、BS、CSを押して、見たい放送を選ぶ。

地上
アナログ　デジタル　BS　CS

2 数字ボタンまたはチャンネル＋／－ボタンを押して、チャンネルを選ぶ。

1 2 3
4 5 6
7 8 9
10/0 11/枝番 12/選局

数字ボタンに登録されているチャンネルに切り換える。

または

チャンネルを順送りで切り換える。

10キー選局するには

10キーボタンを押したあと、数字ボタンでチャンネル番号を入力して、最後に12ボタンを押します。

例：011ch（デジタル放送）の場合
10キー→10/0→1→1→12/選局

例：37ch（アナログ放送）の場合
10キー→3→7→12/選局

枝番が付いているチャンネルを選局するには

他の地域の放送も受信できる場合、重複するチャンネル番号を区別するために、補助的な番号（枝番）がついています。
（地上デジタルのみ）

例：101₂chの場合
10キー→1→10/0→1→11/枝番→2→12/選局

視聴しながら現在放送中の番組表を見る［現在番組表］

デジタル放送を視聴しながら、現在放送中の番組と1時間以内の番組を表示できます。

1 デジタル放送視聴中に、（オプション）を押す。

2 ↑↓で［現在番組表］を選んで、決定を押す。

視聴しながら番組説明を見る

1 デジタル放送視聴中に、（オプション）を押す。

2 ↑↓で［番組説明］を選んで、決定を押す。

さらに詳しい説明が必要な場合は［詳細］を選ぶ。

次のページにつづく⇨

ちょっと一言

現在番組表は、ホームメニューで（地上）または（BS）、（CS）の列の（番組表・検索）から選んでも表示できます。

テレビ放送を見る(つづき)

オプションでできること…

● ホームメニューでチャンネル選択中

項目	できること
チャンネル表示形式	デジタル放送で同じ放送局の中に複数あるチャンネルをすべて表示するように設定できます。
番組検索	番組を検索できます(☞47ページ)。
現在番組表	放送中および1時間以内の番組を表示します(☞35ページ)。
番組表	約1週間先までの番組を表示します(☞44ページ)。
選局	選んだチャンネルに切り換えます。
番組説明	選んでいるチャンネルで放送中の番組の番組説明を表示します(☞45ページ)。

● テレビ視聴中

項目	できること
画質	画質を調整できます(☞66ページ)。
音質	音質を調整できます(☞69ページ)。
現在番組表*1	放送中および1時間以内の番組を表示します(☞35ページ)。
番組説明*1	視聴しながら番組説明を確認できます(☞35ページ)。
2画面表示*1	2画面で表示します(☞42ページ)。
アプリキャスト	インターネット上のアプリを表示します(☞87ページ)。
スピーカー出力	**テレビスピーカー**:本機のスピーカーから音声が出ます。 **AVアンプ**:本機のスピーカーから音声が出なくなります。HDMI機器制御対応のAVアンプをHDMI1、2入力と光デジタル音声出力につないでいるときは、AVアンプから本機の音声が出ます(☞55ページ)。[HDMI機器制御設定](☞79ページ)をする必要があります。HDMI機器制御対応のAVアンプをつないでいないときは、本機につないだオーディオ機器のスピーカーで音声を聞くときに選びます。
ヘッドホン音量	ヘッドホンの音量を調節できます。
消費電力	消費電力を設定できます(☞83ページ)。
スリープタイマー	時刻を設定して自動的に電源を切ることができます(☞65ページ)。
映像切換*1	アングルなど、切り換えが可能な映像の場合に使えます(☞111ページ)。
データ放送情報*1	サーバー証明書一覧、ルートCA証明書一覧、ブックマーク一覧を表示します。
時刻取得*2	デジタル放送に切り換えて、時刻情報を取得します。
項目の並び換え	オプション項目の表示順を使いやすいように並べ換えられます。

*1 デジタル放送視聴中のみ。
*2 地上アナログ放送視聴中のみ。

ご注意

- 時刻情報の取得ができるのは、デジタル放送のみです。ただし、ケーブルテレビ(CATV)でデジタル放送を受信しているときは、時刻情報を取得できないことがあります。
- 一度時刻を取得すると、[時刻取得]の項目は表示されなくなります。ただし、本機の電源コードを抜くと、時刻情報は消去されますので、その場合はデジタル放送に切り換えて、時刻情報を取得してください。時刻情報が取得できないときは、(タイマー)の[現在時刻設定]を行ってください(☞65ページ)。

ちょっと一言

- ヘッドホンを本機につないでいて、音量+/−ボタンでヘッドホンの音量を調節できないときは、オプションの[ヘッドホン音量]で調節できます。
- 本機をインターネットにつないでいるときにホームメニューに追加情報が表示されることがあります。追加情報を消したいときは、オプションの[追加情報表示]を[切]にしてください(☞88ページ)。

● 現在番組表表示中

項目	できること
番組情報取得	表示中の放送の番組情報を取得します。
チャンネル表示形式	デジタル放送で同じ放送局の中に複数あるチャンネルをすべて表示するように設定できます。
サービス*1切換	番組表の放送サービスを切り換えます。
放送*2切換	番組表の放送の種類を切り換えます。
ジャンル色設定	番組表で表示される色にお好みのジャンルを割り当てられます。
番組検索	番組を検索できます(☞47ページ)。
拡大／縮小	9チャンネル、7チャンネル、4チャンネル表示に切り換えます。
番組表	約1週間先までの番組を表示します(☞44ページ)。
選局	選んだチャンネルに切り換えます。

*1 テレビ、ラジオ、データがあります。
*2 地上デジタル、BSデジタル、CSデジタルがあります。

見ている番組の詳細情報を連動データで楽しむ

番組と連動しているデータ放送を見ることができます。スポーツ中継を見ているときに選手の成績を確認するなど、番組によってさまざまなデータ放送を楽しめます。また、郵便番号の設定をすれば（☞74ページ）、天気などのお住まいの地域の情報を見ることができます。

1 **デジタル放送視聴中に、連動データ d を押す。**
連動データの画面に切り換わります。

連動データ放送の例

2 **↑↓←→や青・赤・緑・黄（カラーボタン）、戻る（戻る）などを使って、画面に従って操作する。**

視聴者参加型のデータ放送を楽しむには

自宅にいながら、放送局とやり取り（双方向通信）できるので、クイズ番組に参加したりアンケートに答えたり、ショッピングしたりできます。
電話回線（☞85ページ）やネットワーク回線（☞86ページ）の接続が必要です。

ちょっと一言

データ放送では、本機につないだ電話回線を使って通信する場合があります。通信中（消画／通信／タイマーランプがオレンジ色に点滅）は、電話機やファクシミリなど同一回線上の通信機器は使えません。また、電話料金がかかる場合があります。

独立データ放送／ラジオ放送を楽しむ

独立データ放送を楽しむ

データのみを専門に扱っている放送サービスを楽しめます。

1 ホーム を押す。

2 ←→で見たい放送を選ぶ。

3 ↑↓でデータ放送のチャンネルを選んで、決定を押す。

独立データ放送の例

4 ↑↓←→や 青・赤・緑・黄（カラーボタン）、戻る（戻る）などを使って、画面に従って操作する。

ラジオ放送を楽しむ

衛星放送で流れるラジオです。映像を消して音声のみを楽しむこともできます（消画☞83ページ）。

1 ホーム を押す。

2 ←→で聞きたい放送を選ぶ。

3 ↑↓でラジオ放送のチャンネルを選んで、決定を押す。

お好みの番組を自動で知らせる［お好みナビ］

よく見る番組のチャンネルや放送時間、ジャンルなどの情報、登録されたキーワードをもとに、本機が自動でおすすめの番組を紹介します。

お好みナビを使う

視聴中におすすめの番組が始まるときは

おすすめの番組が始まる（または放送中）というお知らせを画面に表示します。おすすめの番組を見るときは、下記の手順で操作してください。

1 お好みナビアイコン表示中に、決定を押す。

お好みナビアイコン

おすすめの番組の番組説明が表示され、番組名やおすすめの理由などを確認できます。

お好みナビアイコンを消すには

戻る（戻る）を押す。

2 ［選局］が選ばれていることを確認して、決定を押す。

おすすめの番組に切り換わります。

ホームメニューや番組表で確認するには

おすすめの番組にはホームメニューや番組表などで★マークを付けてお知らせします。

例：番組表の場合

★（金色）：特におすすめ
★（銀色）：通常

00 ★素顔の心に愛は揺れ（1996年・アメリカ）

お好みナビ機能を入／切する

お好みナビの機能を［入］または［切］に設定します。

1 ホーム を押す。

2 ←→で（設定）を選ぶ。

3 ↑↓で（お好みナビ・語句設定）を選んで、決定を押す。

4 ↑↓で［お好みナビ］を選んで、決定を押す。

5 ↑↓で［入］または［切］を選んで、決定を押す。

お好みナビの学習情報を消去する

おすすめ番組をお知らせするために蓄積したよく見る番組の情報を消去できます（☞77ページ）。

1 「お好みナビ機能を入／切する」（☞上記）の手順1～3を行う。

2 ↑↓で［お好みナビ学習情報初期化］を選んで、決定を押す。

3 ←→で［はい］を選んで、決定を押す。

ご注意

- 録画実行中はおすすめ通知を表示しません。
- 視聴予約または録画予約されている番組と放送時間が重複している番組は、お好みナビアイコンを表示しません。

ちょっと一言

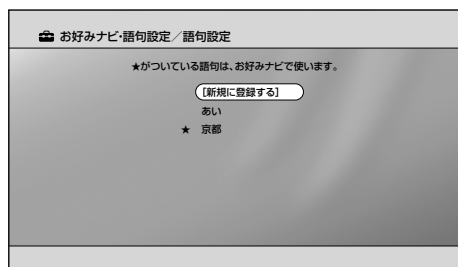
- おすすめ番組は、デジタル放送のテレビ番組のみでお知らせします。
- 現在放送中の番組と、開始時刻が現在から1時間以内で次に放送される番組が、おすすめ番組の対象になります。
- 学習情報が蓄積されるまで、おすすめ番組は表示されません。
- 視聴中にお知らせが表示されるおすすめ番組は、おすすめ番組の中でも特におすすめの番組のみです。番組表などに★マークが表示される番組をすべてお知らせするわけではありません。

お好みナビで使うキーワードを登録する

あらかじめキーワードを登録すれば、番組のタイトルや概要にキーワードが含まれた番組が自動で案内されます。登録できる件数は最大で20件です。

1 **「お好みナビ機能を入／切する」(☞40ページ)の手順1 ～ 3を行う。**

2 **↑↓で[語句設定]を選んで、決定を押す。**

3 **[新規に登録する]を選んで、決定を押す。**

ソフトウェアキーボードが表示されます。

4 **ソフトウェアキーボード(☞48ページ)で、語句を入力する。**

語句の入力が終了すると、「お好みナビ･語句設定／語句設定」画面に戻ります。
すでに[お好みナビ]が[入]に設定されているときは、手順5、6の操作は不要です。

5 **←→で[はい]を選んで、決定を押す。**

6 **[閉じる]が選ばれていることを確認して、決定を押す。**

番組説明の中にある語句を登録するには

番組説明にある語句を抜き出して、キーワードとして登録することもできます(☞46ページ)。

オプションでできること…

●お好みナビ･語句設定／語句設定画面表示中

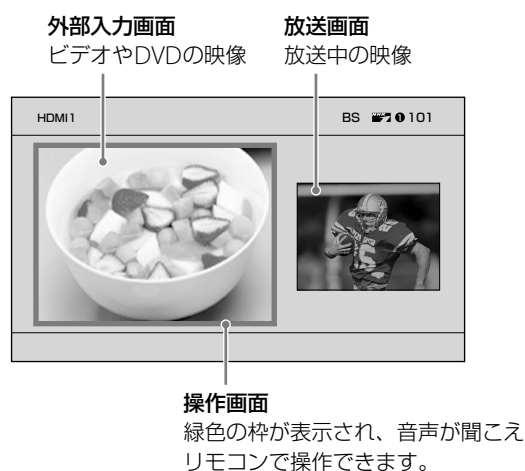
項目	できること
お好みナビ登録／お好みナビ登録解除	選んでいる語句をお好みナビ(☞40ページ)で使うキーワードとして登録します。すでに登録してあるときは、登録を解除します。
語句編集	選んでいる語句を編集できます。ソフトウェアキーボード(☞48ページ)で編集してください。
語句削除	選んでいる語句を削除できます。

2画面で見る[番組子画面]

デジタル放送の番組とテレビにつないだDVDやビデオなどの映像を、2画面で表示して同時に見ることができます。

2画面表示を押す。

デジタル放送視聴中：最後に見ていた外部入力の映像が、左画面に表示されます。

外部入力視聴中：最後に見ていたチャンネルが、右画面に表示されます。

操作画面を切り換えるには

リモコンで操作できる画面を切り換えられます。

←または→を押す。

緑色の枠が移動します。

←：左画面が操作画面になります。

→：右画面が操作画面になります。

操作画面で使えるリモコンボタン

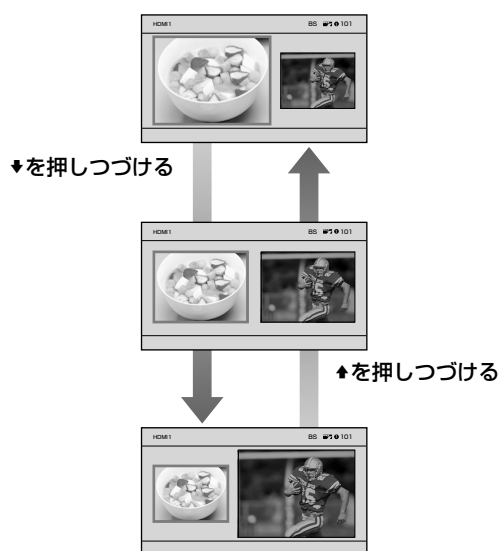
ボタン	できること
チャンネル＋／－、数字、10キー	チャンネルを切り換えます。
地上デジタル、BS、CS	放送を切り換えます。
入力切換	入力を切り換えます。
音声切換	音声を切り換えます。
音量＋／－、消音	音量を調節します。

画面の大きさを変えるには

希望の大きさになるまで、↑または↓を押し続ける。

押し続けるとさらに画面サイズが変わります。

↑：操作画面が大きくなり、非操作画面が小さくなる。

↓：操作画面が小さくなり、非操作画面が大きくなる。

1画面表示に戻すには

←→で1画面で表示したい方の画面を選んで、決定を押す。

表示できる放送と外部入力

放送と外部入力	左画面	右画面
地上アナログ	×	×
地上デジタル	×	○
BSデジタル	×	○
110度CSデジタル	×	○
ビデオ1 ～ 3入力	○	×
コンポーネント1、2入力	○	×
HDMI1、2入力	○*	×
PC入力	×	×

＊ パソコン画像時、1125(1080)24p時を除く。

ご注意

ラジオ放送は音声のみ出力され、データ放送は表示できません。

オプションでできること…

●2画面表示中

項目	できること
1画面表示	1画面表示に戻します。
スピーカー出力	**テレビスピーカー**：本機のスピーカーから音声が出ます。 **AVアンプ**：本機のスピーカーから音声が出なくなります。HDMI機器制御対応のAVアンプをHDMI1、2入力と光デジタル音声出力につないでいるときは、AVアンプから本機の音声が出ます（☞55ページ）。[HDMI機器制御設定]（☞79ページ）をする必要があります。HDMI機器制御対応のAVアンプをつないでいないときは、本機につないだオーディオ機器のスピーカーで音声を聞くときに選びます。
ヘッドホン音量	ヘッドホンの音量を調節できます。
項目の並び換え	オプション項目の表示順を使いやすいように並べ換えられます。

番組表で見たい番組を探す

地上デジタル、BSデジタル、110度CSデジタルの放送ごとに、放送局が送信する番組情報をもとに、番組表を約1週間先まで見ることができます。また、ジャンルやキーワードで検索して番組を絞り込んで表示したり、番組を選んで予約したりできます。

デジタル放送視聴中に、(番組表)を押す。

例:BSデジタルの番組表の場合

上記の番組はフィクションであり、実際の放送局での放送内容や実際の人物、地名などとは関係ありません。

- **A 放送名**
- **B 現在の日時**
- **C チャンネル**
  ←→で左右にスクロールします。
- **D 番組一覧**
  ↑↓←→で番組を選んで、(決定)を押すと、選んだ番組の番組説明(☞45ページ)が表示されます。
- **E 放送日時**
  ↑↓で上下にスクロールします。
- **F 操作ガイド表示欄**
  番組表を表示中にリモコンでできることをガイド表示します。

マークの意味

- ●　:録画中の番組
- (赤):録画予約した番組
- (青):視聴予約した番組
- ★　:おすすめ番組(☞40ページ)
- ¥　:ペイパービューなど有料番組
- ▲／▼:前の時間帯または次の時間帯に続いている番組
- 時刻表示欄(赤):録画予約が入っている時間帯
- 番組表示欄(グレー):代表チャンネルのみを表示しているとき省略されたチャンネルでは、別の番組を放送していることを示しています。省略されたチャンネルを表示するには、オプションの[チャンネル表示形式]で[すべて表示]を選んでください(☞45ページ)。

他の放送の番組表を表示するには

デジタルまたはBS、CSを押す。

番組表を拡大表示するには

黄を押す。

押すたびに、下記のように切り換わります。

1回押すと:7チャンネル分の表示になります。

2回押すと:4チャンネル分の表示になり、文字が大きくなります。

3回押すと:9チャンネル分の表示に戻ります。

ちょっと一言

番組表は、ホームメニューで(地上)または(BS)、(CS)の列の(番組表・検索)から選んでも表示できます。

オプションでできること…

● 番組表表示中

項目	できること
番組情報取得	表示中の放送の番組情報を取得します。
チャンネル表示形式	デジタル放送で同じ放送局の中に複数あるチャンネルをすべて表示するように設定できます。
サービス*1切換	番組表の放送サービスを切り換えます。
放送*2切換	番組表の放送の種類を切り換えます。
ジャンル色設定	番組表で表示される色にお好みのジャンルを割り当てられます。
番組検索	番組を検索できます(☞47ページ)。
拡大／縮小	9チャンネル、7チャンネル、4チャンネル表示に切り換えます。
現在番組表	放送中および1時間以内の番組を表示します(☞35ページ)。
選局	選んだチャンネルに切り換えます。

*1 テレビ、ラジオ、データがあります。
*2 地上デジタル、BSデジタル、CSデジタルがあります。

番組説明を見る

番組名やあらすじ、出演者、映像／音声情報、ジャンルなど番組の詳しい情報を見ることができます。戻るボタンを押すと消えます。

番組表を表示中に、↑↓←→で番組を選んで、(決定)を押す。

上記の番組はフィクションであり、実際の放送局での放送内容や実際の人物、地名などとは関係ありません。

A おすすめ番組マークとおすすめの理由

B マーク(☞46ページ)

C 番組の状況
「開始前」や「終了」など状況を表示します。

D 番組内容表示欄
あらすじや出演者、ジャンルなどの情報を表示します。1/2は2ページ中の1ページ目の意味です。

E 放送中の番組のとき

[選局]
選局します。

[録画予約]／[録画停止]
予約設定画面が表示されます(☞58ページ)。番組説明に表示されている番組を録画中は録画を停止できます。

放送開始前の番組のとき

[視聴予約]、[録画予約]
予約設定画面が表示されます(☞58ページ)。予約済みの番組のときは予約を修正したり、削除できます。

F [録画方法]
ホームメニューの[録画方法]で設定した[シンクロ録画]または[AVマウス]が表示されます(☞78ページ)。ネットワークに接続(☞85ページ)していて、ネットワーク録画予約に対応している録画機器があれば[ネットワーク]にも切り換えられます(☞95ページ)。

G 番組情報欄
「映像情報」(☞110ページ)、**「音声情報」**(☞110ページ)、**「コピーコントロール」**(録画や録音についての情報☞113ページ)。

ご注意

[録画停止]はネットワーク録画では利用できません。

ちょっと一言

- 番組説明は、ホームメニューで(地上)または(BS)、(CS)の列を選んでいるときに、オプションから[番組説明]を選んでも表示できます。
- 番組説明は、視聴中に見ることができる簡単な番組説明(☞35ページ)で[詳細]を選んでも表示できます。

次のページにつづく⇨

番組表で見たい番組を探す(つづき)

マークの意味

- 字 :字幕放送(☞127ページ)
- d :テレビやラジオと連動しているデータ放送(☞38ページ)
- MV :マルチビュー放送(☞111ページ)
- HD :デジタルハイビジョン信号HD(☞110ページ)
- SD :標準テレビ信号SD(☞110ページ)
- :視聴年齢制限付き番組(☞83ページ)
- ¥ :ペイパービュー(PPV)など有料番組
- シリーズ :野球中継や季節ごとの番組(毎週/毎回に属さないもの)
- 複数信号 :第2映像など複数の映像/音声信号がある番組
- 契約済/未契約 :放送事業者との契約が済んでいるかどうか

他に放送局から、番組の種類を表すマークが付いてくる場合があります。以下はその一例です。

- 二 :二か国語放送(☞110ページ)
- S :ステレオ放送(☞110ページ)
- 字 :字幕放送(☞127ページ)
- B :圧縮Bモードステレオ放送(☞110ページ)
- N :ニュース番組

番組説明の中にある語句を登録するには

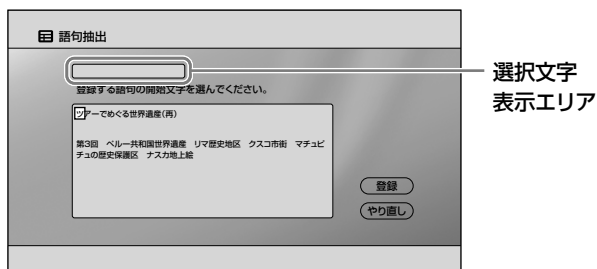
番組検索やお好みナビで使うキーワードとなる語句を番組概要から抜き出して登録できます。

1 **番組説明表示中に、(オプション)を押す。**

2 **↑↓で[語句抽出]を選んで、決定を押す。**

番組概要が表示されます。

3 **↑↓←→で登録したい語句の開始文字を選んで、決定を押す。**

選択文字表示エリアに選んだ文字が表示されます。

4 **←→で登録したい語句の最後の文字を選んで、決定を押す。**

5 **↑↓で[登録]を選んで、決定を押す。**

語句が登録されます。

6 **←→で[はい]または[いいえ]を選んで、決定を押す。**

[はい]を選ぶと、選んだ語句がお好みナビで使うキーワードとして登録されます。
[いいえ]を選ぶと、語句としては登録されますが、お好みナビでは使われません。

信号表示画面を見るには

デジタル放送の番組説明を表示中に緑を押す。
番組説明に表示されている番組が持っている映像信号や音声信号の情報を見ることができます。

見たい番組を探す

番組検索する

1 ホーム を押す。

2 ←→で番組を検索したい放送を選ぶ。

3 ↑↓で（番組表・検索）を選んで、決定を押す。

4 ↑↓で（番組検索）を選んで、決定を押す。

5 ↑↓で［放送］や［サービス］、［時間帯］などの設定項目を選んで、決定を押す。

6 ↑↓で設定項目を選んで、決定を押す。

7 ［ジャンル］または［キーワード］を設定する。

ジャンル：「ジャンルを設定するには」（☞右記）をご覧ください。

キーワード：「キーワードを設定するには」（☞48ページ）をご覧ください。

8 ↑↓で［キーワード検索方法］を選んで、決定を押す。

9 ↑↓で設定項目を選んで、決定を押す。

10 →で［検索開始］を選んで、決定を押す。

検索された番組が放送開始時刻順に表示されます。

項目	できること
放送	放送の種類（地上デジタル、BSデジタル、CSデジタル）を選びます。
サービス	放送サービス（すべて、テレビ、ラジオ、データ）を選びます。
課金番組	有料番組を含むかどうかを設定します。
時間帯	放送時間帯を設定します。
キーワード検索方法	［すべてのキーワードを含む］または［いずれかのキーワードを含む］を選びます。

ジャンルを設定するには

1 「番組検索する」の手順4のあとで、↑↓で［ジャンル］を選んで、決定を押す。

2 ↑↓で［指定する］を選んで、決定を押す。

3 ↑↓でジャンルを選んで、決定を押す。

4 ↑↓でサブジャンルを選んで、決定を押す。

次のページにつづく⇨

ちょっと一言

番組検索画面の［ジャンル］と［キーワード］はそれぞれ［キーワード］、［ジャンル］に変更できます。

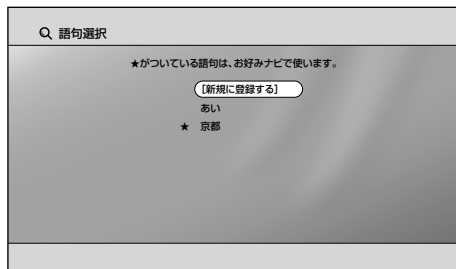
↑↓で［ジャンル］または［キーワード］を選んで、決定を押したあとで、←を押します。↑↓で変更できるようになります。

番組表で見たい番組を探す(つづき)

キーワードを設定するには

1 「番組検索する」(☞47ページ)の手順4のあとで、⬆⬇で[キーワード]を選んで、(決定)を押す。

2 ⬆⬇で[指定する]を選んで、(決定)を押す。

3 ⬆⬇でキーワードを選んで、(決定)を押す。

[新規に登録する]を選んだときは、ソフトウェアキーボード(☞右記)で、登録したい語句を入力してください。

オプションでできること…

● 語句選択画面表示中

項目	できること
お好みナビ登録／お好みナビ登録解除	選んでいる語句をお好みナビ(☞40ページ)で使うキーワードとして登録します。すでに登録してあるときは、登録を解除します。
語句編集	選んでいる語句を編集できます。ソフトウェアキーボード(☞右記)で編集してください。
語句削除	選んでいる語句を削除できます。

文字を入力する [ソフトウェアキーボード]

文字を入力する必要があるときに自動的に表示されます。

A フォーカス

B カーソル

C 編集用ボタン
[全／半角]:英語や記号の全角、半角を切り換えます。
[変換]:入力した文字を漢字に変換します。
[確定]:文字を確定します。
[左削除]:カーソルの左側の文字を削除します。
[全クリア]:入力文字表示エリアにある文字をすべて削除します。
[⬅]／[➡]:カーソルを左右に移動します。

D 入力文字表示エリア
入力中の文字が表示されます。

E 入力できる文字の種類を変えて、ソフトウェアキーボードを表示します。
「全」または「半」が表示されているときは、全角文字または半角文字のみ入力できます。

F ◀／▶マーク
入力された文字が入力文字表示エリアに表示しきれないときに表示されます。カーソルを移動すると残りの文字が表示されます。

G リモコンの数字ボタンを押すと、同じ数字の行にフォーカスが移動します。くり返し押すとフォーカスが移動します。

H 文字ボタン
文字や記号を入力します。

I 操作ガイド表示欄
ソフトウェアキーボードを表示中にリモコンでできることをガイド表示します。

J [スペース]ボタン
スペース(空白)を入力します。

K [中止]ボタン
文字入力を中止して元の画面に戻ります。入力文字表示エリアに表示されている文字は設定されません。

L [入力]ボタン
入力した文字を確定してソフトウェアキーボードを消します。

見たい番組を探す

文字や記号を入力するには

例：検索でキーワード「藍」を入力する場合

1 **「番組検索する」(☞47ページ)の手順1～4を行う。**

2 **▲▼で[キーワード]を選んで、決定を押す。**

3 **▲▼で[指定する]を選んで、決定を押す。**

4 **▲▼で[新規に登録する]を選んで、決定を押す。**
ソフトウェアキーボードが表示されます。

5 **▲▼◀▶で[あ]を選んで、決定を押す。**
入力文字表示エリアに「あ」と表示されます。

選ばれている文字や項目

6 **▲▼◀▶で[い]を選んで、決定を押す。**
入力文字表示エリアに「あい」と表示されます。

7 **▲▼◀▶で[変換]を選んで、決定を押す。**
正しい文字が表示されたときは手順10に進んでください。

8 **[変換]が選ばれていることを確認して、決定を押す。**

9 **▲▼で[藍]を選んで、決定を押す。**
リモコンの数字ボタンで、文字の左側に表示されている数字を選ぶこともできます。

10 **▼で[確定]を選んで、決定を押す。**

11 **▲▼◀▶で[入力]を選んで、決定を押す。**
ソフトウェアキーボードが消えて、キーワードに「藍」が表示されます。

入力した文字を削除するには

入力文字表示エリアに表示されている文字を削除できます。

例：「高校野球の決勝戦」から「の」を削除する場合

1 **▲▼◀▶で[←]または[→]を選ぶ。**

2 **決定をくり返し押して、カーソルを削除する文字の右側に移動する。**

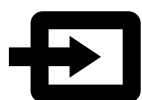
高校野球の｜決勝戦

3 **▲▼◀▶で[左削除]を選んで、決定を押す。**

高校野球｜決勝戦

ソフトウェアキーボードで使えるリモコンのボタン

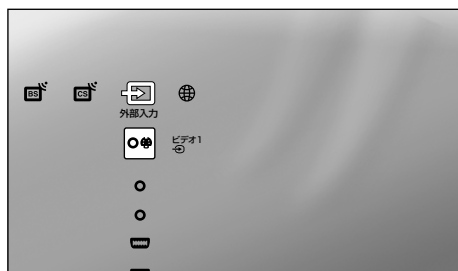
ソフトウェアキーボードを表示しているときに、リモコンのボタンを使ったほうが携帯電話で入力するように簡単に操作できることがあります。

ボタン	できること
青	**「ひらがな」入力、「カタカナ」入力のときは** 入力した文字を漢字に変換します。 [変換]ボタンと同じ働き。 **「半角英字」入力、「半角記号」入力のときは** URL定型文字列を表示します。
赤	**「ひらがな」入力、「カタカナ」入力のときは** 変換した文字を確定します。 [確定]ボタンと同じ働き。 **「英字」入力、「記号」入力のときは** 全角文字と半角文字を切り換えます。 [全／半角]ボタンと同じ働き。
緑	カーソルの左側の文字を削除します。 [左削除]ボタンと同じ働き。
黄	入力できる文字の種類を変えて、ソフトウェアキーボードを表示します。
① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫	キーボードの文字ボタンの行の左端に表示されている数字を見て、数字ボタンで携帯電話のように文字を入力します。
戻る	文字入力を中止して元の画面に戻ります。 入力文字表示エリアに表示されている文字は設定されません。 [中止]ボタンと同じ働き。

つないだ機器の映像を見る

あらかじめ接続をしてください(☞14、22ページ)。
パソコンの画像を見るには(☞61ページ)。

ホームメニューから選ぶには

1 ホーム を押す。

2 ←→で(外部入力)を選ぶ。

3 ↑↓で見たい外部機器の入力を選んで、決定を押す。

ビデオ	ビデオ1 ～ 3入力につないだ機器の映像に切り換わります。
コンポーネント	コンポーネント1、2入力につないだ機器の映像に切り換わります。
HDMI	HDMI1、2入力につないだ機器の映像に切り換わります。
PC	PC入力につないだパソコンの画像に切り換わります(☞61ページ)。

入力切換ボタンで切り換えるには

1 入力切換 を押す。

2 入力切換 をくり返し押して、入力を選ぶ。

[スキップ設定]が[自動]に設定されていて、機器をつないでいない入力は選べません(☞51ページ)。

オプションでできること…

● つないだ機器の映像を視聴中

項目	できること
画質	画質を調整できます(☞66ページ)。
音質	音質を調整できます(☞69ページ)。
2画面表示	2画面で表示します(☞42ページ)。
アプリキャスト*1	インターネット上のアプリを表示します(☞87ページ)。
スピーカー出力	**テレビスピーカー**:本機のスピーカーから音声が出ます。 **AVアンプ**:本機のスピーカーから音声が出なくなります。HDMI機器制御対応のAVアンプをHDMI1、2入力と光デジタル音声出力につないでいるときは、AVアンプから本機の音声が出ます(☞55ページ)。[HDMI機器制御設定](☞79ページ)をする必要があります。HDMI機器制御対応のAVアンプをつないでいないときは、本機につないだオーディオ機器のスピーカーで音声を聞くときに選びます。
ヘッドホン音量	ヘッドホンの音量を調節できます。
消費電力*1	消費電力を設定できます(☞83ページ)。
スリープタイマー*1	時刻を設定して自動的に電源を切ることができます(☞65ページ)。
時刻取得*1	デジタル放送に切り換えて、時刻情報を取得します。
接続機器操作*2	HDMI機器をHDMI1、2入力につないでいるときに、機器の操作メニューやオプション、リストなどを表示できます。機器操作は本機リモコンの↑↓←→決定で行います。
項目の並び換え	オプション項目の表示順を使いやすいように並べ換えられます。

*1 PC入力とHDMI入力にパソコンをつないでいるときを除く。
*2 HDMI入力のみ。つないだ機器がHDMI機器制御に対応していて、HDMI機器制御できるように設定されている必要があります。また、つないだ機器が接続機器操作に対応している必要があります。

入力切換を使いやすくする[オートインプットスキップ設定]

入力端子ごとに接続状態に合わせて、入力切換操作を簡単にしたり、ホームメニュー表示をわかりやすくできます。

使わない入力に切り換わらないようにするには

1 ホームを押す。

2 ←→で(設定)を選ぶ。

3 ↑↓で(外部入出力設定)を選んで、決定を押す。

4 ↑↓で[オートインプットスキップ設定]を選んで、決定を押す。

5 ↑↓で設定したい入力を選んで、決定を押す。

6 ←→で[スキップ設定]を選ぶ。

7 ↑↓で[自動]または[表示する]を選ぶ。

自動:機器をつないでいるか、または機器からの入力があるかどうかを自動的に検出して、機器をつないでいる場合のみ、入力切換できるようにします。つないだHDMI機器によっては、機器の電源が入っていないと、認識できないものもあります。

表示する:機器をつないでいなくても、入力切換ができます。その場合、映像・音声は出ません。

名前やアイコン表示を変えるには

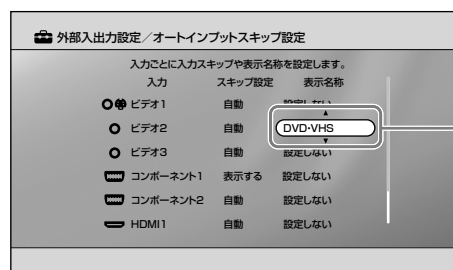
例:ビデオ2入力にDVD一体型ビデオをつないだときに、名前を「DVD・VHS」に変更する場合

1 「使わない入力に切り換わらないようにするには」(☞上記)の手順1 ～ 4を行う。

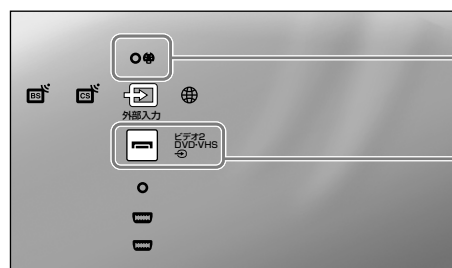
2 ↑↓で[ビデオ2]を選んで、決定を押す。

3 ←→で[表示名称]を選ぶ。

手順2で[PC]を選んだときは、[表示名称]は選べません。

4 ↑↓で[DVD・VHS]を選んで、決定を押す。

5 (戻る)を押す。

6 ←→で[はい]を選んで、決定を押す。

「表示名称」変更後のホームメニュー

アイコンの種類

アイコン	名前
	CATV、デジタルチューナー、デジタルCSチューナー
	ビデオデッキ
	DVD、ブルーレイディスク
	HDD・DVD・VHS、DVD・VHS、HDD・DVD
	HDDレコーダー
	AVアンプ
	ホームシアター
	ゲーム
	ビデオカメラ
	デジタルカメラ
	PC

次のページにつづく⇨

ご注意

本機につなぐ機器(パソコンなど)やケーブルによっては、接続を正しく検出できず、入力が選べないことがあります。その場合は[スキップ設定]を[表示する]にしてください。

本機につないだブラビアリンク対応機器をリモコンに登録する

付属のリモコンで、右表のHDMI機器を操作できます。あらかじめネットTVボタンまたは録画機器ボタンに機器を登録してください。

対応している機器

機器	登録するリモコンのボタン
ブルーレイディスクレコーダー [*1]	録画機器
ハードディスクレコーダー	録画機器
ネットワークTV	ネットTV

*1 2007年9月以降発売のソニー製対応機器。

機器を登録するには

ネットTVボタンと録画機器ボタンのそれぞれに、1つの機器を登録できます。

1 ネットTV または 録画機器 を押しながら、(画面表示)を押す。

— ネットTVボタンまたは録画機器ボタンのどちらか、機器を登録したいほうのボタンを押します。

— ネットTVボタンまたは録画機器ボタンが点滅します。

2 登録したい機器に対応した数字ボタンを押す。

手順1で押したネットTVボタンまたは録画機器ボタンが点灯します。

機器	番号
ブルーレイディスクレコーダー [*2]	**103(BD3)** [*3]、102(BD2)、101(BD1)
ハードディスクレコーダー [*2]	**203(HDD3)** [*3]、202(HDD2)、201(HDD1)
ネットワークTV	301

*2 ( )内はリモコンモードです。機器のリモコンモードに合わせて選んでください。
*3 お買い上げ時の設定。

3 (決定)を押す。

正しく登録されたときは、ネットTVボタンまたは録画機器ボタンが2回点滅して終了します。
登録されなかったときは、5回点滅しますので、もう一度手順1からやり直してください。

ご注意

別冊の「もっとつながるブラビアリンクガイド」や登録する機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。

本機リモコンでブラビアリンク対応機器を操作する

対応機器リストを表示するには

1 ブラビアリンク対応機器以外の映像視聴中に、リンクメニューを押す。

HDMI1、2入力につないだHDMI機器名が表示されます。

2 ↑↓で機器名を選んで、決定を押す。

選んだ機器の電源が入り、本機の入力が切り換わります。

ダイレクト操作するには

VOD、リプレイ、見て録、予約する、見る、見て録停止ボタンは、ネットTVまたは録画機器ボタンに登録した（☞52ページ）ブラビアリンク対応機器をダイレクトで操作します。詳しくは、「機器を操作できるリモコンボタン」（☞54ページ）をご覧ください。

操作メニューから操作するには

ブラビアリンク対応機器の映像視聴中に、リンクメニューを押す。

視聴中の機器の操作メニューが表示されます。
↑↓←→決定で項目を選んで操作します。

機器選択ボタンを使って操作するには

本機のリモコンで直接再生操作などができます。

1 ブラビアリンク対応機器の映像視聴中に、ネットTVまたは録画機器、TVを押す。

ブルーレイディスクレコーダー、ハードディスクレコーダー

録画機器ボタンを押してください。

ビデオカメラ

TVボタンを押してください。

2 つないだ機器操作時に使えるボタンⒶ～ⓒで、機器を操作する。

手順1で押したボタンが点灯するときのみ操作できます。

つないだ機器の映像を見る／録画する

次のページにつづく⇨

つないだ機器の映像を見る(つづき)

機器を操作できるリモコンボタン

ボタン	操作
機器選択と操作メニュー表示ができるボタン	
リンクメニュー	操作する機器を選んだり、その機器の操作メニューを表示したりします。機器によって表示される内容は異なります。
録画機器を操作できるボタン	
見て録	視聴中に押すと、視聴している番組を録画機器で録画します(地上アナログは録画できません)。
予約する	録画機器の録画予約画面を表示します。(ブルーレイディスクレコーダーまたはハードディスクレコーダー)
リプレイ	視聴中に押すと、ハードディスクレコーダーに入力が切り換わり、視聴している番組の少し前に戻り、停止します。(決定)で再生を始めます。(ハードディスクレコーダーのみ)
見る	録画機器の録画リストを表示します。
見て録停止	見て録実行中に押すと、録画を停止します。通常の録画や録画予約のときは働きません。
ネットワークTVを操作できるボタン	
VOD	ネットワークTVのビデオオンデマンドサービスの一覧を表示します。
ホームシアターを操作できるボタン	
シアター	シアターモード(☞126ページ)になり、HDMIケーブルでAVアンプをつないでいれば、スピーカー出力が自動で切り換わります(☞55ページ)。
機器選択ボタン	
ネットTV、録画機器、TV	あらかじめ機器を登録しておくと、ネットTVボタンまたは録画機器ボタンに登録した機器を操作できるようになります。TVボタンを押すと、本機を操作できるようになります。
つないだ機器操作時に使えるボタン	
トップメニュー*、前⏮、一時停止⏸、次⏭ ポップアップ*／メニュー、◀II/◀I／◀◀、再生▶、I▶/II▶／▶▶、停止■	機器選択ボタンで選んだ機器を操作します。再生／録画操作、メニュー表示ができます。
字幕、音声切換、画面表示、番組表	機器選択ボタンで選んだ機器を操作します。
↑↓←→(決定)、ホーム、オプション、戻る、カラーボタン(青、赤、緑、黄)	機器選択ボタンで選んだ機器を操作します。メニュー操作や項目選択などができます。

* 録画機器ボタンにブルーレイディスクレコーダーを登録したときのみ操作できます。

ご注意

- ブラビアリンクで操作できる機能は機器によって異なります。
- リンクメニューボタンで操作メニューを表示できるのは、2008年2月以降に発売のビデオカメラなどです。
- ブラビアリンク対応機器について、詳しくは下記のホームページをご覧ください。
  http://www.sony.co.jp/bravia/support/
- リモコンの電池を取り出したり、交換したりすると、設定した内容は消えることがあります。もう一度、設定し直してください。
- 本機のリモコンでは、機器によっては操作できない機能があります。そのような場合には機器に付属のリモコンで操作してください。
- 本機のリモコンのボタンに対応する機能が機器に無い場合は、そのボタンは働きません。

ちょっと一言

次のボタンを押すと、本機を操作できるようになります。
数字ボタン、チャンネル＋／－ボタン、アプリキャストボタン、地上アナログボタン、地上デジタルボタン、BSボタン、CSボタン、2画面表示ボタン、入力切換ボタン

HDMI1、2入力につないだ機器を操作するには、あらかじめ[HDMI機器制御設定]をしてください(☞79ページ)。

ブラビアリンク対応機器などHDMI機器制御ができる機器を操作する

HDMI1、2入力端子にHDMI機器制御ができる機器をつないでいるときは、ホームメニューの(外部入力)の列に機器名が表示され、下記の操作ができます。本機とつないだ機器ともに主電源が入っている状態で行ってください。

ブルーレイディスクレコーダー／ DVDプレーヤーなどのときは

ハードディスクレコーダーやネットワークTVなどでも同様に操作できます。

操作	できること
本機で、ホームメニューの(外部入力)からHDMI機器を選ぶ	HDMI機器の電源が入り、本機の入力が切り換わります。
HDMI機器で再生を始める	本機の電源が入り、再生映像が表示されます。
本機の電源を切る＊1	HDMI機器も設定していれば連動して電源が切れます。

＊1 電源を切るときは、リモコンで操作してください。

AVアンプのときは

操作	できること
本機の電源を入れる＊2	前回電源を切ったときに、音声がAVアンプから出力されていれば、AVアンプの電源が入り、本機の音声がAVアンプからの出力に切り換わります。 **音量調節：AVアンプ**＊3
本機で、オプションの[スピーカー出力]を[AVアンプ]に切り換える	AVアンプの電源が入り、本機の音声がAVアンプからの出力に切り換わります＊4。 AVアンプにつないだ録画機器などの映像を本機で視聴しているときは、録画機器の音声がAVアンプから出力されます。 **音量調節：AVアンプ**＊3
AVアンプの電源を入れる	本機の電源が入っていれば、本機の音声がAVアンプからの出力に切り換わります＊4。 AVアンプにつないだ録画機器などの映像を本機で視聴しているときは、録画機器の音声がAVアンプから出力されます。 **音量調節：AVアンプ**＊3
本機の電源を切る＊5	AVアンプの電源が切れます。 AVアンプにつないだ録画機器も設定をしていれば連動して電源が切れます。
本機で、オプションの[スピーカー出力]を[テレビスピーカー]に切り換える	音声が本機のスピーカーからの出力に切り換わります。 **音量調節：本機**＊3
AVアンプの電源を切る＊5	音声がAVアンプから出力されているときは、本機のスピーカーからの出力に切り換わります。 **音量調節：本機**＊3

＊2 消音ボタンでテレビの電源を入れたときは、AVアンプの電源は入りません。
＊3 本機リモコンの音量＋／－ボタン、消音ボタンで音量を調節できる機器です。AVアンプの音量を調節するときも、リモコンを本機に向けて操作してください。
＊4 AVアンプを本機の光デジタル音声出力につなぐ必要があります(☞24ページ)。
＊5 電源を切るときは、リモコンで操作してください。

次のページにつづく⇨

ご注意

- HDMI1、2入力につないだ機器を操作するには、つないだ機器がHDMI機器制御に対応していて、HDMI機器制御ができるように設定されている必要があります。
- HDMI機器によっては、本機の電源を切っても連動して切れないことがあります。
- AVアンプはホームメニューの(外部入力)からは選べません。

ちょっと一言

- ソニー製ホームシアター機器の場合は、番組のジャンルに合わせて自動で音声効果が変わります。
- HDMI機器の電源を切ると、最後に見ていたチャンネルに切り換わる場合があります。

ビデオカメラのときは

操作	できること
ビデオカメラの電源を入れる、電源の入ったビデオカメラをつなぐ	本機の電源が入ったあとで、入力が切り換わり、ビデオカメラの操作メニューが表示されます。
本機の電源を切る*	ビデオカメラも連動して電源が切れます。
本機で、オプションの[接続機器操作]から[メニュー]を選ぶ	ビデオカメラの操作メニューが表示され、本機のリモコンで操作できます。

* 電源を切るときは、リモコンで操作してください。

ご注意

オプションの[接続機器操作]で操作メニューを表示できるのは、2008年2月以降に発売のビデオカメラなどです。

ちょっと一言

ビデオカメラの電源を切ると、最後に見ていたチャンネルに切り換わる場合があります。

つないだ録画機器で番組を録画する／予約する

本機と録画機器をつなげば、下記の方法でデジタル放送の録画設定ができます。また、視聴予約の設定もできます。地上アナログ放送は、本機では録画や予約の設定はできません。つないだ機器側で録画や予約の設定を行ってください。

録画方法の設定と準備

シンクロ録画
お手持ちの機器がシンクロ録画に対応しているときは、[録画方法]を[シンクロ録画]にする。

AVマウス録画
AVマウスをつないだときは、[録画方法]を[AVマウス]にする。

☞78ページ

放送／番組の種類

デジタル放送

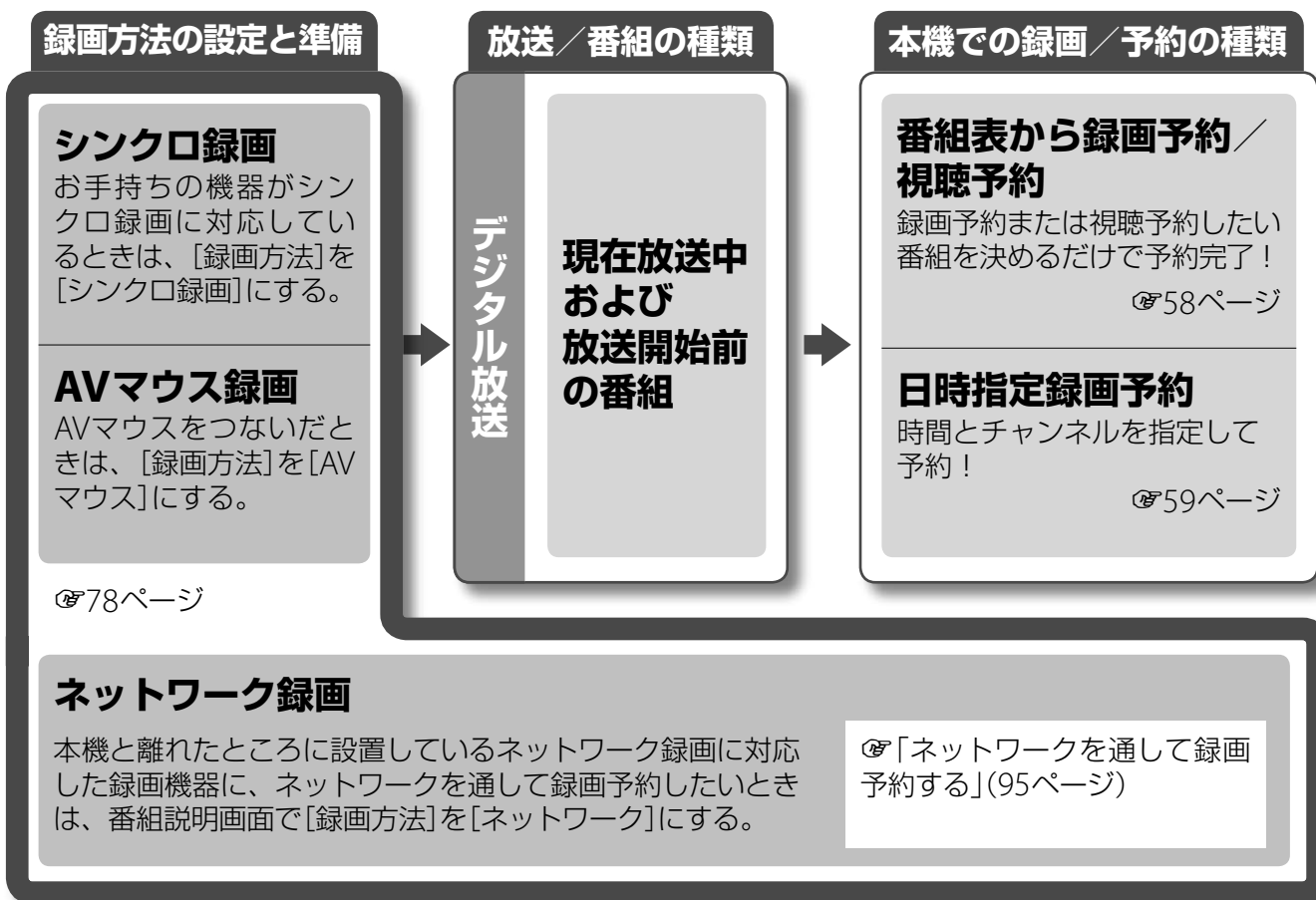
現在放送中および放送開始前の番組

本機での録画／予約の種類

番組表から録画予約／視聴予約
録画予約または視聴予約したい番組を決めるだけで予約完了！
☞58ページ

日時指定録画予約
時間とチャンネルを指定して予約！
☞59ページ

ネットワーク録画
本機と離れたところに設置しているネットワーク録画に対応した録画機器に、ネットワークを通して録画予約したいときは、番組説明画面で[録画方法]を[ネットワーク]にする。

☞「ネットワークを通して録画予約する」(95ページ)

シンクロ録画:録画機器が映像･音声信号を受信している時間のみ、自動で録画する機能です。録画機器側で録画操作しても録画できません。
AVマウス録画:録画開始、終了などの指示を、AVマウスを通して録画機器に伝え、自動で録画する機能です。本機からの映像･音声信号は常に出力されます。
ネットワーク録画:本機とネットワーク録画対応機器がネットワークでつながっているときのみ設定できます。本機から録画予約の情報を、ネットワークを通して録画機器に送信します。

録画実行中に視聴できる放送や外部入力

録画実行中の番組の他に、下の表のように外部入力の映像を見ることができます。

○:視聴可能／△:録画実行中の番組のみ視聴可能／×:視聴不可能

	地上アナログ	地上デジタル	BSデジタル	110度CSデジタル	ビデオ1～3入力	コンポーネント1、2入力	HDMI 1、2入力	PC入力
地上デジタル録画実行中	×	△	×	×	○	○	○	○
BSデジタル録画実行中	×	×	△	×	○	○	○	○
110度CSデジタル録画実行中	×	×	×	△	○	○	○	○

次のページにつづく⇨

ご注意

- AVマウス録画またはシンクロ録画で録画予約したときは**本体の電源スイッチで、主電源を切らないでください。**主電源が切れていると、予約した時刻になっても電源は入らず、録画が始まりません。
- ハードディスクレコーダー･DVDレコーダー複合機などのときは、録画予約する前に、複合機器側で録画する機器(HDDやDVDなど)を選んでおいてください。

録画・予約をする前に接続(☞21ページ)と[録画予約設定](☞78ページ)をしてください。

最大で録画予約は20件、視聴予約は10件までです。

番組表から録画予約する

1 ホーム を押す。

2 ←→で(ビデオ)を選ぶ。

3 ↑↓で(番組予約)を選んで、決定を押す。

4 ↑↓で(録画予約)を選んで、決定を押す。

5 ↑↓で予約したい放送の番組表を選んで、決定を押す。

番組表が表示されます。

6 ↑↓←→で録画したい番組を選んで、決定を押す。

番組説明が表示されます。

7 ↑↓で[録画予約]を選んで、決定を押す。

くり返し同じ時間帯(月－土など)に録画する場合は、↑を押したあとに決定を押してから、↑↓で[日付]を設定してください。

8 [予約確定]が選ばれていることを確認して、決定を押す。

番組表から視聴予約する

電源が入っている状態で放送開始時刻になると、自動で予約した番組にチャンネルが切り換わります。

1 「番組表から録画予約する」の手順1 ～ 6を行う。

2 ↑↓で[視聴予約]を選んで、決定を押す。

3 [予約確定]が選ばれていることを確認して、決定を押す。

ご注意

- 録画実行中は本体の電源スイッチで、主電源を切らないでください。録画が中止されます。
  リモコンの電源スイッチで電源を切っても録画は継続します。
- 独立データ放送のデータ画面はデジタル放送／ビデオ出力端子から出力されないため、録画予約できません。
- 本体またはリモコンの電源スイッチで、切またはスタンバイの状態にしているときは、視聴予約の時刻になっても電源が入らず、視聴予約が実行されません。
- 「日時指定録画予約」の場合と、番組表からの録画予約でくり返し録画するように設定したときには、[流動編成･イベントリレー対応設定](☞78ページ)で設定できても、流動編成･イベントリレーには対応しません。
- 録画予約と視聴予約が重複するときは、録画予約が優先されます。

日時を指定して録画予約する［日時指定録画予約］

1 ホーム を押す。

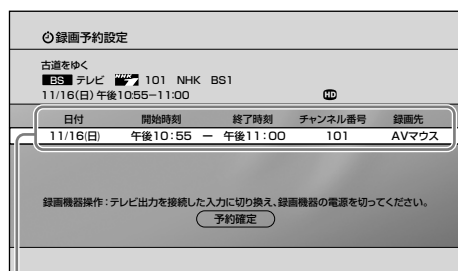
2 ←→で（ビデオ）を選ぶ。

3 ↑↓で（番組予約）を選んで、決定を押す。

4 ↑↓で（録画予約）を選んで、決定を押す。

5 ↑↓で予約したい放送の日時指定予約を選んで、決定を押す。

6 設定欄が選ばれていることを確認して、決定を押す。

「日付」欄が選ばれます。

設定欄

7 ←→で項目を選んで、↑↓で設定して、→で次の項目を選ぶ。

予約したい内容を設定してください。

項目	できること
日付	録画する日付またはくり返しを設定できます。
開始時刻	録画開始時刻を設定できます。
終了時刻	録画終了時刻を設定できます。
チャンネル番号	録画するチャンネルを選べます。

8 決定を押す。

9 ↑↓で［予約確定］を選んで、決定を押す。

録画を停止するには

1 ホーム を押す。

2 ←→で（ビデオ）を選ぶ。

3 ↑↓で（番組予約）を選んで、決定を押す。

4 ↑↓で（予約リスト）を選んで、決定を押す。

予約リストが表示されます。

5 ↑↓で録画中の予約を選んで、決定を押す。

「予約修正」画面が表示されます。

6 ↑↓←→で［予約削除］を選んで、決定を押す。

7 ←→で［はい］を選んで、決定を押す。

くり返し録画するには

番組表からの録画予約と「日時指定録画予約」ではくり返し同じ時間帯に録画するように設定できます。

番組表から録画予約を設定するときは「番組表から録画予約する」（☞58ページ）の手順7のあとで設定してください。録画予約の設定が完了したあとで「予約リスト」（☞60ページ）で修正することもできます。

「日時指定録画予約」のときは左記の手順7でくり返しを設定してください。

ちょっと一言

- 放送を視聴中に録画が始まると、録画実行中のチャンネルに自動的に切り換わります。その後、視聴したい入力に切り換えてください。録画実行中に視聴できる外部入力について詳しくは、☞57ページをご覧ください。
- 有料番組を予約すると、予約時には料金がかかりませんが、録画が始まると料金がかかります。
- 映像／音声信号などが複数ある番組では、信号選択画面が表示されます。
- 録画実行中は本機前面の電源／録画予約／録画ランプが赤色に点灯しているので、録画実行中であることを確認できます。
- 未購入のペイパービュー（有料番組）は日時指定録画予約設定ができても録画はできません。
- 番組情報取得の状況によっては、番組名などが表示されないことがあります。

予約の内容を確認する

予約を確認する／修正する

1 ホーム を押す。

2 ←→で（ビデオ）を選ぶ。

3 ↑↓で（番組予約）を選んで、決定を押す。

4 ↑↓で（予約リスト）を選んで、決定を押す。

予約リストが表示されます。

↑↓で選び決定を押すと、「予約修正」画面が表示され、予約の修正、削除、保護設定ができます。

A **予約番号**（☞「マークの意味」）

B **予約設定の内容**
番組のタイトル、予約日時、チャンネル

マークの意味

（赤）：録画予約

（青）：視聴予約

1：予約番号。番号の順に実行されます。

REC 1：録画実行中の予約。「REC」の点滅中は、録画準備中または終了処理中です。

1：保護設定されている録画予約。

! 1（「！」部分：赤）：重複していて、実行できない録画予約または視聴予約。

! 1（「！」部分：黄）：一部重複していて、部分的に録画できない予約、またはくり返し予約の一部が録画できない予約。

録画予約が実行されたかを確認する

1 ホーム を押す。

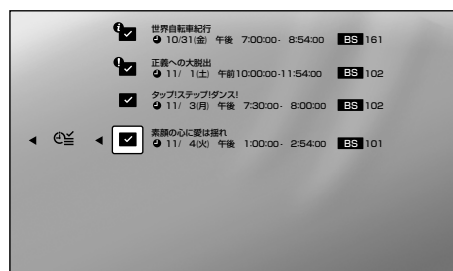
2 ←→で（ビデオ）を選ぶ。

3 ↑↓で（番組予約）を選んで、決定を押す。

4 ↑↓で（録画予約結果リスト）を選んで、決定を押す。

録画予約結果リストが表示されます。

最大で20件までの録画予約が表示され、古いものから順に削除されます。

5 詳細を確認したいときは、↑↓で番組を選んで、決定を押す。

マークの意味

✓：正しく終了した録画予約。

i ✓：正しく終了した録画予約で「お知らせ」があるもの。
↑↓で選んで、決定を押すと詳細が表示されます。

! ✓：正しく終了できなかった録画予約。
↑↓で選んで、決定を押すと詳細が表示されます。

オプションでできること…

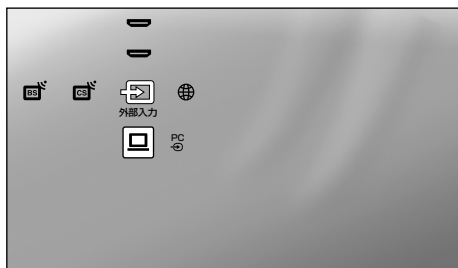
● （録画予約結果リスト）表示中

項目	できること
全件削除	予約の履歴をすべて削除します。

パソコン(PC)の画像をテレビに映す

パソコンを接続してください(☞25ページ)。
対応入力信号については(☞122ページ)。

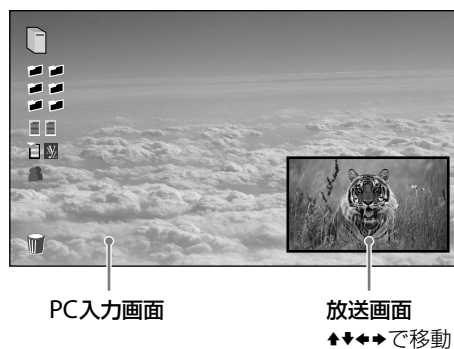
1 ホーム を押す。

2 ◆◆で(外部入力)を選ぶ。

3 ◆◆で(PC)または(HDMI)を選んで、決定 を押す。

(PC)	PC入力につないだパソコンの画像に切り換わります。
(HDMI)	HDMI1、2入力につないだパソコンの画像に切り換わります。

デジタル放送の番組を画面に表示する

パソコンの画像を表示中に、2画面表示 を押す。
最後に選んでいたチャンネルが子画面に表示されます。

PC入力画面　　放送画面
◆◆◆◆で移動

1画面表示に戻すには、もう一度2画面表示ボタンを押してください。

次のページにつづく⇨

ご注意

パソコンやケーブルによっては、接続を正しく検出できず、入力が選べないことがあります。その場合は[オートインプットスキップ設定]の[スキップ設定]を[表示する]にしてください(☞51ページ)。

ちょっと一言

- パソコン側で外部出力設定をしてください。詳しくは、パソコンの取扱説明書をご覧ください。
- 音量の調節は、パソコン側でも行ってください。
- 放送画面のチャンネルや放送は切り換えられます。ただし、録画実行中は録画番組しか視聴できません。
- 地上アナログ放送は子画面に表示されません。

オプションでできること…

● パソコンの画像を表示中

項目	できること
画質	画質を調整できます(☞66ページ)。
音質	音質を調整できます(☞69ページ)。
2画面表示	放送中の映像を2画面で表示します(☞61ページ)。
スピーカー出力	**テレビスピーカー**:本機のスピーカーから音声が出ます。 **AVアンプ**:本機のスピーカーから音声が出なくなります。HDMI機器制御対応のAVアンプをHDMI1、2入力と光デジタル音声出力につないでいるときは、AVアンプから本機の音声が出ます(☞55ページ)。[HDMI機器制御設定](☞79ページ)をする必要があります。HDMI機器制御対応のAVアンプをつないでいないときは、本機につないだオーディオ機器のスピーカーで音声を聞くときに選びます。
ヘッドホン音量	ヘッドホンの音量を調節できます。
画面モード	画面モードを調整できます(☞72ページ)。
接続機器操作*	HDMI機器をHDMI1、2入力につないでいるときに、機器の操作メニューやオプション、リストなどを表示できます。機器操作は本機リモコンの↑↓←→(決定)で行います。
項目の並び換え	オプション項目の表示順を使いやすいように並べ換えられます。

* HDMI入力のみ。つないだ機器がHDMI機器制御に対応していて、HDMI機器制御できるように設定されている必要があります。また、つないだ機器が接続機器操作に対応している必要があります。

● 2画面表示中

項目	できること
1画面表示	1画面表示に戻します。
スピーカー出力	**テレビスピーカー**:本機のスピーカーから音声が出ます。 **AVアンプ**:本機のスピーカーから音声が出なくなります。HDMI機器制御対応のAVアンプをHDMI1、2入力と光デジタル音声出力につないでいるときは、AVアンプから本機の音声が出ます(☞55ページ)。[HDMI機器制御設定](☞79ページ)をする必要があります。HDMI機器制御対応のAVアンプをつないでいないときは、本機につないだオーディオ機器のスピーカーで音声を聞くときに選びます。
ヘッドホン音量	ヘッドホンの音量を調節できます。
音声選択	音声を聞く画面を切り換えられます。
項目の並び換え	オプション項目の表示順を使いやすいように並べ換えられます。

本機の設定を変更する

設定画面でチャンネルや画質、音質などのさまざまな設定ができます。

1 ホーム を押す。

2 ←→で（設定）を選ぶ。

3 ↑↓で設定したい項目を選んで、決定を押す。

各設定項目の詳細については、下記の「設定カテゴリー一覧」に記載されているページをご覧ください。

設定カテゴリー一覧

アイコン	説明
	お問い合わせ先が表示されます。
	お知らせ（☞64ページ） 本機や放送局からのメールやボード、ペイパービュー購入概算額などを確認できます。
	タイマー（☞65ページ） オンタイマー（自動で電源を入れる）やスリープタイマー（自動で電源を切る）などの時刻の設定ができます。
	画質·映像設定（☞66ページ） 画質や映像に関わる設定ができます。
	音質·音声設定（☞69ページ） 音質や音声に関わる設定ができます。
	画面モード（☞71ページ） 画面のサイズや横縦比などの調整、パソコン画像の画調整ができます。
	アンテナ設定（☞73ページ） 放送ごとにアンテナレベルを確認したり、衛星アンテナの電源を設定したりできます。
	放送受信設定（☞74ページ） 地域設定やチャンネル設定など、放送を受信するために必要な設定ができます。
	表示設定（☞77ページ） 字幕や文字スーパー、データ取得中表示の設定ができます。
	お好みナビ·語句設定（☞77ページ） お好みナビに関わる設定ができます。
	録画予約設定（☞78ページ） 録画予約するために必要な設定ができます。
	外部入出力設定（☞79ページ） 本機の外部入出力端子に関わる設定ができます。
	HDMI機器制御設定（☞79ページ） HDMI機器制御に関わる設定ができます。
	通信設定（☞80ページ） ネットワークや電話回線につないだときの設定やデータ放送の設定ができます。
	本体設定（☞83ページ） 省エネの設定や視聴年齢制限設定などができます。
1·2·3	かんたん設定（☞84ページ） 放送を見るための初期設定などができます。

お知らせ

☞操作方法は「本機の設定を変更する」（63ページ）をご覧ください。

項目	項目説明	
デジタル放送からのメール	放送局からお客様へのお知らせ（メール）を見ることができます。	
本機からのメール	ダウンロードのお知らせなど、本機が発行したメールを見ることができます。	
ボード（CSデジタル）	110度CSデジタルの利用者全員へ共通のお知らせや番組案内などを見ることができます。	
ペイパービュー購入履歴	先月と今月分の購入概算額と最近購入した番組の一覧を確認できます。	
登録発呼	データ放送で、クイズやアンケートに回答するときなど、回線が混んでいて通信できないことがあります。そのようなときに、あとで発信するように登録・予約できます。	
［登録発呼］を表示中にオプションボタンを押すと表示されます。	**発呼履歴一覧**	［発呼履歴一覧］を表示できます。
	発呼／発呼中止	選んだ番組が発呼受付期間中のときは、すぐに発呼できます。発呼中は発呼を取り消せます。
	詳細表示	選んだ番組の詳細情報を見ることができます。
	予約／予約取消	選んだ番組が発呼受付開始前のときは、発呼の予約ができます。予約済みのときは予約を取り消せます。
	削除禁止／削除禁止解除	選んだ番組を削除できないように設定できます。削除禁止にしているときは、［削除禁止］を解除できます。
	削除	選んだ番組を削除できます。
［発呼履歴一覧］を表示中にオプションボタンを押すと表示されます。	**登録発呼一覧**	［登録発呼］を表示できます。
	全件削除	すべての発呼履歴を削除できます。

タイマー

☞操作方法は「本機の設定を変更する」（63ページ）をご覧ください。

設定したいこと	項目	項目説明
現在時刻設定	デジタル放送を正しく受信できないときや、ケーブルテレビ（CATV）でデジタル放送を受信しているときは、時刻情報を自動で取得できないことがありますので、手動で設定してください。	
オンタイマー	**オンタイマー**	見たい番組があるときや目覚まし時計がわりに、本機の電源を入れられます。 ［入］を選ぶと、設定した時刻に自動で電源が入ります。 **ご注意** • ［入］に設定したあとは、リモコンの電源スイッチで電源スタンバイ状態にしてください。本体の電源スイッチで電源を切らないでください。 • ［オンタイマー］を使うには、デジタル放送で時刻情報を取得するか、［現在時刻設定］を行う必要があります。 • ケーブルテレビ（CATV）でデジタル放送を受信しているときは時刻情報を取得できず、［オンタイマー］を使えないことがあります。［現在時刻設定］で時刻を設定してください。
	曜日	以下から曜日を選びます。 毎日、毎週（月）～（金）、日、月、火、水、木、金、土、毎週（日）、毎週（月）、毎週（火）、毎週（水）、毎週（木）、毎週（金）、毎週（土）
	時刻	時刻を設定します。
	視聴時間	設定した時間が経過すると自動で電源が切れます（電源スタンバイ）。 1時間、2時間、3時間、4時間、5時間、6時間
	チャンネル	放送とチャンネルを選びます。
	音量	テレビスピーカーの音量を調節します。
スリープタイマー	120分／90分／60分／45分／30分／15分／切	自動で電源を切る（電源スタンバイ）までの時間を選びます。

画質・映像設定

画質

☞操作方法は「本機の設定を変更する」(63ページ)をご覧ください。

設定したいこと	項目	項目説明
設定対象	**共通**	対応する画質モードがある入力画面に共通の設定ができます。
	現在の選択入力画面名称	以下の入力画面で個別に設定ができます。 地上アナログ、地上デジタル、BSデジタル、CSデジタル、ビデオ1、ビデオ2、ビデオ3、コンポーネント1、コンポーネント2、HDMI1、HDMI2、ネットワーク機器(ビデオ)、ネットワーク機器(フォト/ミュージック)、インターネットブラウザ、PC
画質モード	**ダイナミック***	映像の輪郭とコントラストを重視した鮮やかな映像になります(お買い上げ時の設定)。
	スタンダード*	ご家庭でのご使用に合わせ、自然さを重視した標準的な映像になります。通常は[スタンダード]がおすすめです。
	シネマ*	映画表現に適した画質に調整した映像になります。
	フォト*	写真表現に適した自然で温かみのある画質に調整した画像になります。 **次のようなときのみ、[フォト]を選べます。** • ホームメニューの(フォト)で写真を再生中 • レンダラー機能を使って写真を再生中 • [ビデオ·フォト切換](☞68ページ)で[フォト]に設定した外部入力を表示中 • [ビデオ·フォト切換](☞68ページ)で[ビデオ-A]に設定したHDMI入力で、フォト(静止画)を表示中
	ビデオ(パソコンの画像、インターネット時のみ)	動画を見るのに適した画像になります。
	テキスト(パソコンの画像、インターネット時のみ)	文字や表を見るのに適した画像になります。
標準に戻す	**はい**	[はい]を選ぶと、[画質]の設定項目をお買い上げ時の設定に戻します。
	いいえ	
バックライト	調整バーを左に動かすと画面が暗くなり、右に動かすと明るくなります。	
ピクチャー	調整バーを左に動かすと明暗の差が小さくなり、右に動かすと大きくなります。	
明るさ	調整バーを左に動かすと暗くなり、右に動かすと明るくなります。	
色の濃さ	調整バーを左に動かすと色が薄くなり、右に動かすと濃くなります。	
色あい	調整バーを左に動かすと色あいが赤みがかり、右に動かすと緑がかります。	

* パソコンの画像、インターネット時は設定できません。

設定したいこと	項目	項目説明
色温度	高／中／低1／低2	高い温度ほど青みがかった色調になり、低い温度ほど赤みがかった色調になります。[低1]と[低2]は[画質モード]で[スタンダード]、[シネマ]または[フォト]を選んだときのみ設定できます。
シャープネス	調整バーを左に動かすと映像の輪郭が柔らかくなり、右に動かすとはっきりとします。	
ノイズリダクション	オート	地上アナログ放送のみ、映像のざらつきや色ノイズを検出して自動で軽減します。
	強／中／弱	ノイズの多さに応じて、強さを選び、映像のざらつきや色ノイズを軽減できます。ゴーストなど電波障害は軽減されません。
	切	ノイズ処理していないオリジナル映像信号に戻ります。映像のざらつきや色ノイズが強調されたり、色にじみが出ることがあります。
MPEGノイズリダクション	強／中／弱／切	デジタル特有のモスキートノイズやブロックノイズを低減できます。 ちょっと一言 MPEGノイズとは、DVDやハードディスクレコーダーに録画モードを長時間対応にして録画された映像などに出やすいノイズで、文字の輪郭などに蚊が飛んでいるように見えるモスキートノイズやモザイク状のひずみが出るブロックノイズがあります。

設定したいこと	項目		項目説明
詳細設定 [画質モード]で[スタンダード]、[シネマ]または[フォト]を選ぶと設定できます。	標準に戻す	はい／いいえ	[はい]を選ぶと、[詳細設定]の設定項目をお買い上げ時の設定に戻します。
	黒補正	強／中／弱／切	お好みに合わせて、黒を強調してコントラストを強くできます。
	アドバンストC.E.	強／中／弱／切	映像の明るさを判別し、コントラストを自動で調整します。特に、黒つぶれしやすい暗いシーンで効果があり、細部まで表現力豊かに再現します。
	ガンマ補正	強／中／弱／切	お好みに合わせて、映像の明暗のバランスを調整できます。
	クリアホワイト	強／弱／切	お好みに合わせて、白の鮮明さを強調できます。
	ライブカラー	強／中／弱／切	お好みに合わせて、色の鮮やかさを強調できます。
	色温度調整	標準に戻す	[色温度調整]をお買い上げ時の設定に戻します。
		Rゲイン／Gゲイン／Bゲイン／Rバイアス／Gバイアス／Bバイアス	色温度を色ごとに細かく調整します。

次のページにつづく⇨

操作方法は「本機の設定を変更する」（63ページ）をご覧ください。

設定したいこと	項目	項目説明
シネマドライブ	地上アナログ／地上デジタル／ BSデジタル／CSデジタル／ビデオ1／ビデオ2／ビデオ3／コンポーネント1／コンポーネント2／HDMI1／HDMI2／ネットワーク機器（ビデオ）	［オート］を選ぶと、映画フイルムをより原画に忠実な映像に再現します。［オート］にしていて輪郭がギザギザして見えるときは［切］を選んでください。
CGゲームモード	ビデオ1／ビデオ2／ビデオ3／コンポーネント1／コンポーネント2／HDMI1／HDMI2	映像や音声がずれるのが気になるときや、ゲーム映像のときは［入］を選んでください。
ビデオ・フォト切換	コンポーネント1／コンポーネント2	［ビデオ］を選ぶとビデオ（動画）に適した画質になります。 ［フォト］を選ぶと、入力信号フォーマットが1125（1080）/60iまたは1125（1080）/60pのときはフォト（静止画）に適した画質になります。それ以外の信号フォーマットはビデオ（動画）に適した画質になります。
	HDMI1／HDMI2	**ビデオ-Aモード対応のソニー製HDMI端子付き機器を直接つないだときは** ［ビデオ-A］を選ぶと、入力信号フォーマットが1125（1080）/60iまたは1125（1080）/60pのときはビデオ（動画）またはフォト（静止画）を自動判別し、それぞれに適した画質になります。それ以外の信号フォーマットはビデオ（動画）に適した画質になります。 **ビデオ-Aモード非対応の機器をつないだときは** ［ビデオ］を選ぶとビデオ（動画）に適した画質になります。 ［フォト］を選ぶと、入力信号フォーマットが1125（1080）/60iまたは1125（1080）/60pのときはフォト（静止画）に適した画質になります。それ以外の信号フォーマットはビデオ（動画）に適した画質になります。 ［ビデオ-A］を選ぶとビデオ（動画）に適した画質になります。

音質・音声設定

音質

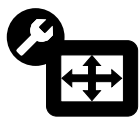
☞操作方法は「本機の設定を変更する」(63ページ)をご覧ください。

設定したいこと	項目	項目説明
設定対象	共通	すべての入力画面に共通の設定ができます。
	現在の選択入力画面名称	以下の入力画面で個別に設定ができます。 地上アナログ、地上デジタル、BSデジタル、CSデジタル、ビデオ1、ビデオ2、ビデオ3、コンポーネント1、コンポーネント2、HDMI1、HDMI2、ネットワーク機器(ビデオ)、ネットワーク機器(フォト／ミュージック)、インターネットブラウザ、PC
音質モード	ダイナミック	重低音を響かせながら、高音も通るように、明瞭感あふれるメリハリのきいた音質になります。
	スタンダード	オリジナルの音源を活かし、全音域がバランスよく自然に広がっていく音質になります。クラシック音楽や自然ドキュメンタリーなどのコンテンツ向きです。
	クリアボイス	話しことばが聞き取りやすく、長時間聞いても耳にやさしい音質になります。
標準に戻す	はい いいえ	[はい]を選ぶと、[音質]の設定項目をお買い上げ時の設定に戻します。
高音	調整バーを左に動かすと高音部分が弱くなり、右に動かすと強くなります。	
低音	調整バーを左に動かすと低音部分が弱くなり、右に動かすと強くなります。	
バランス	調整バーを左に動かすと左側の音が大きくなり、右に動かすと右側の音が大きくなります。	
サラウンド	S-FORCE Front Surround	本機のスピーカーだけで、通常のステレオ放送や、5.1chサラウンドステレオ放送、つないだ機器の音声を臨場感のある立体的な音場で楽しむことができます。
	切	5.1chなどデジタル放送のサラウンド音声は、通常のステレオ音声(2ch)に変換して再現します。それ以外の音声はオリジナル音声をそのまま再現します。
ボイスズーム	セリフなどが聞き取りにくいときに調整します。 調整バーを左に動かすと人の声が小さくなり、右に動かすと大きくなります。	
サウンドブースター	強／弱／切	お好みに合わせて、高低音域を強調して立体感あふれる音声に調整できます。 [音質モード]で[スタンダード]を選んだときのみ設定できます。
自動音量調整	入 切	[入]を選ぶと、放送･入力信号の音量変化に合わせて、音量を自動補正します。CMの音量が番組の音量より大きいときなどに有効です。
音量レベル	音の大きさが気になるときに調整します。 調整バーを左に動かすと他の入力より音が小さくなり、右に動かすと他の入力より音が大きくなります。 [設定対象]で[共通]を選んだときは、調整できません。	

次のページにつづく⇨

音質・音声設定（つづき）

☞操作方法は「本機の設定を変更する」（63ページ）をご覧ください。

設定したいこと	項目	項目説明
サイレンススタート	入	［入］を選ぶと、電源を入れたときに本機のスピーカーからの音声が徐々に大きくなるようにできます。
	切	
スピーカー出力	テレビスピーカー	本機のスピーカーから音声が出ます。
	AVアンプ	本機のスピーカーから音声が出なくなります。 HDMI機器制御対応のAVアンプをHDMI1、2入力と光デジタル音声出力につないでいるときは、AVアンプから本機の音声が出ます（☞55ページ）。［HDMI機器制御設定］（☞79ページ）をする必要があります。HDMI機器制御対応のAVアンプをつないでいないときは、本機につないだオーディオ機器のスピーカーで音声を聞くときに選びます。
ヘッドホン使用時設定	ヘッドホンのみ使用	ヘッドホンをつないでいるときは、本機のスピーカーから音声が出ません。
	スピーカー・ヘッドホン併用	ヘッドホンをつないでいるときは、本機のスピーカーとヘッドホンの両方から音声が出ます。
音声外部出力設定	固定	音声出力からは一定の音量で音声が出力されます。
	可変	音声出力から出力される音量を、リモコンの音量＋／－ボタンで調節できます。
光音声出力設定	オート1	光デジタル音声出力に圧縮音声対応AVアンプなどをつないでいるときに選びます。デジタルの圧縮音声は圧縮音声のまま出力されます。地上アナログやアナログ録画機器からの音声は、PCM音声のデジタル音声に変換して出力されます。
	オート2	光デジタル音声出力に圧縮音声対応AVアンプなどをつないでいるときに選びます。2ch以下の圧縮音声と地上アナログやアナログ録画機器からの音声は、PCM音声のデジタル音声に変換して出力されます。AAC音声の副音声への切り換えを本機の音声切換ボタンで操作したい場合は［オート2］をおすすめします。
	PCM	光デジタル音声出力に圧縮音声に対応していないAVアンプやホームシアター機器などをつないでいるときに選びます。デジタルの圧縮音声も地上アナログやアナログ録画機器からのアナログ音声も、PCM音声のデジタル信号に変換して出力されます。
AVシンク	標準／モード1／モード2／モード3	光デジタル音声出力にAVアンプをつないでいるときに、音声と映像がずれるのが気になるときに調整できます。 AVアンプにも同等の機能があるときは、本機の設定を［標準］にして、AVアンプ側で調整してください。 AVアンプに同等の機能がない場合、［モード1］、［モード2］、［モード3］となるに従い、光デジタル音声出力が映像より早く出力されるように調整できます。

画面モード

☞操作方法は「本機の設定を変更する」(63ページ)をご覧ください。

放送や外部入力の設定項目(パソコン画像以外)

設定したいこと	項目	項目説明
設定対象	**共通**	パソコン画像以外のすべての入力画面に共通の設定ができます。
	現在の選択入力画面名称	以下の入力画面で個別に設定ができます。 地上アナログ、地上デジタル、BSデジタル、CSデジタル、ビデオ1、ビデオ2、ビデオ3、コンポーネント1、コンポーネント2、HDMI1、HDMI2、ネットワーク機器(ビデオ)
ワイド切換	**ワイドズーム/ノーマル/フル/ズーム/字幕入**	お好みの画面モードに切り換えられます。[オートワイド]を[切]に設定しておくとお好みの画面モードに固定できます(☞127ページ)。 **ご注意** 番組情報が表示されているときや視聴している番組によっては、ワイド切換ができないことがあります。
オートワイド	**入**	[入]を選ぶと、画像を検出して最適な画面モードに自動で切り換えます。
	切	**ご注意** • 本機を営利目的、または公衆に視聴させることを目的として喫茶店、ホテルなどに置き、画面モード切り換え機能等を利用して画面の圧縮や引き伸ばし等を行いますと、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害する恐れがありますので、ご注意願います。 • ワイド映像でない従来の4:3の映像を、ワイドズームモードを利用してテレビの画面いっぱいに表示させてご覧になると、周辺画像が一部見えなくなったり変形して見えたりします。制作者の意図を尊重したオリジナルな映像はノーマルモードでご覧になれます。 • オートワイド[入]のときは、CMが入ったり番組が変わったりするときなどに、画面サイズが変わって不自然に見えたり、変わるまでに数秒間かかったりすることがあります。 • HDMIケーブルでつないだ機器の録画または出力の設定によっては、動作が異なることがあります。つないだ機器側の設定を確認してください。
4:3映像	**ワイドズーム/ノーマル/切**	[オートワイド]が[入]のときに4:3映像をどのように表示するか選べます。
表示領域	**+1**	下記の信号を受信しているときに、オリジナルの映像領域が表示されます。 • コンポーネント入力(1080i/1080 p)で[ワイド切換]が[フル] • デジタル放送(1080i/1080p)で[ワイド切換]が[フル] • HDMI入力で(1125i(1080i)、1125p(1080p))で[ワイド切換]が[フル] • HDMI入力(480i/480p) で[ワイド切換]が[フル]または[ノーマル] • HDMI入力(720p)で[ワイド切換]が[フル]
	標準	推奨の表示領域になります。
	−1/−2	オリジナルの映像の画欠けを見えなくします。 [+1]にしていて、画面の周辺が欠けたり周辺のノイズが気になる場合は、[−1]または[−2]に設定してください。

さまざまな設定/調整をする

次のページにつづく⇨

画面モード(つづき)

設定したいこと	項目	項目説明
画面位置調整	縦	画面の位置を上下に調整できます。 **ご注意** 視聴している信号によっては設定できないことがあります。
	横	画面の位置を左右に調整できます。 **ご注意** 視聴している信号によっては設定できないことがあります。
縦サイズ	画面のサイズを上下に調整できます。 **ご注意** 視聴している信号によっては設定できないことがあります。	

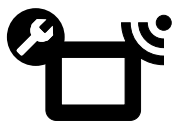
パソコン画像の設定項目(PC入力/ HDMI入力)

設定したいこと	項目	項目説明
自動画調整*	はい いいえ	[はい]を選ぶと、入力信号に合わせ、自動的に画面が最適になるように調整します。入力信号によっては、[自動画調整]により最適にならない場合があります。その場合は手動で[フェーズ]、[ピッチ]、[水平位置]、[垂直位置]を調整してください。
標準に戻す	はい いいえ	[はい]を選ぶと、パソコン画像の設定項目をお買い上げ時の設定に戻します。
フェーズ*	画像にチラツキがある場合に調整します。	
ピッチ*	画像に縦じまのノイズがある場合に調整します。	
水平位置	画像の水平位置を調整します。	
垂直位置	画像の垂直位置を調整します。	
ワイド切換	ノーマル	オリジナルのサイズで表示します。
	フル1	オリジナル映像の横縦比率を保ったまま、画面いっぱいに表示します。
	フル2	オリジナルの映像をワイド画面いっぱいに表示します。

* パソコンをHDMIケーブルでつないだ場合は設定できません。

アンテナ設定

☞操作方法は「本機の設定を変更する」(63ページ)をご覧ください。

設定したいこと	項目	項目説明
地上デジタル:アンテナレベル **BS:衛星アンテナレベル** **CS:衛星アンテナレベル** 受信中のチャンネルのアンテナレベルが確認できます。地上デジタルでは[伝送チャンネル]で受信するチャンネルを切り換えて、チャンネルごとの受信レベルを確認できます。 ちょっと一言 アンテナレベルはアンテナ設置方向の最適値を確認するための目安です。表示される数値は受信C/Nの換算値を表します。	**ビープ音**	アンテナの向きを調整するときにテレビ画面で確認できない場合には[入]にします。受信レベルが良いほど高い音、悪いほど低い音が出ます。[切]にすると音は消えます。
	伝送チャンネル(地上デジタルのみ)	受信チャンネルを表示します。受信チャンネルを選んで、切り換えられます。
	3桁チャンネル番号	受信中のチャンネル番号を表示します。
	現在受信中の放送	受信中の放送局名を表示します。
	アンテナサービス	サービス技術者用の表示です。
	現在	受信中のチャンネルの現在のアンテナレベル値を表示します。
	ピーク	受信中のチャンネルの過去に取得できた最大のアンテナレベル値を表示します。
	受信レベル表示バー	受信中のチャンネルのアンテナレベルをバーで表示します。赤、黄、緑の順に受信レベルが高くなります。
地上アナログ:アンテナレベル	**受信チャンネル**	受信中のチャンネル番号を表示します。
	アンテナレベル	受信中のチャンネルのアンテナレベルを表示します。
	アンテナサービス	サービス技術者用の表示です。
BS/CS:衛星アンテナ設定	**オート**	本機の電源が入っているときに、本機が衛星アンテナに電源を供給するかどうかを自動的に判断します。本機の電源が切れているときは供給しません。
	入	本機の電源が入っているときはつねに電源を供給します。本機の電源が切れているときは供給しません。[オート]の設定でお使いのとき、BSデジタルが映ったり消えたりするときは[入]を選びます。
	切	電源を供給しません。マンションなどの共同受信システムのときは[切]を選びます。
BS/CS:降雨対応放送受信	**オート** **切**	[オート]を選ぶと、降雨対応放送(☞111ページ)が始まると自動で切り換わります。

放送受信設定

操作方法は「本機の設定を変更する」(63ページ)をご覧ください。

設定したいこと	項目	項目説明
デジタル共通:地域設定(県域)	**都道府県名**	お住まいの地域に合った放送チャンネル(地上デジタル、BSデジタル、CSデジタル共通)の情報を取得するために設定します。引越しなどでお住まいの地域が変わったときは、新たに都道府県を選び直し、同時に[地上デジタル:自動チャンネル設定]でチャンネルも設定し直してください。
デジタル共通:地域設定(郵便番号)	**郵便番号**	お住まいの地域独自の放送チャンネル(地上デジタル、BSデジタル、CSデジタル共通)の情報を取得するために設定します。お住まいの地域の郵便番号3桁または7桁を選択ボックスの数字を変化させて選ぶか、1 ~ 10の数字ボタンで入力します。
地上デジタル:自動チャンネル設定	**初期スキャン**	設定してあるチャンネルを消去し、受信可能なチャンネルを自動で設定し直します。
	再スキャン	設定してあるチャンネルは変えずに、自動で受信可能チャンネルを追加したり、変更になったチャンネルを更新したりします。
地上デジタル:プリセット登録 自動設定したチャンネルを手動で変更するときに使います。	**地上デジタルのチャンネル**	リモコンの1 ~ 12の数字ボタンで選局するチャンネルを設定できます。受信するチャンネルにはチャンネル番号を選びます。受信しないチャンネルには[−−−]を選びます。
地上デジタル:チャンネル登録 自動設定したチャンネルを手動で変更するときに使います。	**+/−選局**	チャンネル+/−ボタンやホームメニューで選べるチャンネルを設定します。選ぶチャンネルには[する]、選ばないチャンネルには[しない]を選びます。
	番組表表示	番組表に表示するチャンネルを設定します。表示するチャンネルには[する]、表示しないチャンネルには[しない]を選びます。
地上デジタル:自動チャンネル変更	**する** **しない**	[する]を選ぶと、放送局やチャンネルが増えたときや伝送チャンネルが変更されたときに自動で登録します。[しない]を選ぶと、自動では登録せず、チャンネルスキャンすると受信できるようになります。
受信状態	**通常**	地上デジタルで受信状態が良好のときは、[通常]に設定しておいてください。
	混信	[通常]にすると選局時にノイズが気になる場合に選びます。
BS:プリセット登録 自動設定したチャンネルを手動で変更するときに使います。	**BSデジタルのチャンネル**	リモコンの1 ~ 12の数字ボタンで選局するチャンネルを設定できます。受信するチャンネルにはチャンネル番号を選びます。受信しないチャンネルには[−−−]を選びます。
[BS:プリセット登録]を表示中にオプションボタンを押すと表示されます。	**初期化**	リモコンの1 ~ 12の数字ボタンで選局するチャンネルを、お買い上げ時の設定に戻せます。
BS:チャンネル登録 自動設定したチャンネルを手動で変更するときに使います。	**+/−選局**	チャンネル+/−ボタンやホームメニューで選べるチャンネルを設定します。選ぶチャンネルには[する]、選ばないチャンネルには[しない]を選びます。
	番組表表示	番組表に表示するチャンネルを設定します。表示するチャンネルには[する]、表示しないチャンネルには[しない]を選びます。

設定したいこと	項目	項目説明
CS:プリセット登録 自動設定したチャンネルを手動で変更するときに使います。	**110度CSデジタルのチャンネル**	リモコンの1 ～ 12の数字ボタンで選局するチャンネルを設定できます。受信するチャンネルにはチャンネル番号を選びます。受信しないチャンネルには[－－－]を選びます。
[CS:プリセット登録]を表示中にオプションボタンを押すと表示されます。	**初期化**	リモコンの1 ～ 12の数字ボタンで選局するチャンネルを、お買い上げ時の設定に戻せます。
CS:チャンネル登録 自動設定したチャンネルを手動で変更するときに使います。	**＋／－選局**	チャンネル＋／－ボタンやホームメニューで選べるチャンネルを設定します。選ぶチャンネルには[する]、選ばないチャンネルには[しない]を選びます。
	番組表表示	番組表に表示するチャンネルを設定します。表示するチャンネルには[する]、表示しないチャンネルには[しない]を選びます。
番組の継続視聴	**する**	[する]を選ぶと、同じ番組を別のチャンネルで継続して放送(イベントリレー)するときに、自動でチャンネルが切り換わります。
	しない	
チャンネル選局 チャンネル＋／－ボタンで切り換えられるチャンネルの範囲を選びます。	**通常**	視聴中の放送と放送サービス(例:地上デジタルのテレビ放送など)の中で順送りでチャンネルを切り換えられます。
	シームレス	放送サービス(テレビ、ラジオ、データ)ごとに、すべての放送のチャンネルに切り換えられます。
地上アナログ:自動チャンネル設定	**オート**	放送局のある地域を選ぶ画面に変わります。お住まいにより近い放送局がある地域を選んでください。
	スキャン	受信できる地上アナログチャンネルを検索して、お住まいの地域のチャンネル情報を自動的に設定します。

次のページにつづく⇨

放送受信設定（つづき）

設定したいこと	項目	項目説明
地上アナログ：チャンネル登録 自動設定したチャンネルを手動で変更するときに使います。	**受信チャンネル**	リモコンの1 ～ 12の数字ボタンで選局するチャンネルを設定できます。受信するチャンネルには、［1］～［62］または［C13］～［C63］のいずれかのチャンネル番号を選びます。受信しないチャンネルには［－］を選びます。
	表示チャンネル	視聴中に画面に表示されるチャンネル番号を設定できます。受信チャンネルの番号ではなく、［表示チャンネル］で設定した番号で選局したいときに使います。［1］～［62］または［C13］～［C63］のいずれかのチャンネル番号を選びます。
	＋／－選局	チャンネル＋／－ボタンやホームメニューで選べるチャンネルを設定します。選ぶチャンネルには［する］、選ばないチャンネルには［しない］を選びます。
	オートステレオ設定	通常は［入］を選んで、ステレオ放送を自動的にステレオのまま受信します。ステレオ放送で雑音が気になるときは、［切］を選ぶと、音声はモノラルになりますが雑音は軽減できます。
	チャンネル微調整	チャンネルごとに受信状態を微調整できます。［オート］を選ぶと、自動で最適な受信状態に調整します。［カスタム］を選ぶと、手動で調整できます。
	確定	設定を確定します。
	修正	選んでいるチャンネルの設定を変更できます。
	入換	設定されている内容を、そのまま他の数字ボタンに入れ換えられます。
	削除	自動登録されたチャンネルで電波が弱いチャンネルなどを選んで、削除できます。
	追加スキャン	受信できるチャンネルが増えたときなどに、すでに登録してあるチャンネルに追加して登録できます。
地上アナログ：ホームメニュー表示	**する** **しない**	地上デジタルを受信していて、地上アナログを視聴する必要がないときに、地上アナログをホームメニューに表示されないように設定できます。［する］を選ぶと、地上アナログをホームメニューに表示できます。

表示設定

☞操作方法は「本機の設定を変更する」(63ページ)をご覧ください。

設定したいこと	項目	項目説明
選局時表示	入 切	[入]を選ぶと、デジタル放送で選局したときに、選局先のチャンネル番号や現在放送されている番組のタイトルなどの情報を画面中央に表示します。
デジタル放送:字幕	第1言語/第2言語/切	字幕のある番組を視聴中に字幕の言語を切り換えたり、字幕を消したりできます。
デジタル放送:文字スーパー	第1言語/第2言語/切	臨時ニュースなど、文字スーパーが送信されているときに文字スーパーの言語を切り換えたり、文字スーパーを消したりできます。
デジタル放送:データ取得中表示	入 切	[入]を選ぶと、デジタル放送の番組情報などを取得中に、画面にデータ取得中の表示を出します。

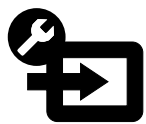
お好みナビ・語句設定

☞操作方法は「本機の設定を変更する」(63ページ)をご覧ください。

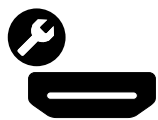
設定したいこと	項目	項目説明
お好みナビ	入 切	[入]を選ぶと、お好みの番組を自動で探し、お知らせします(☞40ページ)。
お好みナビ学習情報初期化	はい いいえ	お好みナビのために蓄積した学習情報を初期化します。
語句設定	番組検索やお好みナビで使う語句を設定します。	
[語句設定]を表示中にオプションボタンを押すと表示されます。	お好みナビ登録/ お好みナビ登録解除	選んでいる語句をお好みナビのキーワードとして登録できます。すでに登録してあるときは、登録を解除できます。
	語句編集	選んでいる語句を編集できます。ソフトウェアキーボード(☞48ページ)で編集してください。
	語句削除	選んでいる語句を削除できます。

録画予約設定

操作方法は「本機の設定を変更する」(63ページ)をご覧ください。

設定したいこと	項目	項目説明
録画方法	シンクロ録画	シンクロ録画に対応した録画機器をつないでいるときに選びます。録画機器が映像・音声信号を受信すると自動で録画します。
	AVマウス	録画機器にAVマウスをつないでいるときに選びます。AVマウスを通して録画を指示する信号が流れ、録画機器が自動で録画します。
シンクロ録画の開始時間設定 [録画方法]で[シンクロ録画]を選んだときのみ設定します。	30秒前／60秒前／90秒前／120秒前／180秒前／240秒前	録画機器が映像・音声信号を受信してから録画を開始するまでにかかる時間を選びます。 設定の目安 [30秒前]:ビデオデッキなど [90秒前]:ハードディスクレコーダーなど [180秒前]:DVDレコーダー、DVDレコーダー複合機など
AVマウス設定 [録画方法]で[AVマウス]を選んだときのみ設定します。	メーカー	録画機器のメーカー名を一覧から選びます。
	機器	録画機器の種類を一覧から選びます。選べる録画機器の種類はメーカーによって異なります。
	リモコンコード	[1]～[11]から選びます。リモコンコードはメーカーと録画機器によって選べる数が異なります。[電源オン／オフ]がうまくいかなかったときは、他のリモコンコードを選んでください。
	ライン入力	本機と接続している録画機器の入力を選ぶと、自動的に入力を切り換えて録画を開始します。メーカーと録画機器によってはライン入力は設定できません。
	電源オン／オフ	AVマウスが正しく設置、設定されていれば、録画機器の電源が入／切します。
二重音声設定	主、副、主／副	録画実行中は、本機のデジタル放送／ビデオ出力から出力される音声はここで選んだ音声に固定されます。
流動編成・イベントリレー対応設定	する しない	[する]を選ぶと、下記のような変更があったときに、変更に合わせて録画を実行します。 • 開始時刻が遅れたとき • 放送中に中断や割り込みがあったとき • 放送時間内に終わらず、引き続き別のチャンネルで放送する(イベントリレー)とき • 終了時刻が延長されたとき **次のようなときは、流動編成に対応しません。** • 放送局が放送時刻情報を送信しない番組 • 予約した番組が予定より早く始まったとき(早まった時間は録画されません) • 日時指定録画予約した番組 • 番組表からの録画予約設定で、くり返し録画するように設定しているとき

外部入出力設定

☞操作方法は「本機の設定を変更する」(63ページ)をご覧ください。

設定したいこと	項目	項目説明	
オートインプットスキップ設定	ビデオ1 ／ビデオ2 ／ビデオ3 ／コンポーネント1 ／コンポーネント2 ／ HDMI1 ／ HDMI2 ／ PC	スキップ設定	[自動]を選ぶと、機器をつないでいるかどうかを自動検出して、機器をつないでいない入力はホームメニューや入力切換ボタンで切り換えられなくなります。
		表示名称（PC入力以外）	ホームメニューやリモコンの入力切換ボタンで選べる入力端子名やアイコンを一覧から選んで変更できます。[設定しない]を選ぶと機器の名前は表示されません。
ビデオ1出力の設定	ビデオ1出力あり	デジタル放送／ビデオ出力端子から、ビデオ1入力の映像と音声が出力されます。	
	ビデオ1出力なし	デジタル放送／ビデオ出力端子から、ビデオ1入力の映像と音声は出力されません。ビデオ1入力につないだ機器と、デジタル放送／ビデオ出力につないだ機器が同じときに選びます。	
HDMI PC接続選択	HDMI1 ／ HDMI2	[オート]を選ぶと、入力信号を自動で判別し、よりよい画質にします。パソコンをつないでいてうまく映らないときは[PC]を選んでください。	

HDMI機器制御設定

☞操作方法は「本機の設定を変更する」(63ページ)をご覧ください。

設定したいこと	項目	項目説明
HDMI機器制御	する しない	HDMI1、2入力にHDMI機器制御に対応した機器をつないでいるときに、HDMI機器制御を有効にするかどうかを選びます。[する]を選ぶと、[テレビ→HDMI機器電源連動]と[HDMI機器→テレビ電源連動]の設定ができるようになります。また、HDMI機器制御に対応したAVアンプをつないでいるときは、本機のリモコンでAVアンプの音量を調節できます。 また、HDMI機器制御設定連動*に対応しているソニー製機器(AVアンプやビデオなど)のHDMI機器制御設定も有効になります。 **ご注意** [する]を選んだときは、本機と対応機器の主電源を切らないでください。
テレビ→HDMI機器電源連動	する しない	[する]を選ぶと、本機の電源を切るときにHDMI機器の電源も連動して切ります(☞55ページ)。
HDMI機器→テレビ電源連動	する しない	[する]を選ぶと、HDMI機器で電源を入れたり、再生などの操作をしたりするときに、本機の電源も連動して入ります(☞55ページ)。
HDMI機器一覧	HDMI入力につないだHDMI機器を一覧表示します。一覧表示されたAVアンプ以外の機器はホームメニューの(外部入力)から選べるようになります。[有効にする]を選ぶと、HDMI機器制御設定連動*に対応しているソニー製機器のHDMI機器制御設定も有効になります。	

＊ テレビのHDMI機器制御設定を有効にすると、HDMIで接続されているソニー製の「HDMI機器制御設定連動」対応機器のHDMI機器制御設定も有効にする機能です。

通信設定

☞操作方法は「本機の設定を変更する」(63ページ)をご覧ください。

設定したいこと	項目	項目説明	
ネットワーク設定	**IPアドレス取得方法**	[DHCPを利用(DNS自動)]を選ぶと、ルーターやプロバイダーのDHCP(Dynamic Host Configuration Protocol)サーバー機能により、自動でネットワークの設定を割り当てます。[DHCPを利用(DNS手動)]を選ぶと、ルーターやプロバイダーのDHCPサーバー機能により、自動でDNSサーバー以外のネットワークの設定を割り当てます。DNSサーバーの設定は手動で行います。 [固定IPアドレスを指定]を選ぶと、ルーターの使用状況やプロバイダーの指定に合わせて、手動でネットワークを設定する必要があります。	
	接続診断	ネットワークに正常に接続できるか診断します。	
	IPアドレス/サブネットマスク/デフォルトゲートウェイ/DNSサーバー(プライマリ)/ DNSサーバー(セカンダリ)	[IPアドレス取得方法]で[固定IPアドレスを指定]を選んだときに、⬆⬇で数字を選ぶか、1 ~ 10の数字ボタンで入力します。 [IPアドレス取得方法]で[DHCPを利用(DNS手動)]を選んだときも、[DNSサーバー(プライマリ)]と[DNSサーバー(セカンダリ)]を入力します。	
	MACアドレス	ネットワーク上で、ネットワークインターフェースを識別するために設定されている固有の番号を表示します。	
[ネットワーク設定]を表示中にオプションボタンを押すと表示されます。	**プロキシ設定**	**プロキシサーバー使用**	インターネットプロバイダーからプロキシサーバーの指定があるときは[する]に設定してください。
		プロキシサーバー	[プロキシサーバー使用]を[する]に設定したときに入力してください。
		ポート(1 ~ 65535)	[プロキシサーバー使用]を[する]に設定したときに入力してください。
接続サーバー設定	**使用**	[する]を選ぶと、ネットワークに接続したサーバーをホームメニューに表示して選べるようになります。	
[接続サーバー設定]を表示中にオプションボタンを押すと表示されます。	**すべて削除**	接続サーバーをすべて削除します。	
	サーバーリスト更新	サーバーリストを最新の情報に更新できます。	
	情報	選んでいる接続サーバーの情報を表示できます。	
	削除	選んでいる接続サーバーを削除します。	
接続サーバー診断	**はい**	[はい]を選ぶと、サーバーに接続できるか診断します。	
	いいえ		
レンダラー機能	**入**	[入]を選ぶと、携帯電話やデジタルカメラなどのコントローラーを操作して写真や音楽、映像を本機で再生できます(☞92ページ)。	
	切		

設定したいこと	項目	項目説明	
レンダラーアクセス制御設定	する しない	レンダラーにアクセス可能なコントローラーを設定します。[する]に設定したコントローラーを操作して写真や音楽、映像を本機で再生できます。	
[レンダラーアクセス制御設定]を表示中にオプションボタンを押すと表示されます。	すべて削除	コントローラーをすべて削除します。	
	情報	選んでいるコントローラーの情報を表示します。	
	リストから削除	選んでいるコントローラーを削除します。	
レンダラー詳細設定	自動アクセス許可	ネットワーク上のコントローラーが初めて本機にアクセスしたときに、自動でアクセス許可するかどうかを設定します。	
	スマートセレクト	スマートセレクト機能に対応したコントローラーから、すぐ近くにある本機を発見する機能を使用するかしないかを選びます。	
	レンダラー名	コントローラー側で表示される本機の名前をソフトウェアキーボード(☞48ページ)で設定できます。	
電話回線設定	電話回線の種類	[オート]:回線の種類を自動的に選びます。[オート]でうまく通信できないときは、[トーン]、[10pps]または[20pps]を選んでください。 ADSL回線を使っているときは[オート]を選びます。 [トーン]:プッシュホン回線またはISDN回線を使っているときに選びます。 [10pps]/[20pps]:プッシュホン回線を使っていないときに選びます。プッシュホン回線を使っているか不明のときは、電話会社にお問い合わせください。	
	発信方法	[通常発信]:外線に電話するときに、相手の電話番号にそのままかける場合に選びます。 [0発信]/[9発信]:外線に電話するときに、電話番号の頭に「0」(0発信)または「9」(9発信)を付けるときに選びます。	
	電話線接続確認	電話線が正常に接続されているか確認します。 **ご注意** [電話線接続確認]は、本機と電話回線が物理的に接続されてやりとりできるかをテストします。テストがうまくいってもつながらないときは、[電話回線の種類]で[トーン]や[10pps]、[20pps]を正しく設定し直してください。	
[電話回線設定]を表示中にオプションから[詳細設定]を選ぶと表示されます。	発信先への電話番号通知 デジタル放送の放送局へ登録などができないときは、電話会社に問い合わせて、「回線ごと非通知設定」を解除してください。	通知しない	電話番号の先頭に「184」を付けます。相手先にこちらの電話番号を知らせない設定です。
		通知する	電話番号の先頭に「186」を付けます。相手先にこちらの電話番号を知らせる設定です。
		設定なし	電話番号の先頭に番号を付けません。
	電話会社の番号	必要なときに設定してください。	
	マイラインプラス契約	していない している	マイライン契約をしているかどうかを選びます。 **ご注意** データ放送によっては、マイラインプラスの契約どおりに通信できないことがあります。

次のページにつづく⇨

通信設定(つづき)

設定したいこと	項目	項目説明
データ放送: セキュリティサイト 自動接続	する しない	[しない]を選ぶと、セキュリティサイトに入るときと出るときに確認ダイアログを表示します。
データ放送:証明書のダウンロード確認	する しない	[する]を選ぶと、放送局から新しい証明書が発行されたときに、ダウンロードの確認ダイアログを表示します。 ちょっと一言 • ルートCA証明書はルートCA(認証機関)が発行するデジタル証明書で、放送局が運営するセキュリティサイトとの通信の安全性を示すものです。 セキュリティ情報をやりとりするときに、接続先のセキュリティサイトの証明書が確認され、信頼するかどうかを決定できます。 • サーバー証明書はセキュリティサイトを表示しているときに見ることができます。セキュリティサイトを表示しているときは画面右下にが表示されます。 • セキュリティサイトを表示中でも、証明書取得中はサーバー証明書を表示できないことがあります。
データ放送:証明書のダウンロード	する しない	[する]を選ぶと、放送局から新しい証明書が発行されたときに、自動でダウンロードします。

本体設定

☞操作方法は「本機の設定を変更する」（63ページ）をご覧ください。

設定したいこと	項目	項目説明
ホームメニュー速度設定	標準	お買い上げ時の設定です。
	モード1	↑↓←→で操作したときにゆっくりカーソルが移動します。
	モード2	↑↓←→を押すたびにカーソルが移動します。↑↓←→を押し続けても早くスクロールすることはできません。
高速起動	早朝／朝／昼／夜／深夜	リモコンで電源を入れたときに、本機を早く起動できます。待機時消費電力が増えますのでご注意ください。時間帯は3項目まで設定できます。
消費電力 消費電力量を抑えるように設定できます。	標準	お買い上げ時の設定です。
	減（明）	消費電力を抑えたいときに選びます。
	減（暗）	［減（明）］よりもさらに消費電力を抑えられます。
	減（消画）	ラジオ放送などをお楽しみになるときに、画面を消して音声のみを楽しめます。画面を表示するには、音声切換ボタン、消音ボタン、音量＋／－ボタン以外のボタンを押してください。 ちょっと一言 消画にしたままで電源を切ると、次に電源を入れたときは［消費電力］が［標準］に戻ります。
消費電力レベルバー表示	入 切	［入］を選ぶと、画面表示ボタンを押したときに、消費電力を示すレベルバーが表示されます。［バックライト］、［消費電力］、［明るさセンサー］、［アドバンスト C.E.］の設定に対応して消費電力レベルバー表示が変わります。
明るさセンサー	入 切	［入］を選ぶと、周囲の明るさに合わせて自動で画面の明るさを調整します。［画質モード］と［消費電力］の設定によって、明るさセンサーによる効果が異なったり、効果が出にくいことがあります。
無操作電源オフ	切／ 1時間／ 2時間／ 3時間	選んだ時間中に本機の操作（チャンネル切換や音量調節など）をしなかった場合に、自動で電源を切ります（電源スタンバイ）。［切］を選ぶと、電源は自動で切れません。
PCパワーマネジメント	入 切	［入］を選ぶと、PC入力のときに無信号を検出すると自動で電源が切れます（電源スタンバイ）。信号が入力されると自動で電源が入ります。 （HDMIケーブルでの接続は除く。）
暗証番号設定	［視聴年齢制限設定］を行うために暗証番号を設定します。 すでに暗証番号を設定してあるときは変更できます。設定してある暗証番号を入力してから新しい暗証番号を設定してください。 ちょっと一言 設定した暗証番号は忘れないようにしてください。忘れてしまったときは、［個人情報初期化］を行い、一度消去することで新しく設定し直せます。その場合は、消去される内容（☞108ページ）はすべて消去されるのでご注意ください。	
視聴年齢制限設定	デジタル放送で推奨する視聴年齢がある番組を、暗証番号を入力しなければ視聴／予約できないように設定できます。［暗証番号設定］で暗証番号を入力したあと、年齢を設定します。	

次のページにつづく⇨

本体設定(つづき)

設定したいこと	項目	項目説明
デジタル放送からのダウンロード	オート しない	[オート]を選ぶと、本機内部のソフトウェアを最新の状態に保つために、デジタル放送から自動でダウンロードします(☞109ページ)。
個人情報初期化	消去する 中止する	[消去する]を選ぶと、本機を廃棄したり譲渡したりするときに、個人的な情報を消去できます(☞108ページ)。
カード・受信機情報表示	B-CASカードや本機の情報を表示します。	

かんたん設定

☞操作方法は「本機の設定を変更する」(63ページ)をご覧ください。

設定したいこと	項目	項目説明
かんたん初期設定	地上アナログ、地上・BS・110度CSデジタルの受信設定を、一連の流れでできます(☞17ページ)。	
かんたん機能設定	本機を快適に使用するための基本的な設定を、一連の流れでできます(☞20ページ)。 [高速起動設定]/[画質モード設定]/[選局時表示設定]/[お好みナビ設定]	

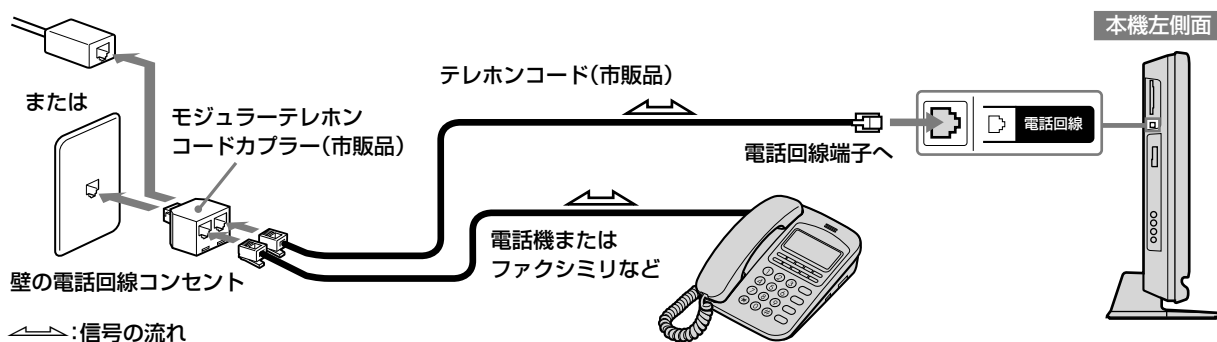
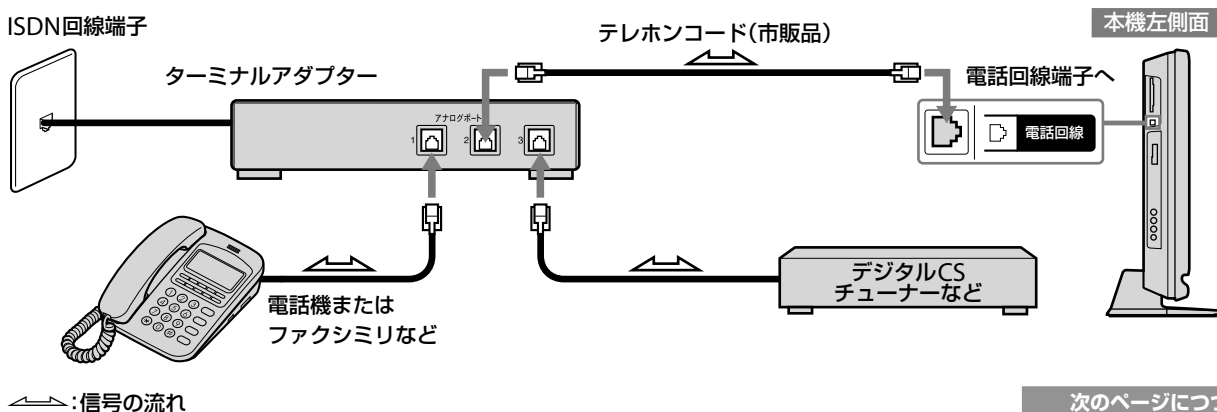
LAN・電話回線をつなぐ

つないでできること

- **電話回線**：ペイパービュー（有料番組）や視聴者参加型番組を楽しめます。
- LAN：パソコンなどのネットワーク機器をつなげば、他機器に保存している写真や音楽、映像を楽しめます（☞91ページ）。プロバイダーと契約すれば、インターネット上のアプリ（☞87ページ）やホームページ（☞89ページ）を楽しめます。

電話回線のみをつなぐ

お住まいの電話回線の状況に合わせてつないでください。壁の電話回線コンセントがモジュラージャック式でないときは、お買い上げ店や専門業者などにお問い合わせください。

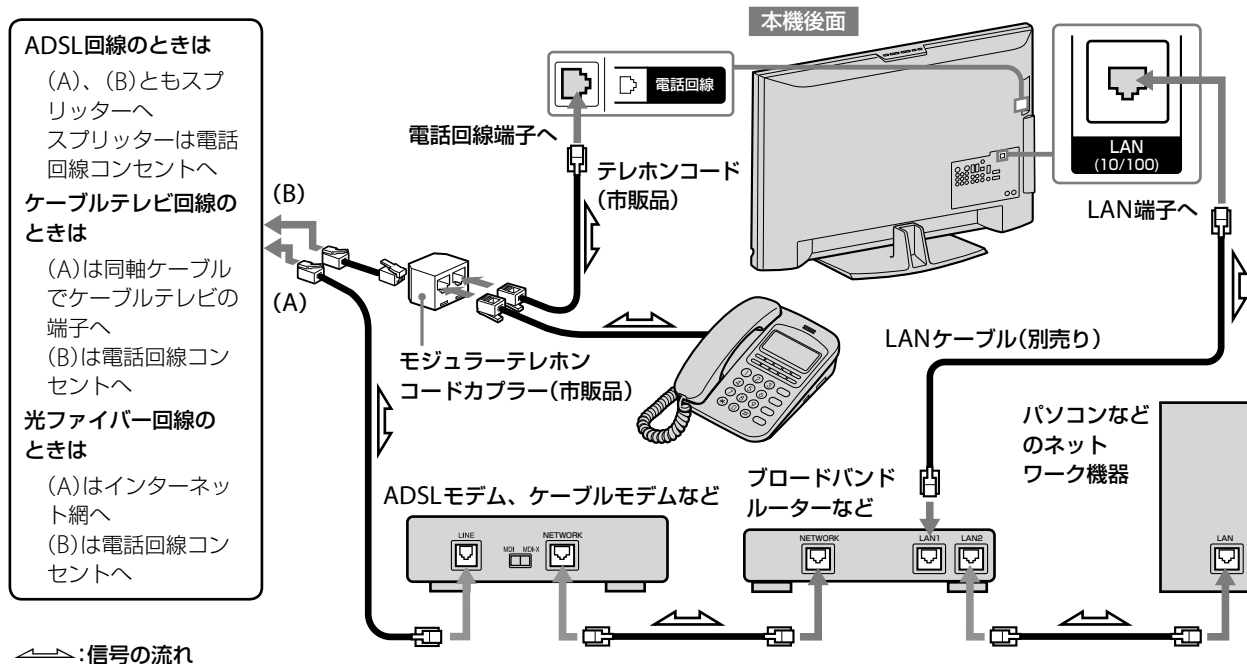
壁の電話回線コンセントから電話を直接つないでいるとき

ISDN回線を使ってつないでいるとき（アナログ接続）

次のページにつづく⇨

ご注意

- 次の電話回線にはつなげません。
  - 公衆電話および共同電話、地域集団電話
  - 携帯電話およびPHS、自動車電話
  - 船舶電話
  - 外線に電話するときに、電話番号の頭に「0」（0発信）または「9」（9発信）以外の数字を付けるとき
  - ビジネスホン
- 電話回線の接続やお使いの環境によっては、操作に対して応答が遅くなることがあります。
- ISDN回線端子にモジュラーテレホンコードカプラーをつながないでください。無理に押し込むと破損することがあります。
- 光ケーブルを利用したIP電話などではご使用できない場合があります。ご利用の回線事業者にお問い合わせください。
- 契約によっては、本機やパソコンなどの端末を複数台接続できないことがあります。ご利用の回線事業者へご確認ください。

LANと電話回線をつなぐ

インターネット回線の状況に合わせてつないでください。別冊の「もっとひろがるネットワークガイド」もあわせてご覧ください。

ADSL ／ケーブルテレビ／光ファイバー回線などでつないでいるとき

LANケーブルをお使いになるときは

- LANケーブルには、ストレートケーブルとクロスケーブルの2種類があります。
  モデムやルーターなどの種類により、使用するケーブルの種類が異なります。詳しくは、モデムやルーターの取扱説明書をご覧ください。
- 100BASE-TX/10BASE-TタイプのLANケーブルをお使いください。
  詳しくは、モデムやルーターの取扱説明書をご覧ください。

ちょっと一言

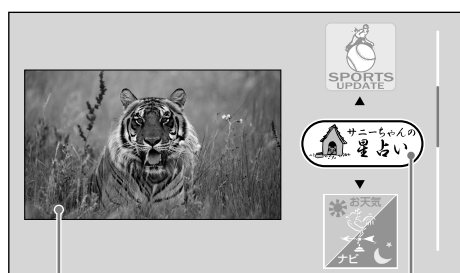
- 本機が放送局と、双方向サービスなどを送受信しているときは、本機前面の消画／通信／タイマーランプが点滅し、電話機やファクシミリなど同一回線上の通信機器は使えません。
  その際、一部の通信機器で呼び出し音が鳴ることがあります。このときは、モジュラーテレホンコードカプラーのかわりに、自動転換器を使ってください。なお、パソコンなどをお使いの場合は、高速データ通信用自動転換器をご使用ください。
- デジタル放送の放送局へ登録などができないときは、電話会社に問い合わせて、「回線ごと非通知設定」を解除してください。
- モデムなどについてご不明な点は、ご利用の回線事業者にお問い合わせください。
- 無線LAN接続をする場合、無線LANコンバーターが必要です。接続について詳しくは、無線LANコンバーターの取扱説明書をご覧ください。

アプリを楽しむ[アプリキャスト]

あらかじめ接続(☞86ページ)と[ネットワーク設定](☞80ページ)をしてください。

放送中の番組とインターネット上のアプリを同時に楽しめます。アプリの一覧からお好みのアプリを選ぶだけで、さまざまな情報を見ることができます。

1 (アプリキャスト)を押す。

2 ↑↓で使いたいアプリを選んで、決定を押す。

放送中の番組やビデオなどの映像　選んでいるアプリ

3 ↑↓←→や決定などを使って、画面に従って操作する。

アプリの一覧から他のアプリを選ぶ

ホームメニューからお好みのアプリを選べます。

1 ホームを押す。

2 ←→で(ネットワーク)を選ぶ。

3 ↑↓で使いたいアプリまたはフォルダを選んで、決定を押す。

フォルダを選んだときは、次に、使いたいアプリを選んで、決定を押してください。
左記の手順2の画面が表示されます。

4 ↑↓で使いたいアプリを選んで、決定を押す。

5 ↑↓←→や決定などを使って、画面に従って操作する。

マークの意味

- NEW :追加になったアプリ
- 更新 :内容が更新になったアプリ
- 中断 :一時的に利用不可のアプリ
- 終了 :サービスが終了になったアプリ
- 登録済 :登録したアプリ(☞88ページ)

次のページにつづく⇨

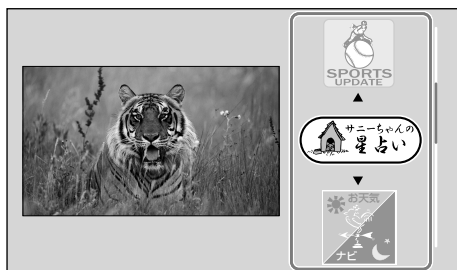
ご注意

- すべてのアプリの登録を解除したときは、アプリキャストを起動できません。アプリの一覧からアプリを選んでください。
- 左画面にPC入力やネットワーク機器、インターネットブラウザの画面は表示できません。
- 字幕や文字スーパーは表示できません。
- ラジオ放送は音声のみ出力され、データ放送は表示できません。
- アプリを楽しむには、インターネットサービスを提供するプロバイダーとの契約が別途必要になります。
- インターネットに接続するときに、よりよいサービスの提供のため、本機からMACアドレスやIPアドレスをサーバーへ自動的に送信します。インターネット接続が完了している場合は、電源を入れたときやアプリの利用時に、定期的にソニーが管理しているサーバーに送信されます。MACアドレスがソニーの管理しているサーバー以外に送信されることはありません。

ちょっと一言

- ホームメニューで(ネットワーク)→START(アプリキャストのはじめかた)を選ぶと、アプリキャストの紹介が表示されます。
- PC入力中にアプリキャストを起動すると、左画面は、前回視聴していた放送になります。
- 放送中の番組やビデオなどの映像は切り換えられます。
- お買い上げ後、初回のインターネット接続時に、いくつかのアプリが自動的に登録されます。
- アプリキャストは、放送中の番組やビデオなどを視聴中にオプションから[アプリキャスト]を選んでも起動できます(☞36、50ページ)。
- ホームメニューの追加情報を消したいときは、オプションの[追加情報表示]を[切]にしてください(☞88ページ)。

アプリを登録する

アプリキャストにアプリを登録すると、アプリキャストボタンを押すだけで2画面に切り換わり、アプリを探す手間が省けます。
登録したアプリはすべて右画面に表示されます。

登録したアプリ

アプリを登録するには

アプリキャストには、最大30個までアプリを登録できます。

1 ホームを押す。

2 ←→で(ネットワーク)を選ぶ。

3 ↑↓で登録したいアプリを選んで、オプション(オプション)を押す。

フォルダを選んだときは、次に、登録したいアプリを選んで、オプションボタンを押してください。

4 ↑↓で[登録]を選んで、決定を押す。

オプションでできること…

●ホームメニューでアプリ選択中／2画面表示中

項目	できること
追加情報表示*1	ホームメニューの右下に表示されるアプリの追加情報を、表示するかどうかを設定します。
アプリ全件解除	アプリキャストからすべてのアプリの登録を解除します。
1画面表示*2	1画面に切り換え、左画面を大きく表示します。
オートスクロール*2	何も操作をしないで設定した時間が経過すると、自動でアプリをスクロールします。 オートスクロールをやめるには[切]を選んでください。
アプリ選択*1	2画面に切り換え、選んだアプリを右画面に表示します。
アプリ設定*2	アプリに設定ができるときは、設定画面を表示します。例えば、天気のアプリでお住まいの地域を最初に表示する設定など、アプリによって設定は異なります。
登録／登録解除	アプリをアプリキャストに登録または登録を解除します。
アプリ説明*1	アプリの概要や提供者に関する情報を表示します。
コピーを登録*2	同じアプリをもう1つ登録します。増えたアプリにコピー元の設定は引き継がれません。
視聴中通知*2	アプリが対応しているときは、2画面を解除しても、アプリからのお知らせを受け取れるようにします。アプリからのお知らせがあるときは、画面右下にアイコンが表示されます。
並び換え*2	アプリを並べ換えられます。
お問い合わせ*2	アプリのお問い合わせ先を表示します。

*1 ホームメニューでアプリ選択中のみ。
*2 2画面表示中のみ。

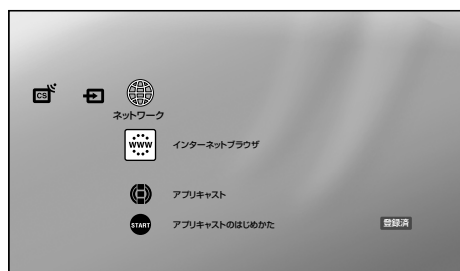
ネットワークで楽しむ

ホームページを見る

あらかじめ接続(☞86ページ)と[ネットワーク設定](☞80ページ)をしてください。

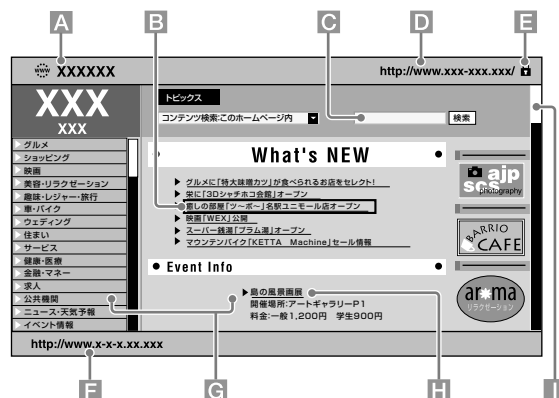
本機からインターネットにつないで、テレビ用に作られたホームページを閲覧できます。

1 ホーム を押す。

2 ←→で(ネットワーク)を選ぶ。

3 ↑↓で(インターネットブラウザ)を選んで、決定を押す。

インターネットに接続します。

インターネットブラウザを終了するには、ホームボタンを押してください。

インターネットブラウザ画面について

A ホームページタイトル

B カーソル

↑↓←→で移動します。見たい部分にカーソルを合わせて決定を押すと、関連付けられたホームページを表示します。

C 文字入力欄

文字を入力できます。カーソルを合わせて決定を押すと、ソフトウェアキーボードを表示します(☞48ページ)。複数行入力できるマルチラインテキストエリアのときは、オプションから[入力]を選んでください。

D URL

現在表示しているホームページの住所(アドレス)にあたるものです。

E 鍵マーク

通信内容を保護し安全にやりとりできるホームページであることを示すマークを表示します。

F リンク先のURL

カーソルを合わせているリンク先のURLを表示します。

G フレーム

複数に分割されているホームページの枠です。フレームで分かれたホームページでは、まず、↑↓←→でそのうちの1つを選び、決定を押してください。選んだフレーム内でカーソルが動かせるようになります。戻るボタンを押すと、別のフレームを選べるようになります。

H リンク

↑↓←→でカーソルを合わせて決定を押すと、関連付けられたホームページを表示します。

I スクロールバー

ホームページ上での現在表示位置を示します。

次のページにつづく⇨

ご注意

- ホームページを見るには、インターネットサービスを提供するプロバイダーとの契約が別途必要になります。
- インターネットサービスの種類によっては、本機が対応していない機能を使用しているものがあります。そのため正しく表示されなかったり、動作しなかったりする場合があります。また、今後新たに開発される技術には対応できない場合もあります。

ちょっと一言

データ放送視聴中に、表示されているリンク先を↑↓←→で選んで、決定を押すと、インターネットブラウザが起動して、リンク先のホームページを見ることができます。

ホームページを見る(つづき)

オプションでできること…

● ホームページ表示中

項目	できること
ブラウザ設定	ブラウザ設定画面を表示します。 **文字サイズ**:文字の表示サイズを変更します。 **JavaScriptの設定**:JavaScriptの使用の有効/無効を設定します。 **Cookieの設定**:Cookieの使用の有効/無効を設定します。 **Cookieの全削除**:Cookieをすべて削除します。 **スタートページに設定**:表示しているホームページをスタートページに設定します。 スタートページは、一度本機の電源を切ったあとでインターネットブラウザ画面を表示したときに表示されます。本機の電源を切らずに再びインターネットブラウザ画面を表示したときは、最後に見ていたホームページが表示されます。 **SSLの警告表示**:セキュリティで保護されたページに接続するときの確認表示の入/切を設定します。 **画質設定**:画質を調整します。 **音質設定**:音質を調整します。
ウィンドウ一覧	現在開いているホームページを一覧表示します。
お気に入り一覧	登録した「お気に入り」を一覧表示します。
前のページ	以前に表示していたホームページに戻ります。
次のページ	前のページを見たあとに、元のページに再び進みます。
読込み中止	読込みを中止します。
再読込み	表示中のホームページを更新します。
URL入力	直接URLを入力するためにソフトウェアキーボードを表示します(☞48ページ)。
お気に入りに追加	表示中のホームページを「お気に入り」に登録します。
リンクを新しいウィンドウで開く	リンク先のホームページを新しいウィンドウで開きます。
文字エンコード指定	表示言語の文字コードを設定します。本機は文字の自動判別機能を備えていますが、ホームページが正しく表示されないときに設定します。
情報	表示中のホームページのタイトルやURL、サーバー証明書の情報を表示します。

● ウィンドウ一覧画面表示中

項目	できること
ウィンドウを閉じる	複数のウィンドウを開いているとき、選んだウィンドウを閉じます。
選択	選んだウィンドウを表示します。
情報	選んだウィンドウのタイトルやURL、サーバー証明書の情報を表示します。

● 複数行入力できる文字入力欄選択中

項目	できること
左削除	文字入力中に、カーソルの左側の文字を削除します。
入力	ソフトウェアキーボードを表示します(☞48ページ)。
改行	改行します。

● お気に入り一覧画面表示中

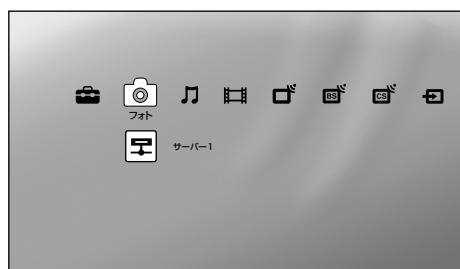
項目	できること
最近使った順に並べる	最近閲覧した順に並べ換えます。
タイトル順に並べる	タイトル順に並べ換えます。
登録順に並べる	新しく登録した順に並べ換えます。
選択	選んだ「お気に入り」を表示します。
お気に入りの削除	選んだ「お気に入り」を削除します。
タイトルの編集	選んだ「お気に入り」のタイトルを編集できます。ソフトウェアキーボードを表示します(☞48ページ)。
情報	タイトル、URL、登録日時、最後に閲覧した日時を表示します。

パソコン(PC)などに保存した写真や音楽、映像をテレビで楽しむ

あらかじめ接続(☞86ページ)と[ネットワーク設定](☞80ページ)、[接続サーバー設定](☞80ページ)をしてください。
「ネットワーク機器について」(☞116ページ)もご覧ください。

本機につないだネットワーク機器の静止画ファイル(写真)や音楽ファイル、映像ファイルを本機で再生できます。ネットワーク機器は、DLNAガイドラインまたはソニールームリンクに対応している必要があります。
ネットワーク機器の情報を以下のホームページで確認できます。
http://www.sony.jp/event/DLNA/
ネットワーク機器の設定を変更した場合は、テレビ本体の電源スイッチで主電源を入れ直してください。

1 ホームを押す。

2 ←→で(フォト)または(ミュージック)、(ビデオ)を選ぶ。

3 ↑↓で再生したいファイルが保存されている機器を選んで、決定を押す。

ファイルまたはフォルダのリストが表示されます。

サムネイル一覧を表示するには

リスト表示中に、黄を押す。
リスト表示に戻すには、もう一度黄ボタンを押してください。

4 ↑↓で再生したいファイルまたはフォルダを選んで、決定を押す。

フォルダを選んだときは、次に、再生したいファイルを選んで、決定を押してください。再生が始まります。

(フォト)再生中に本機のリモコンで操作するには

リモコンボタン	機能
決定	一時停止/再生
戻る	再生停止(ファイル/フォルダの選択画面へ)
↑←	前のファイルへ
↓→	次のファイルへ

(ミュージック)再生中に本機のリモコンで操作するには

リモコンボタン	機能
決定	一時停止/再生
戻る	再生停止(ファイル/フォルダの選択画面へ)
←→を押したままにする	飛び先指定
↑	頭出し再生*
↓	次のファイルへ

* ファイル冒頭から3秒以内のときは、前のファイルを頭出し再生します。

次のページにつづく⇨

ご注意

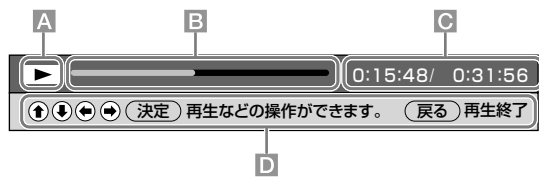
- ネットワーク機器によっては、ネットワーク機器側で登録が必要な場合があります。詳しくは、ネットワーク機器の取扱説明書をご覧ください。
- (フォト)では、ファイルによっては拡大して表示されるため、画質が粗くなります。また、サイズや横縦比によっては、画面いっぱいに表示されません。
- (フォト)では、静止画の表示に時間がかかるものがあります。

パソコン(PC)などに保存した写真や音楽、映像をテレビで楽しむ(つづき)

(ビデオ)再生中に本機のリモコンで操作するには

リモコンボタン	機能
決定	一時停止/再生
戻る	再生停止(ファイル/フォルダの選択画面へ)
←→	早戻し/早送り
←→を2回または3回押す	高速戻し/高速送り
←→を押したままにする	飛び先指定
↑	約30秒先へ
↓	15秒前へ

情報パネルについて

情報パネルで再生の状態や再生時間などを確認できます。情報パネルは、画面表示ボタンで表示したり、閉じたりします*。

A 再生状態

B 再生位置
総時間を認識できないファイルの場合は表示されません。

C 再生時間/総時間
(ミュージック)や(ビデオ)でファイル再生中に→(早送り)、←(早戻し)を押したままにすると、飛び先を表示します。

D 操作ガイド表示欄
再生中に使えるリモコンボタンをガイド表示します。操作ガイドは約5秒で消えます。

* (フォト)で静止画表示中は情報パネルは表示されません。

あらかじめ[通信設定]の[レンダラー機能]、[レンダラーアクセス制御設定]、[レンダラー詳細設定](☞80、81ページ)をしてください。

デジタルカメラなどの画像をテレビで楽しむ[レンダラー]

レンダラーとは、対応機器の操作により、デジタルカメラや携帯電話の写真や音楽ファイル、映像ファイルを、ネットワークを通して本機で再生する機能です。レンダラーを楽しむためには、デジタルカメラや携帯電話などのレンダラー対応機器がコントローラーとして必要です。
コントローラーの取扱説明書もあわせてご覧ください。

コントローラーで選んだファイルを、本機で再生する。
つないだネットワークを通して本機でファイルを再生します。

ファイル再生中の操作は、本機のリモコンまたはコントローラーで行います。

オプションでできること…

オプションボタンを押したときに表示される項目は、視聴や使用状況に合わせてそのときに操作できるものが表示されます。

● (フォト)選択中

項目	できること
画質	画質を調整できます(☞66ページ)。
音質	音質を調整できます(☞69ページ)。
画像表示範囲	全画面で表示するかどうかを設定します。
再生方法	リピート/シャッフル/再生対象のフォト再生設定ができます。
フォト再生設定	再生のしかたやスライドショー実行中の効果などを設定します。
並び換え	フォルダやファイルを並べ換えます。
サムネイル一覧/リスト表示	サムネイル一覧またはリスト表示を切り換えます。
再生	ファイルを再生します。
スライドショー	ファイルを連続再生します。 スライドショーでお好みの曲をBGMとして流すには、あらかじめ(ミュージック)でBGMを登録してください。
回転	静止画を左右に90度または180度回転します。
スピーカー出力	本機またはオーディオ機器のスピーカーから音声を出します。
ヘッドホン音量	ヘッドホンの音量を調節できます。
情報	機器やフォルダ、ファイルの情報を表示します。ファイル形式に「*」が付いているファイルは、他のネットワーク機器で再生できない場合があります。

● (ミュージック)選択中

項目	できること
音質	音質を調整できます(☞69ページ)。
フォト再生時BGM解除	登録したBGMを解除します。
再生方法	リピート/シャッフル/再生対象のミュージック再生設定ができます。
並び換え	フォルダやファイルを並べ換えます。
サムネイル一覧/リスト表示	サムネイル一覧またはリスト表示を切り換えます。
再生	前回停止した位置、または先頭からファイルを再生します。
フォト再生時BGM登録	(フォト)でスライドショー実行中に流すBGMを登録します。
スピーカー出力	本機またはオーディオ機器のスピーカーから音声を出します。
ヘッドホン音量	ヘッドホンの音量を調節できます。
情報	機器やフォルダ、ファイルの情報を表示します。ファイル形式に「*」が付いているファイルは、他のネットワーク機器で再生できない場合があります。

次のページにつづく⇨

パソコン(PC)などに保存した写真や音楽、映像をテレビで楽しむ(つづき)

● (ビデオ)選択中

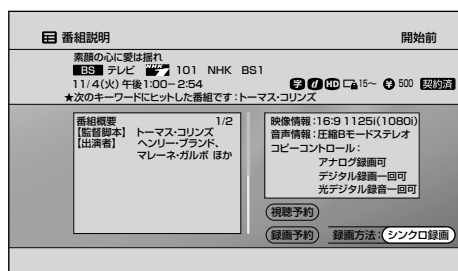
項目	できること
画質	画質を調整できます(☞66ページ)。
音質	音質を調整できます(☞69ページ)。
再生方法	リピート／シャッフル／再生対象のビデオ再生設定ができます。
並び換え	フォルダやファイルを並べ換えます。
サムネイル一覧／リスト表示	サムネイル一覧またはリスト表示を切り換えます。
再生	前回停止した位置、または先頭からファイルを再生します。
頭出し再生	冒頭からファイルを再生します。
次チャプター再生	次のチャプターに飛びます。
前チャプター再生	チャプターの先頭または前のチャプター(チャプターの先頭から3秒以内のとき)に戻ります。
番組説明	再生している番組の説明を表示します。
スピーカー出力	本機またはオーディオ機器のスピーカーから音声を出します。
ヘッドホン音量	ヘッドホンの音量を調節できます。
画面モード	画面モードを切り換えます(☞71ページ)。
情報	機器やフォルダ、ファイルの情報を表示します。ファイル形式に「*」が付いているファイルは、他のネットワーク機器で再生できない場合があります。

ネットワークを通して録画予約する

あらかじめ接続(☞86ページ)と[ネットワーク設定](☞80ページ)、[接続サーバー設定](☞80ページ)をしてください。
「ネットワーク機器について」(☞116ページ)もご覧ください。

本機と離れたところに設置しているネットワーク録画に対応した録画機器(2007年9月以降発売)に、本機から録画予約の情報を送れます。

1 「番組表から録画予約する」(☞58ページ)の手順1～6を行う。

2 ↑↓←→で[録画方法]を選んで、(決定)を押す。

3 ↑↓で[ネットワーク]を選んで、(決定)を押す。
ネットワーク録画に対応した録画機器が見つからないときは、[ネットワーク]は選べません。

4 ↑↓←→で[録画予約]を選んで、(決定)を押す。

5 ↑で設定欄を選んで、(決定)を押す。

設定欄

6 録画機器を選んで、(決定)を押す。

ネットワーク録画に対応した録画機器が複数あるときは、↑↓で録画する機器を選びます。

7 ↑↓で[予約確定]を選んで、(決定)を押す。
録画機器の電源が入り、予約情報が送信されます。予約した時間になると録画機器のデジタルチューナーを使って録画開始します。

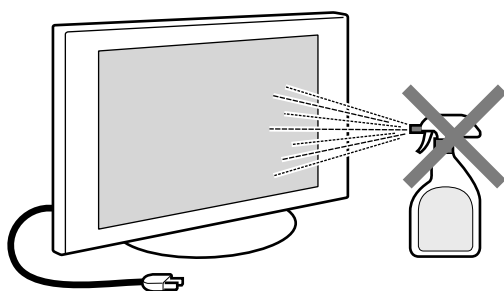
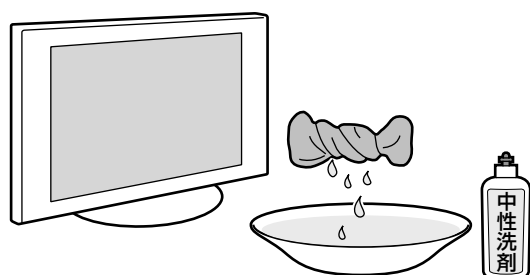
予約の修正や削除をする場合には、録画機器で操作してください。

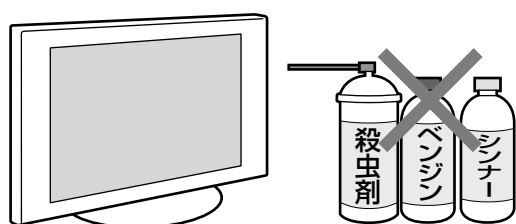
ご注意

- 放送時間が変更になった場合などは、変更に合わせた録画予約はできません。
- 予約情報が録画機器に送信されたあとは、本機とは関係なくすべて録画機器側の動作となります。また、本機の予約リストや録画予約結果リストには表示されません。
- 契約が必要なチャンネルの番組を録画予約するときは、録画機器に契約済みのB-CASカードを入れてください。

長くお使いいただくためのお手入れ方法

液晶画面には、反射による映り込みを抑えたり、映像を見やすくしたりするために、特殊な表面処理を施しています。
誤ったお手入れをした場合、テレビを傷つける原因にもなりますので、次のことを必ずお守りください。

液晶画面、外装のお手入れ

- お手入れをする前に、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 液晶の画面は特殊加工がされているので、なるべく画面に触れないようにしてください。
- 本機に直接洗剤をかけないでください。吹きかけた洗剤が画面下部や、外装部にたれて本機が故障する場合があります。

固く絞る。
中性洗剤を水で薄める。

- 画面や外装の汚れをふき取るときは、めがね拭きなどの乾いた柔らかい布でそっとふき取ってください。
- 万一、油性マジックなどが付着してしまった場合は、水で薄めた中性洗剤などに布を浸して固く絞ってふき取り、最後に乾いた布で軽くふいてください(強くこすると、液晶表面に傷がつきます)。
- クレンザーのような研磨剤が入った洗剤は使わないでください。
- ふき取るときの圧力で、液晶配列が崩れて、汚れのように見えることがあります。これは、電源を入れ直すと元に戻ります。

揮発性のもの(殺虫剤、シンナー、ベンジンなど)は使用しないでください。

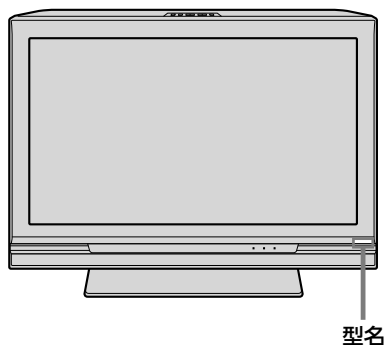
- 殺虫剤のような揮発性のものをかけたり、シンナーやベンジンなどは使ったりしないでください。変質したり、塗装がはげたりすることがあります。
- ゴムやビニール製品に長時間接触させると、変質したり、塗装がはげたりすることがあります。
- 市販の化学ぞうきんやクリーニングクロスなどを使うときは、その販売会社に確認してください。
- 市販の液晶パネル用保護フィルターなどは使わないでください。

修理に出す前に

修理に出す前に、もう一度、点検をしてください。それでも、正常に動作しないときは、裏表紙にあるソニーご相談窓口へお問い合わせください。お問い合わせになるときは次のことをお知らせください。

液晶デジタルテレビ

ケーディーエル ジェイ
KDL-20J1
ケーディーエル ジェイ
KDL-26J1

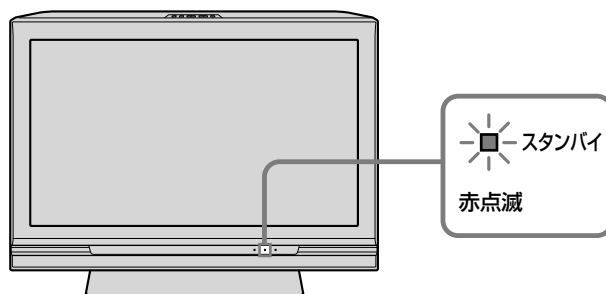
画面サイズ(番号)がどれかわからないときは、保証書や本機前面右下に記載されている型名をお知らせください。

リモコンの型名：

アールエム ジェイディー
RM-JD016

故障の状況：できるだけくわしく

購入年月日：

自己診断表示ー画面が消え、スタンバイランプが点滅したら

本機には自己診断表示機能がついています。これは本機に異常が起きたときに、本機前面のスタンバイランプの点滅およびその速さで本機の状態をお知らせし、よりスムーズにサービス対応させていただくための機能です。本機前面のスタンバイランプが赤く点滅したら、下の手順に従って、裏表紙にあるソニーご相談窓口へお問い合わせください。お問い合わせの内容によっては、修理が必要な場合があります。

1 本機前面のスタンバイランプの点滅回数を数えてください。

2 テレビ本体の電源スイッチで主電源を切り、電源コンセントを抜いてから、ソニーご相談窓口に点滅回数をお知らせください。

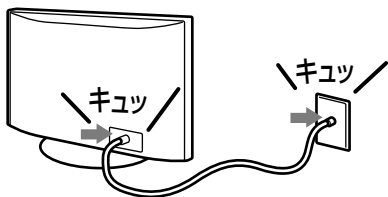
本機の設置場所を変えたときは

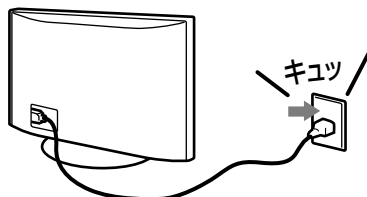
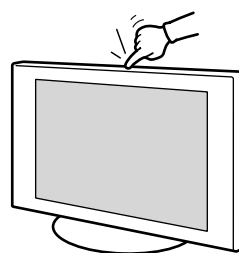
お引越しや模様替えなどで、アンテナをつなぎ換えたときは、もう一度、本機でかんたん初期設定をしてからお使いください(☞「かんたん初期設定をあとでやり直すには」18ページ)。

故障かな？と思ったら

インターネットのホームページでもよくあるお問い合わせ「Q&A」を紹介しています。
http://www.sony.co.jp/faq/bravia/

まず確認してください

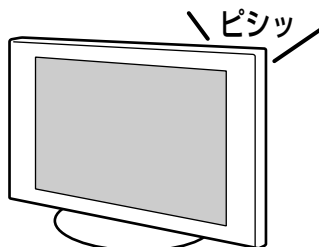
アンテナ線をしっかりつなぐ。

付属のVHF/UHF用
アンテナ接続ケーブルを使う。

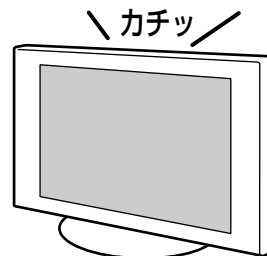
電源コードをしっかりつなぐ。

本体の電源スイッチを入れる。

こんな場合は故障ではありません

画面に光る点、または光らない点がある。

輝点・滅点

液晶テレビの映像は微細な画素の集合です。
画面の一部に画素欠けや輝点が存在する場合があります。

「ピシッ」というきしみ音が出る。

電源を入れているかどうかに関わらず、周囲との温度差でキャビネットが伸縮し、「ピシッ」という音が出ることがあります。

電源を入れたときや電源スタンバイ時に「カチッ」と音がする。

電源を入れたときは、内部の回路が働くため音がします。
また電源スタンバイ時は、デジタル放送からのデータを取得するため、本機の電源が自動的に入り、音がします。

映像

全般

症状	対処のしかた	参照ページ
本機の**電源が突然切れた**／いつのまにか消えていた。	• ［無操作電源オフ］を設定していると自動的に電源が切れます。	83
	• 無信号状態が続くと「オートシャットオフ」により電源が自動的に切れます。	114
	• ［オンタイマー］を利用して電源を入れた場合、設定した視聴時間を経過すると、電源が切れます。	65
色がつかない、色がおかしい、画面が暗い。	• (画質・映像設定)をお好みに合わせて調整してください。	66
	• ［消費電力］を確認してください。［減(明)］または［減(暗)］に設定されていると画面が暗くなります。	83
音声は出るが**画像が出ない。**	• ［消費電力］を確認してください。［減(消画)］に設定されていると画像は出ません。このときは本機前面の消画／通信／タイマーランプが緑色に点灯します。	83
画像が**乱れる。**	• 本機の近くで携帯電話や電子レンジ、掃除機などを使用すると、映像や音声が一時的に乱れることがあります。	
画面サイズが勝手に切り換わる。映像が上下に動く。	• ［オートワイド］が［入］に設定されていると映像に適した画面サイズを自動的に判断します(お買い上げ時は［入］に設定されています)。気になるときは［オートワイド］を［切］にしてください。	71
チャンネルが映らない。	• チャンネルを再度設定してください。	74、75
チャンネル＋／－ボタンで選局できない。	• チャンネル登録で、チャンネル＋／－ボタンで選局できるチャンネルを設定してください。	74、75、76
視聴予約した番組に切り換わらない。	• 同じ時刻に録画予約が設定されていると、視聴予約は実行されません。	58

地上アナログ

症状	対処のしかた	参照ページ
画像が**二重、三重**になる。	• アンテナレベルを確認しながら地上波アンテナの位置、方向、角度を調整してください。強風などでアンテナの向きが変わっていないか確認してください。	73
雪が降るような画面、**うすい**画面、風がふくと**ちらつく。**	• アンテナが壊れたり曲がったりしていないか確認してください。	
	• アンテナレベルを確認しながら地上波アンテナの位置、方向、角度を調整してください。強風などでアンテナの向きが変わっていないか確認してください。	73
斑点や**点模様**が走る。	• アンテナ線は電源コードからできるだけ離してください。	
	• フィーダー線や室内アンテナは特に電波妨害を受けやすいため、お買い上げ店などにお問い合わせください。	
	• アンテナはなるべく道路から離して設置してください。ヘアードライヤー、自動車、バイクなどからの雑音電波の干渉を受けている可能性があります。	

次のページにつづく⇨

地上デジタル

症状	対処のしかた	参照ページ
地上デジタルが**受信できない**／地上デジタルの**画像が乱れる。**	• お住まいの地域で地上デジタルが放送開始されているか確認してください。	
	• 地上デジタルに対応したアンテナにつないでください。	
	• アンテナレベルを確認しながら地上波アンテナの位置、方向、角度を調整してください。強風などでアンテナの向きが変わっていないか確認してください。	73
	• ブースターのレベルを下げてみてください。信号を増幅しすぎると受信できないことがあります。	
	• アンテナを直接つないでいるか、ケーブルテレビ（CATV）を受信しているかを確認してください。ケーブルテレビ放送会社によって、再送信の方式が異なります（本機が対応しているのはパススルー方式のみです）。	110
	• 有料放送を見るには視聴契約してください。	112
	• お住まいの地域によって放送が異なります。必ず、チャンネルスキャンの前に[デジタル共通：地域設定（県域）]を設定してください。	74
	• [地上デジタル：自動チャンネル設定]で[初期スキャン]または[再スキャン]してください。	74

BS/110度CSデジタル

症状	対処のしかた	参照ページ
BSデジタル・110度CSデジタルが**受信できない。**	• BS・110度CSデジタルに対応したアンテナおよび同軸ケーブルにつないでください。	12
	• アンテナや分配器、ブースターなどがBS・110度CSデジタルに対応していないと受信できません。詳しくは、お買い上げ店か、マンション管理会社にお問い合わせください。	
	• BSアナログチューナー内蔵の録画機器からアンテナ接続ケーブルをつなぐと受信できません。分配器を使って本機とBSアナログチューナー内蔵録画機器にそれぞれつないでください。	14
	• 衛星アンテナの前方に障害物がないか確認してください。	
	• [BS/CS：衛星アンテナ設定]を[オート]または[入]に設定してください。マンションなどの共同受信システムの場合は[切]に設定してください。	73
	• 衛星アンテナレベルを確認しながら衛星アンテナの位置、方向、角度を調整してください。強風などでアンテナの向きが変わっていないか確認してください。	73
	• 有料BSデジタルや110度CSデジタルの受信契約（加入申し込み）をしてください。	112
BSデジタル・110度CSデジタルの**画像が乱れる。**	• 雨や雪が降ると映りが悪くなることがあります。また、お住まいの地域が晴れていても、送信する放送衛星会社の地域で雨や雪が降っていると映りが悪くなることがあります。天候の回復をお待ちください。	
	• 降雨対応放送の場合は、画質や音質が通常放送に比べ低下した状態で受信します。	111

接続機器

症状	対処のしかた	参照ページ
つないだ機器の**画像が出ない。**	• つないだ機器の電源が入っているか確認してください。	
	• 接続ケーブルの端子が正しく、しっかり差し込まれているか確認してください。	22、25
	• 本体またはリモコンの入力切換ボタンを押して、入力を切り換えてください。	50
ホームメニューで、つないだ機器が選べない、入力を切り換えられない。	• 接続ケーブルの端子が正しく、しっかり差し込まれているか確認してください。	22、25
	• [オートインプットスキップ設定]の[スキップ設定]を[表示する]に設定してください。	51

音声

症状	対処のしかた	参照ページ
画像は出るが、**音が出ない。**	• 音量が下がりきっていないか確認してください。	
	• 画面に「消音」の表示が出ているときは、リモコンの消音ボタンまたは音量＋ボタンを押して表示を消してください。	126
	• [スピーカー出力]を[テレビスピーカー]にしてください。[AVアンプ]に設定されていると、本機からは音は出ません。	70
	• ヘッドホンを抜いてください。ヘッドホンと本機のスピーカーの両方から音声を出したいときは、[ヘッドホン使用時設定]を[スピーカー･ヘッドホン併用]にしてください。	70
聞きたい音声になっていない。	• 二か国語放送などで、副音声や第2音声になっている場合は、音声切換ボタンを押して、音声を切り換えてください。	127
音声が出ない／音声が**おかしい。**	• [サラウンド]を[切]に設定してください。番組によっては、[S-FORCE Front Surround]にしていると音が聞こえにくかったり、聞こえなくなることがあります。	69
	• HDMI入力端子およびコンポーネント入力端子につないだ機器を再生しているときは、デジタル放送／ビデオ出力端子から音声は出力されません。また、HDMI入力端子につないだ機器を再生しているとき、光デジタル音声出力端子から音声は出力されますが、録音はできません。	

次のページにつづく⇨

録画

症状	対処のしかた	参照ページ
録画予約した番組が録画されない。	• （録画予約結果リスト）で、録画されなかった理由を確認してください。	60
	• 録画予約後に電源を切る場合は、リモコンの電源スイッチを押して本機を電源スタンバイ状態にしてください。	57
	• 録画機器の入力切換が正しいか確認してください。	
	• 地上アナログは録画予約できません。お使いの録画機器の予約機能を使って録画してください。	
	• 番組の変更に合わせて録画するには、［流動編成·イベントリレー対応設定］を［する］に設定してください。録画予約した番組の開始時刻が変わったとき［しない］に設定されていると、正しく録画されません。	78
見ている映像が録画されない。	• 次の映像や音声は、デジタル放送／ビデオ出力端子からは出力されません。 － コンポーネント入力端子につないだ機器からの映像·音声信号 － HDMI入力端子につないだ機器からの映像·音声信号 － PC入力端子につないだ機器からの映像·音声信号 － 字幕放送の字幕 － デジタル放送のラジオやデータの画像（音声は出力され記録できます） S2映像出力端子からは、デジタル放送の映像とビデオ入力のS2映像入力端子につないだ機器の映像のみが出力されます。	
録画した番組の**映像が映らない／乱れる。**	• （録画予約結果リスト）で、録画時の状況を確認してください。	60
AVマウスを使って録画予約した番組が録画されない。	• AVマウスの取り付け位置が正しいか確認してください。	21
	• 録画予約する場合は、録画機器の電源を「切」にしてください。	
	• リモコンコードが正しく設定できているか確認し、AVマウスを動作テストしてください。お使いの録画機器によってはリモコンコードを設定できないことがあります。	78
	• 次の機器ではAVマウスは使えません。シンクロ録画に対応している機器はシンクロ録画してください。シンクロ録画に対応していない機器は録画機器の予約機能を使って録画してください。 － ビデオ一体型テレビ（テレビデオやビデオコンボなど） － AVマウスのリモコンコードで録画機器が操作できないとき（メーカーによっては、本機で操作できないリモコン信号が採用されているため）	

ネットワーク

DLNA（ホームネットワーク）

症状	対処のしかた	参照ページ
写真や音楽、映像ファイルが出ない／アイコンが表示されない。	● つないだ機器がDLNAまたはソニールームリンクに対応しているか確認してください。	116
	● つないだ機器が［接続サーバー設定］または［レンダラーアクセス制御設定］で登録されているか確認してください。	80、81
	● LANケーブルやネットワーク機器の電源コードがはずれていないか確認してください。	
	● ネットワーク機器が正しく設定されているか確認してください。	
	● 選んだ機器がネットワークにつながれてアクセスできる状態か確認してください。	
	●（通信設定）で［IPアドレス取得方法］を［DHCPを利用（DNS自動）］または［DHCPを利用（DNS手動）］に設定している場合、DHCPサーバーが存在しないと機器の認識に時間がかかる場合があります。［接続診断］をしてください。	80
	● すべてのネットワーク機器に対して動作保証するものではありません。また、ネットワーク機器の機能やコンテンツによって動作が異なります。	

インターネット／アプリキャスト

症状	対処のしかた	参照ページ
ホームページ／アプリがまったく表示されない。	● LANケーブルやネットワーク機器の電源コードがはずれていないか確認してください。	
	●［ネットワーク設定］または［現在時刻設定］が正しく設定されているか確認してください。	65、80
アプリの動きがおかしい。	● アプリキャストで2画面表示中にリモコンのオプションボタンを押して「お問い合わせ」画面を表示し、お問い合わせください。	88
ホームページが正しく表示されない。	● ホームページの内容によっては、文字や画像、レイアウトが正しく表示されない場合があります。文字が正しく表示されない場合は、正しい文字コードを設定してください。	90
特定のホームページだけが表示されない。	● URLが正しく入力されているか確認してください。	89
	● しばらくたってからもう一度、ホームページを読み込んでください。インターネットの回線が混んでいる、または障害が発生して表示できない場合があります。	
ホームメニューで、突然画面の右下に情報が表示される。	● 本機をネットワークに接続している場合、ホームメニューに追加情報が表示されることがあります。表示を消すには、追加情報が表示されている状態で、オプションの［追加情報表示］を［切］にしてください。	88

次のページにつづく⇨

その他

ランプの点滅

症状	対処のしかた	参照ページ
電源／録画予約／録画ランプが緑色に点滅する。	• 衛星アンテナがショートしています。「エラーメッセージ一覧」をご覧になり対処してください。	106
消画／通信／タイマーランプがオレンジ色に点滅する。	• 本機が自動的にソフトウェアの書き換えをしています。異常ではありません。	108、109
スタンバイランプが赤色に点滅する。	• 本機に何らかの異常が起きています。点滅回数をご確認のうえ、ソニーご相談窓口にお問い合わせください。	97

リモコン

症状	対処のしかた	参照ページ
リモコンで**本機を操作できない。**	• 電池を交換してください。	6
	• 電池の⊕⊖を正しい向きに入れてください。	6
	• スタンバイランプが赤色に点灯していないときは、本体の電源スイッチを押してください。	17
	• リモコン先端部を手などで覆わないようにして操作してください。	
リモコンの①～⑫/選局**の数字ボタン**を押しても、チャンネルが選べない。	• 数字ボタンを押す前に、見たい放送（地上アナログ、地上デジタル、BSデジタル、110度CSデジタル）のボタンを押してください。	35
	• チャンネル番号を直接入力する場合は、10キーボタンを押したあとに数字ボタンを押してください。最後に⑫/選局ボタンを押すとチャンネルが切り換わります。	35
本機のリモコンで、**つないだ機器を操作できない。**	• 本機のリモコンで操作できるのはブラビアリンク対応機器のみです。	
	• つないだ機器ごとにリモコンに登録してください。	52
	• ブルーレイディスクレコーダーやハードディスクレコーダーをつないだときは、つないだ機器側のリモコンモードに対応した登録番号で登録してください。	52

番組表

症状	対処のしかた	参照ページ
番組表や現在番組表に表示される**番組が少ない。**	• お買い上げ時、または長時間本体の電源スイッチで主電源を切った状態のあとは、番組表に表示される番組が少ないことがあります。しばらく視聴すると表示されます。	
	• 番組表や現在番組表が表示されているときに、オプションから[番組情報取得]を選んでください。番組情報を取得し直します。	45
番組表や現在番組表に表示される**チャンネルが少ない。**	• チャンネル登録で、番組表や現在番組表に表示されるチャンネルを設定してください。	74、75
	• 番組表や現在番組表が表示されているときに、オプションから[チャンネル表示形式]を選んで[すべて表示]に設定してください。	45

番組の購入

症状	対処のしかた	参照ページ
有料放送(ペイパービューなど)が購入できない／視聴できない。	• 電話回線の接続と設定が正しいか確認してください。	81、85
	• 視聴契約してください。また、番組によっては購入可能時間が決まっているものがあります。	
	• 番組の購入可能件数を超えると購入できなくなります。	

画面表示

症状	対処のしかた	参照ページ
表示されない設定項目がある。	• 受信している放送や設定･調整状況によっては、表示されない項目や設定できない項目があります。	
地上デジタルの**放送局のマーク**が表示されない。	• 地上デジタルの各放送局をしばらく視聴すると、放送局のマークが表示されます。	
ホームメニューの動作が遅い、スクロールできない。	• [ホームメニュー速度設定]を確認してください。[標準]以外に設定されていると動作がゆっくりになったり、スクロールが無効になります。	83

次のページにつづく⇨

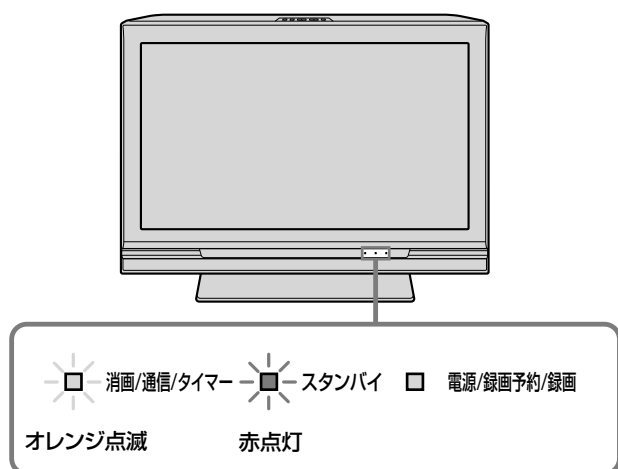
エラーメッセージ

メッセージ一覧	エラーコード	対処のしかた	参照ページ
衛星アンテナがショートしたため、衛星アンテナ電源の設定を「切」にしました。取扱説明書をご覧ください。		(1) 本体の電源スイッチで主電源を切り、衛星用同軸ケーブルの芯線がBS/110度CS IF入力端子やケーブルのまわりの金属部分に触れていないか確認してください。 (2) 本体の電源スイッチで主電源を入れてください。 (3)「かんたん設定」の途中でメッセージが表示された場合は、「かんたん設定」をやり直してください。 (4) [BS/CS：衛星アンテナ設定]を[オート]または[入]に設定してください。マンションなどの共同受信システムの場合は[切]に設定してください。 (5) それでも表示が消えないときは、本体の電源スイッチで主電源を切り、お買い上げ店またはソニーご相談窓口にお問い合わせください。	17 73
B-CASカードを入れてください。		• B-CASカードが挿入されていません。B-CASカードを正しく入れてください。	10
B-CASカードを読み取れません。カードを抜き差ししても直らない場合はカスタマーセンターにお問い合わせください。	コード：××××	• B-CASカード以外は使えません。付属のB-CASカードをお使いください。	10
		• B-CASカードの入れる向きが前後、表裏逆向きになっていないか確かめてから、もう一度しっかり入れ直してください。	10
		• B-CASカードが破損している場合や、入れ直してもメッセージが表示されるときは、「デジタル放送お問い合わせ先一覧」をご覧になりお問い合わせください。	112
このB-CASカードには必要な情報がありません。ご覧のチャンネルのカスタマーセンターにお問い合わせください。	コード：××××	• 選局した番組は未契約のため視聴できません。ご覧のチャンネルのカスタマーセンターまでお問い合わせください。	
本機では、このサービスには対応していません。	E210	• 放送チャンネルではないため、視聴できません。 別のチャンネルを選局してください。	
信号レベルが低下しています。視聴できる状態ではありません。アンテナ線の緩みや抜けの可能性もあります。	E201	• 雨などの影響により、一時的に受信レベルが低下しています。しばらくお待ちください。アンテナの接続が正しく行われていない可能性もあります。	
降雨対応放送に切り換わりました。	E201	• 雨などの影響により、衛星からの電波が弱くなったため、降雨対応放送に切り換わりました。画質や音質が低下した状態で受信します。天候が回復次第、もとの状態に戻ります。	111
受信できません。ケーブルをつなぎ直すかアンテナ再調整などをしてください。大雨・大雪が影響している場合もあります。	E202	• 悪天候による受信障害やアンテナの設定、調整が正しくできていない場合があります。また放送されていないチャンネルを選局している場合もあります。	
このチャンネルは現在休止中です。	E203	• 放送を休止しているチャンネルを選局しています。 別のチャンネルを選局してください。	

メッセージ一覧	エラーコード	対処のしかた	参照ページ
該当するチャンネルはありません。	E204	• 放送のないチャンネルを選局しています。 別のチャンネルを選局してください。	
本機では、データを表示できません。	E401	• データ放送を正しく受信できません。 別のチャンネルを選局してください。	
チャンネルが設定されていません。		• チャンネルが割り当てられていない数字ボタンを押しています。	74、75、76
この信号には対応していません。入力する信号を変更してください。		• パソコンまたはHDMIの入力信号が未対応の信号です。	122
この信号は推奨していません。入力する信号を変更してください。		• パソコンまたはHDMIの入力信号が推奨でない信号です。	122
展示モードを実行中です。		• 展示モードが「入」に設定されています。展示モードの解除を行ってください。	108

電源スタンバイ中の動作について

電源スタンバイ中(スタンバイランプが赤く点灯)、以下のデータを受信したときに、「カチッ」と音がして、本機前面の消画/通信/タイマーランプが点滅し続けることがあります。
－双方向サービス情報の取得中
－最新ソフトウェアへの更新中

ソフトウェア更新中/データ取得中の表示

消画/通信/タイマーランプ点滅中は、本機内部の回路が自動的に動作し、データ受信とソフトウェアの書き換えをしています。
データ受信やソフトウェアの書き換えが終了すると、自動的に電源スタンバイ状態に戻り、消画/通信/タイマーランプも消灯します。

展示モードを解除する

お買い上げ時に本機の展示モードが「入」に設定されていることがあります。画面右下に「展示モードを実行中です。」と表示されたときは、下記のいずれかの方法で展示モードを解除してください。

－個人情報の初期化を行う
[個人情報初期化](☞84ページ)

－地上デジタルのチャンネルスキャンを行う
[地上デジタル:自動チャンネル設定](☞74ページ)で[再スキャン]または[初期スキャン]を選ぶ。

－地上アナログのチャンネルスキャンを行う
[地上アナログ:自動チャンネル設定](☞75ページ)で[スキャン]を選ぶ。

個人情報を初期化する

本機を廃棄するときやお買い上げ時の設定に戻したいときは、個人情報を初期化してください。以下のすべての情報が、一括して消去されます。

初期化される内容

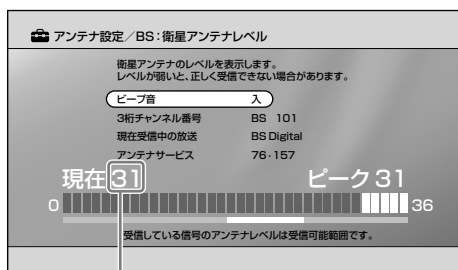
- データ放送で登録した個人情報やポイントなど
- 暗証番号･パスワードなどの登録情報
- 予約の情報
- 予約やペイパービューなどの履歴情報
- メール
- 登録したブックマーク
- 登録発呼の登録･履歴情報
- お好みナビの設定や学習情報、語句の設定
- 放送設定の設定内容(地域設定など)
- 接続サーバーの設定
- ネットワーク設定(IPアドレスなど)
- レンダラーの設定(アクセス許可など)
- 通信などによる各種証明書
- デジタル放送各種チャンネル設定
- 画質･音質などの設定
- オプション項目の並び換えなどの設定

ダウンロードの流れについて

本機を最新の状態に保つために、デジタル放送から最新情報をダウンロードして、ソフトウェアを更新します。

ダウンロードに必要な条件

- デジタル放送のアンテナレベル(☞73ページ)が「20」以上であること

例:BS放送のアンテナレベル表示画面の場合

ここが20以上であれば、ダウンロードが正しく行われます。

- [デジタル放送からのダウンロード]が[オート]に設定されていること(☞84ページ)

ダウンロードの流れ

ダウンロード案内のメールが届く*
ダウンロードの日程や注意事項が書かれています。

ダウンロードの実行
ダウンロードは自動的に行われます。

データ取得メールが届く*
更新のための注意事項が書かれています。

ソフトウェアの更新
ソフトウェアの更新は自動的に行われます。

更新終了のメールが届く*

＊ 新しいメールが届くと古いメールは自動的に削除されます。
メールを確認するには、☞64ページをご覧ください。

ダウンロードの実行

数時間ごとに、デジタル放送から数分程度のソフトウェア書き換え用のデータ信号が送信され、本機が自動的にその信号を受信します。ダウンロードの実行には20分前後かかります。

ソフトウェアの更新

ダウンロード終了後、リモコンで電源を切ると自動で内部ソフトウェアを更新します。ソフトウェアの更新は10分前後かかります。更新中は本機前面の消画／通信／タイマーランプが点滅し、操作ができないことがあります。

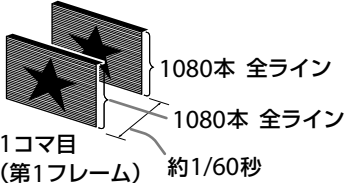
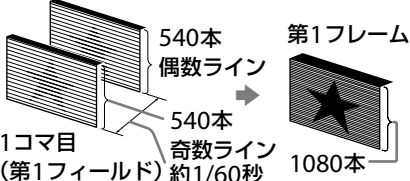
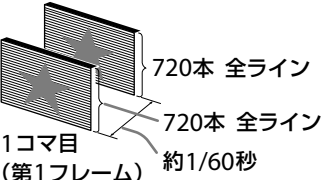
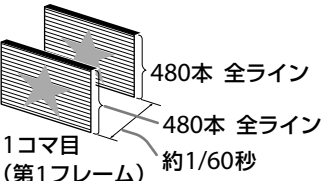
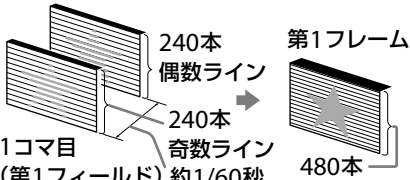
ダウンロードについてのQ&A

「1回目の信号でうまくダウンロードできなかったら？」
ご安心ください。ソフトウェア書き換え用のデータ信号は、一定の期間内に何回も送信されます。

「電源コードを抜いておくとダウンロードされないの？」
電源コードが抜かれていたり、本体の電源スイッチで主電源を切ったりしたときは、ダウンロードは行われません。

「ソフトウェア更新中に電源コードを抜くとどうなるの？」
ソフトウェア更新中は、電源コードを抜かないでください。ソフトウェア更新が途中で終了し、誤動作を起こす場合があります。

「ダウンロードによって、設定内容がお買い上げ時の状態に戻ったりしないの？」
ご安心ください。お客様が設定した内容は書き換えられることなく、保持されます。

ご注意

- 手動ではダウンロードできません。
- ダウンロードをしないように設定すると、デジタル放送が正しく受信できなくなることがあります。そのため、自動でダウンロードできる設定のままお使いいただくよう、強くおすすめします。
- お買い上げ時は[地上デジタル:自動チャンネル変更]が[する]に設定されているため、新しく放送局が開設されたときなどは、ダウンロードによって受信できる放送のチャンネル番号などが自動的に変わります。録画予約を設定しているときも、チャンネル番号が変わると正しく予約が行われないことがありますので、ご注意ください。
  ホームメニューから(設定)→(放送受信設定)→[地上デジタル:自動チャンネル変更]の順に選ぶ。

デジタル放送／デジタル信号について

画像について

下記のように**全部で5種類の画像方式があります。**

画像方式	説明
1125p（1080p）のデジタルハイビジョン信号 HD	2コマ目（第2フレーム） 1080本 全ライン 1080本 全ライン 1コマ目（第1フレーム） 約1/60秒
1125i（1080i）のデジタルハイビジョン信号 HD	2コマ目（第2フィールド） 540本 偶数ライン 第1フレーム 540本 奇数ライン 1コマ目（第1フィールド） 約1/60秒 1080本
750p（720p）のデジタルハイビジョン信号 HD	2コマ目（第2フレーム） 720本 全ライン 720本 全ライン 1コマ目（第1フレーム） 約1/60秒
525p（480p）の標準テレビ信号 SD	2コマ目（第2フレーム） 480本 全ライン 480本 全ライン 1コマ目（第1フレーム） 約1/60秒
525i（480i）の標準テレビ信号 SD	2コマ目（第2フィールド） 240本 偶数ライン 第1フレーム 240本 奇数ライン 1コマ目（第1フィールド） 約1/60秒 480本

iはインターレース（飛び越し走査）、pはプログレッシブ（順次走査）の略。（　）内は有効走査線数で数えたときの別称です。

地上デジタル放送について

アンテナについて

現在お使いのUHFアンテナでも地上デジタルを受信できますが、詳しくは、お買い上げ店にお問い合わせください。

ケーブルテレビについて

ケーブルテレビでも受信･視聴できます。
お住まいの地域のケーブルテレビで地上デジタルが放送開始されているかは、ケーブルテレビ放送会社にお問い合わせください。

ケーブルテレビ放送会社によって送信方式が異なりますが、本機はパススルー方式のすべての周波数に対応しています。

BS･110度CSデジタル放送について

- 高画質･高音質で、各種テレビ放送･データ放送･ラジオ放送が楽しめます。
- BSデジタルの有料放送や110度CSデジタルは受信契約が別途必要です。

音声について

次のような音声モードがあります。

音声モード	説明
モノラル	通常のニュース放送などに使われています。
ステレオ	音楽番組などに使われています。
サラウンド	映画などに使われています。
圧縮Bモード	CDと同等の高音質になります。

また、上記の音声の他にも、二か国語番組などの二重音声や、音声信号が複数ある番組の第2音声などがあります。
本機では、5.1chサラウンドなどの音声は、通常のステレオ放送（2ch）に変換されます。

1つの放送局でのマルチ放送について

地上デジタルとBSデジタルでは、1つの放送局が、デジタルハイビジョン信号HDの1チャンネル放送と、標準テレビ信号SDの複数チャンネル(2～5チャンネル)放送を、右の図のように時間帯によって切り換えるマルチ放送とがあります。

1つの放送局がデジタルハイビジョン信号で放送するとき、それぞれのチャンネル(191ch、192ch、193ch)で同じ番組を放送する場合があります(イベント共有)。チャンネル＋／－ボタンでチャンネルを選ぶときは、代表チャンネルのみが表示されます。

HD デジタルハイビジョン信号

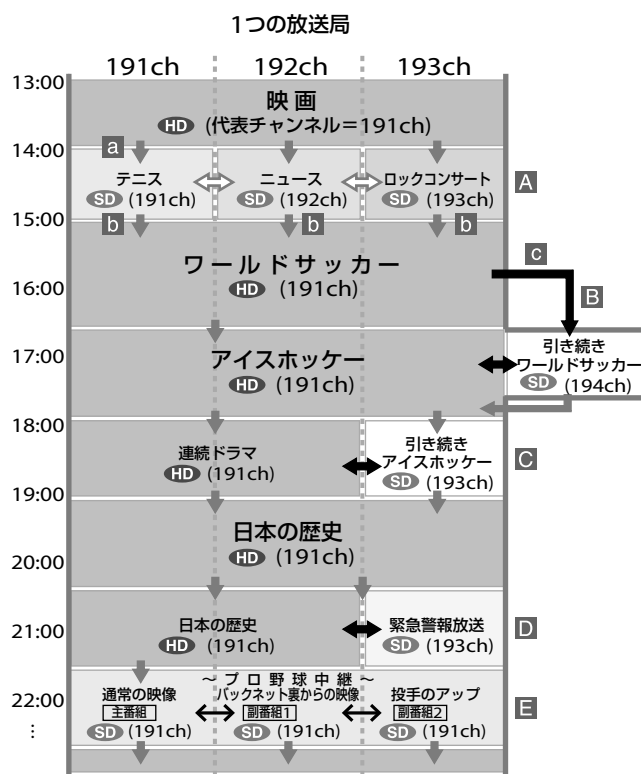
SD 標準テレビ信号

➡ 自動的に切り換わる

⇨ チャンネル＋／－ボタンで切り換える

➡ 数字ボタンでチャンネル番号を入力して切り換える

→ オプションの[映像切換]で切り換える

右記の番組は例であり、実際の放送局での放送内容とは関係ありません。

A 複数のチャンネルで違う番組を同時に放送 [マルチチャンネル放送]

上の例のように、同じ放送局の別々のチャンネルで、テニス、ニュース、ロックコンサートなどのようにそれぞれ違う番組を同時間帯に放送します。

a マルチチャンネル放送開始／b マルチチャンネル放送終了

B 延長した番組を最後まで放送[臨時放送]

上の例のように、サッカー中継が予定放送時間内に終わらないときに、同じ放送局の別チャンネルで引き続き試合終了まで放送し、元のチャンネルでは予定どおり、後番組のアイスホッケーを放送します。

c 臨時放送開始

C 他のチャンネルで引き続き放送 [イベントリレー]

放送中の番組が終了したあと別チャンネルで引き続き放送されるときは、お知らせが表示されます。[番組の継続視聴]を[する]に設定(☞75ページ)しているときは、時間になると自動的に切り換わります。

D 地震などの災害時に特別番組を放送 [緊急警報放送]

警戒警報や津波警報が発令されたときなどに放送されることがあり、画面に案内が表示されます。放送を見るときは、[はい]を選んでください(案内表示は録画実行中は出ません)。

E さまざまな角度から番組を放送 [マルチビュー放送]

上の例のように、プロ野球中継で、同じチャンネルのまま、最大3方向(通常の映像、バックネット裏からの映像、投手のアップ)の画面を見ることができます。オプションから[映像切換]を選びます。

雨天など受信状態が悪いときの放送

[降雨対応放送]

お買い上げ時は、「降雨対応放送に切り換わりました。」と表示され、画質や音質が通常放送に比べ低下した状態で引き続き受信するように設定されています。

ちょっと一言

[BS/CS:降雨対応放送受信]を[切]に設定すると、降雨対応放送に切り換わらなくなります(☞73ページ)。

その他

デジタル放送お問い合わせ先一覧

2008年10月現在の電話番号とホームページアドレスです。

有料BS・110度CSデジタル放送局

放送局	お問い合わせ電話番号／ ホームページアドレス
WOWOW[*1]	フリーダイヤル 0120-580807 受付 9:00 ～ 20:00（年中無休） http://www.wowow.co.jp/
スター・ チャンネル[*2]	スター・チャンネル カスタマーセンター 0570-013-111 PHS、IP電話のお客様は 045-339-0399 受付 10:00 ～ 18:00 http://www.star-ch.co.jp/ なお、スター・チャンネルBSの加入申し込みは、下記のスカパー！ｅ２へお問い合わせください。

＊1 テレビ放送のみが、視聴申し込みが必要な有料放送です。独立データ放送（WOWOW プロモチャンネル：791ch）は無料放送です。

＊2 テレビ放送のみが、視聴申し込みが必要な有料放送です。独立データ放送（800ch）は無料放送です。

110度CSデジタル衛星サービス会社

110度CSデジタル 衛星サービス	お問い合わせ電話番号／ ホームページアドレス
スカパー！ｅ２	■ カスタマーセンター 「スカパー！ｅ２ カスタマーセンター」 0570-08-1212 PHS、IP電話のお客様は 045-276-7777 受付 10:00 ～ 20:00（年中無休） ■ ホームページ 「スカパー！ｅ２ ホームページ」 www.e2sptv.jp

受信地域（エリア）や受信方法などのデジタル放送全般について

機関	ホームページアドレス
（社）デジタル放送 推進協会（Dpa）	http://www.dpa.or.jp

地デジの受信相談について

機関	お問い合わせ電話番号
総務省地上デジタル テレビジョン放送 受信相談センター	電話：0570-07-0101 （平日 9:00 ～ 21:00、 土・日・祝日 9:00 ～ 18:00）

録画制限と著作権保護について

デジタル放送では、番組の著作権を保護し、不正コピーやインターネットへの不正な配信を防ぐため、コピー制御信号を番組に多重し、暗号をかけて放送されております。同梱されているB-CASカードは必ず挿入してください。

デジタル放送の番組には次のような「コピー制御信号」が付加されています

● **録画禁止**

「録画禁止」の番組は、著作権が保護されているためデジタル録画できません。地上デジタルやBSデジタルの無料放送は、VHSなどのアナログ録画機器で録画できますが、BSデジタルの有料放送や110度CSデジタルは、番組によってアナログ録画できない場合があります。

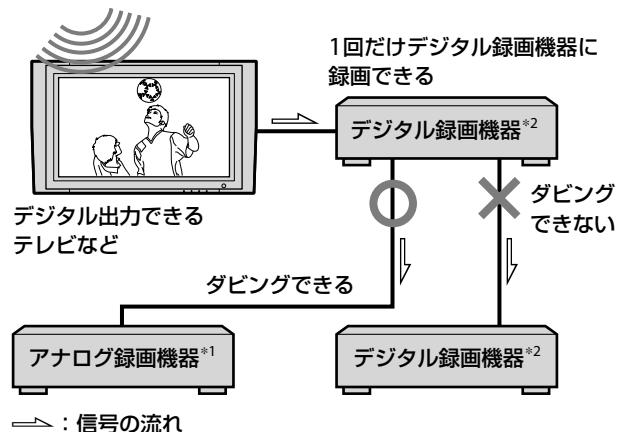
● **1回だけ録画可能**

「1回だけ録画可能」な番組は、著作権保護技術に対応した録画機器及び記録メディアにてデジタル録画できます。しかし、デジタル録画した番組を更にデジタル録画(コピー)することはできません。VHSなどのアナログ録画機器では録画に制約はありません。

● **録画可能**

個人的に利用される場合に限って、制限なしに録画可能です。

「番組説明」画面(☞45ページ)の番組情報欄で「コピーコントロール」情報を確認してください。

「1回だけ録画可能」の例

*1 VHS、8mmなど。
*2 DVDレコーダー、ハードディスクレコーダー、D-VHSビデオなど。

「1回だけ録画可能」な番組の録画について

録画機器	接続方法	録画制限
DVDレコーダーやハードディスクレコーダーなど	アナログ接続（映像･音声ケーブル）	録画可能*3
VHSなど	アナログ接続（映像･音声ケーブル）	録画可能

*3 DVDレコーダーでは、CPRM対応の録画用DVD-RWディスクを使用して、VRモードでのみ録画できます。また、CPRM対応のDVD-RAMディスクを使用しても録画できます。

アナログ接続で録画するときの録画制限について

本製品は、マクロビジョン社が保有する米国特許及びその他知的財産権によって保護されている著作権保護技術を採用しております。この著作権保護技術の使用は、マクロビジョン社の許可が必要で、また、マクロビジョン社の特別な許可がない限り家庭用及びその他の一部観賞用の使用に制限されています。分解、解析したり、改造することも禁じられております。

光デジタル音声出力における録音制限について

著作権が保護されている番組では、光デジタル音声出力からの信号を録音できない場合があります。

録画防止機能について

本機は、録画防止機能(コピープロテクション)が付いています。そのため、番組によっては、正常な画像で録画できなかったり、録画したものを正常な画像で再生できなかったりすることがあります。また、本機の映像信号を、録画機器を経由して外部モニターに出力すると、録画防止機能のため画像が乱れる場合があります。その場合、本機の映像出力端子から外部モニターに直接接続してください。

あなたが録画･録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できませんのでご注意ください。

本機の省エネ対応について

本機では、通常時の消費電力量を設定によって抑えたり、しばらく何も操作をしなかったときなどに自動で電源スタンバイになるようにするなど、省エネに対応しています。

したいこと	操作
消費電力	[消費電力]を[減(明)]または[減(暗)]に設定すると、消費電力を軽減できます。 また、ラジオ放送などをお楽しみになるときは、[減(消画)]にすれば、画面を消して音声のみを楽しめます。 ホームメニューから(設定)→(本体設定)→[消費電力]の順に選ぶ。
オートシャットオフ＊	約9分間、無信号を検出すると「オートシャットオフによりまもなく電源が切れます。」と画面に表示され、その1分後に電源スタンバイになります。深夜などの放送終了後には、自動で電源スタンバイになります。 ＊ 地上アナログのときのみ働きます。
無操作電源オフ	[無操作電源オフ]を[1時間]または[2時間]、[3時間]に設定すると、チャンネル切り換えや音量調節など、設定した時間内に何も操作をしなかったときは、「無操作電源オフによりまもなく電源が切れます。」と表示され、その5分後に自動で電源スタンバイになります。 お買い上げ時の設定は、[切]になっています。 ホームメニューから(設定)→(本体設定)→[無操作電源オフ]の順に選ぶ。
明るさセンサー	周囲の明るさに合わせて、自動的に画面の明るさを調整します。画質モード(☞66ページ)と消費電力の設定により、効果が異なったり、効果が出にくい場合があります。お買い上げ時の設定は[切]になっています。 ホームメニューから(設定)→(本体設定)→[明るさセンサー]の順に選ぶ。
バックライト	[バックライト]を低くすると消費電力を軽減できます。 ホームメニューから(設定)→(画質･映像設定)→[画質]→[バックライト]の順に選ぶ。
PCパワー マネジメント (HDMIケーブルでの接続は除く)	[PCパワーマネジメント]を[入]にしている場合、無信号を検出すると「PC入力信号がありません。」と表示され、その後約30秒間で自動的に電源スタンバイ(低消費電力モード)になります。信号が入力されたときに、自動で電源が入ります。 ホームメニューから(設定)→(本体設定)→[PCパワーマネジメント]→[入]の順に選ぶ。

ご注意

明るさセンサー(☞124ページ)の前に物を置かないでください。自動明るさ調節機能が働かないことがあります。

ちょっと一言

消画にしたままで電源を切ると、次に電源を入れたときは[消費電力]は[標準]に戻ります。

ブラビアリンクで使われている HDMI機器制御について

HDMI機器制御とは

HDMI機器制御は、HDMIで規格化されているHDMI CEC（Consumer Electronics Control）を使った機器間相互制御の機能です。ソニーのHDMI機器制御対応のテレビやハードディスク搭載ブルーレイディスクレコーダー、AVアンプなどをHDMIケーブルでつなぐと、それぞれの機器間で連動した操作ができるようになります。

HDMI機器制御機能を使うには

- 対応機器それぞれで、正しい接続·設定をする。
- 本機と対応機器の主電源を切らない。
- 本機で、対応機器を接続したHDMI入力に切り換える。
- 本機で、対応機器の映像や音声が正常に出ることを確認する。

対応機器をつなぐ*

HDMIケーブルでつなぎます。接続にはHDMIロゴがついているものをお使いください。AVアンプとの接続には、HDMIケーブルの他に本機の光デジタル音声出力端子とAVアンプの間を光デジタル接続ケーブルで接続してください(☞22、24ページ)。

* HDMI機器制御機能は、ソニーのHDMI機器制御対応機器間のみで可能です。

HDMI機器制御の設定をする

HDMI機器制御を使うには、本機とつないだ機器側でそれぞれ設定が必要です。本機側の設定については、☞79ページをご覧ください。つないだ機器の設定はそれぞれの取扱説明書をご覧ください。HDMI機器制御設定連動に対応しているソニー製機器をつないでいるときは、本機のHDMI機器制御設定を有効にすると、つないだ機器のHDMI機器制御設定も有効になります。

HDMI機器制御でできること (☞55ページ)

- つないだ機器の電源を本機と連動して切ることができる。
- つないだ機器で再生すれば、本機の電源も連動し入力も自動で切り換わる。
- 簡単な操作でAVアンプからの音声に切り換えられる。
- AVアンプの音量調節をしたり消音したりできる。
- ホームメニューでHDMI機器を選べば、選んだ機器の電源が自動で入る。
- 本機のリモコンで他機器の基本的な操作ができる。
- つないだ機器の操作メニューを表示して、基本的な操作ができる。

ご注意

AVアンプは、ホームメニューの(外部入力)からは選べません。

ネットワーク機器について

DLNAについて

本機は、DLNAガイドラインに対応したネットワーク機器（サーバー）に記録された、写真・音楽・映像を楽しめます。
操作のしかたについては☞91ページを、接続については☞86ページを、設定については☞80ページをご覧ください。

接続対象機器

- DLNAガイドライン対応のネットワーク機器
- ソニールームリンク機能に対応したネットワーク機器

2008年1月現在推奨機種

- ソニー製　ブルーレイディスクレコーダー
  BDZ-V9
  BDZ-L70*
  BDZ-X90*

＊ AVCのフォーマットで録画されたものは、本機で再生できません。

- ソニー製　DVDレコーダー
  RDZ-D97A/RDZ-D77A
- ソニー製　デジタルスチルカメラ
  DSC-G1
- ソニー製　HDDコンポ　Netjuke
  NAS-M95HD
  NAS-M75HD
  NAS-D55HD
- VAIO Media Ver.2.0以降のプリインストールモデル

VAIO Media Ver.2.0以降のプリインストールモデルをお使いのときは

Ver.4.1未満の場合は「VAIO Media Ver.4.1」以降へアップグレードする必要があります。また、デジタル放送の録画映像を楽しむには、デジタル放送配信機能を持った「VAIO Media Ver.5.0」以降のバージョンを搭載したモデルが必要です。Ver.5.0未満の一部対象機種は「VAIO Media Ver.5.0」以降へアップグレードする必要があります。
（詳しくは、VAIOホームページの「サポート」ページ、http://vcl.vaio.sony.co.jpでご確認のうえ、必要に応じてVAIOのアップグレードをしてください。）

デジタル放送配信機能を持った機種については下記のVAIOホームページで確認してください。
http://www.vaio.sony.co.jp/

本機とのDLNA接続に対応しているサーバーかどうか、次のホームページで最新情報を確認してください。
http://www.sony.jp/event/DLNA/

ネットワーク機器について

- ネットワーク機器の種類によっては、ネットワーク機器側で登録が必要な場合もあります。詳しくは、ネットワーク機器の取扱説明書をご覧ください。
- ネットワーク機器でファイアウォールが設定されている場合にはネットワーク機能が使えない場合があります。ネットワーク機器の取扱説明書をご覧のうえ、必要な設定変更をしてください。

再生対象ファイル形式について

ネットワーク機器から送られるファイル形式が下記に該当するファイルを再生できます。ネットワーク機器によっては、ファイル形式を変換して送ります。その場合、変換されたあとのファイル形式が対象となります。詳しくは、ネットワーク機器の取扱説明書をご覧ください。

- 静止画：JPEG形式
- 音楽：MP3形式／リニアPCM形式
- 映像：MPEG2形式／ DTCP-IPで著作権保護されたデジタル放送コンテンツ*

＊ DTCP-IP（Digital Transmission Content Protection over Internet Protocol）とは、著作権保護を目的として開発されたネットワーク規格です。

上記のファイル形式でも、一部再生できない場合があります。

ネットワーク録画予約について

本機とネットワーク録画予約に対応している機器をつなげば、本機からネットワークを通してつないだ機器への録画予約ができます。操作のしかたについては☞95ページをご覧ください。
ネットワーク録画に対応した録画機器について、詳しくは下記のホームページをご覧ください。
www.sony.co.jp/bravia/support/

レンダラー機能について

レンダラーとはネットワーク上の他の対応コントローラー機器からの操作により写真や音楽、映像を本機で再生して楽しむことができる機能です。
本機のレンダラー機能に対応しているコントローラーについては、下記のホームページをご覧ください。
http://www.sony.jp/event/DLNA/

インターネットブラウザについて

インターネットブラウザの利用、またはかかる機能（ソフトウェアを含む）の不具合、通信障害などに起因または付随するあらゆる損害について、当社は一切責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。

保証書とアフターサービス

本機は日本国内専用です。電源電圧や放送規格の異なる海外ではお使いになれません。

保証書について

- この製品は保証書が添付されていますので、お買い上げの際、お買い上げの店からお受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。
  ただし、液晶パネルは2年間です。
- 本機のメモリーに保存されたデータは、保証の対象外です。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

「困ったときは」の項を参考にして、故障かどうかをお調べください。

それでも具合が悪いときはソニーご相談窓口へ

裏表紙にあるソニーご相談窓口へお問い合わせください。

BSデジタル、110度CSデジタルの放送局との受信契約や番組に関しては、ご覧になりたい放送局のカスタマーセンターや衛星サービス会社、B-CASカスタマーセンター(電話番号0570-000-250)にお問い合わせください。

部品の交換について

この製品は、修理の際に交換した部品を再生、再利用する場合があります。その際、交換した部品は回収させていただきます。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。

詳しくは、保証書をご覧ください。

何らかの原因でコンテンツが外部メディアや外部記録機器(“メモリースティック”、デジタルレコーディングハードディスクドライブなど)に記録できなかった場合や、外部メディア･外部記録機器に記録されたコンテンツが破損または消去された場合など、いかなる場合においてもコンテンツの補償およびそれに付随するあらゆる損害について、当社は一切責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料で修理させていただきます。

部品の保有期間について

当社では、カラーテレビの補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)を、製造打ち切り後8年間保有しています。この部品保有期間を修理可能の期間とさせていただきます。保有期間が経過したあとでも、故障箇所によっては修理可能の場合がありますので、お買い上げ店か、ソニーご相談窓口にご相談ください。

ご相談になるときは次のことをお知らせください。

型名： KDL-20J1
KDL-26J1
型名について詳しくは、☞97ページをご覧ください。

故障の状態：できるだけ詳しく

購入年月日：

お買い上げ店
TEL.

This television is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.

別売りアクセサリーを取り付ける [壁掛け]

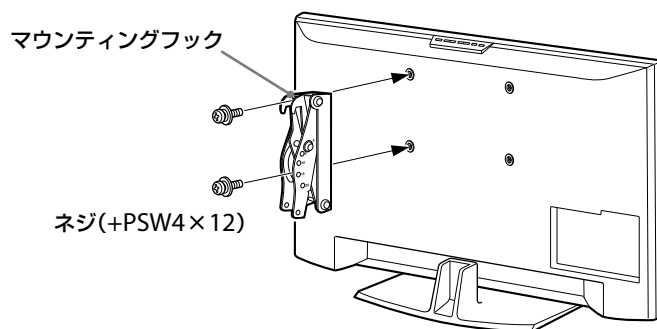
本機は別売りアクセサリーの壁掛けユニットSU-WL100を使用して、壁に取り付けることができます。
テレビの機種名を確認して、指定された壁掛けユニットを使用してください。また、必ず壁掛けユニットの取扱説明書もご覧になり、確実に行ってください。

壁に取り付ける場合は、必ず専用の壁掛けユニットを使用し、専門業者に取り付けを依頼してください。また、取り付け時には設置関係者以外近づかないでください。
専門業者以外の人が取り付けたり、壁への取り付けが不適切だと、テレビが落下したりして、打撲や骨折など大けがの原因となることがあります。

壁掛けユニットSU-WL100を使用するかたへ

下記もご覧ください。

- 壁掛けユニットの取扱説明書(手順2はKDL-26J1では不要です)
- 別冊の「安全のために」
- 「スタンドの付けかた／はずしかた」(☞8ページ)
- 「テレビ取り付け寸法表」(☞120ページ)
- 「フック位置一覧表」(☞120ページ)

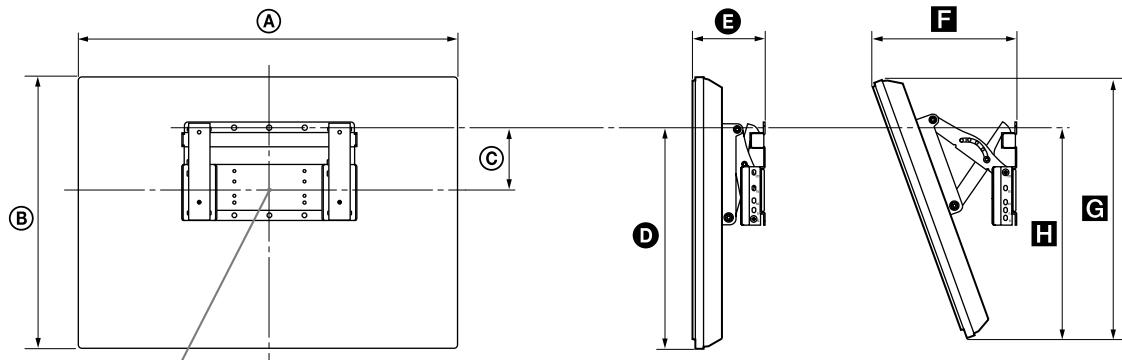
テレビ本体を付属のテーブルトップスタンドの上に設置し、マウンティングフックを取り付けてください。
壁掛けユニットの取扱説明書の手順5に対応しています。

次のページにつづく⇨

ご注意

テレビ後面左側からマウンティングフックを取り付けてください。
右側を先に取り付けると、角度調整する場合、作業しづらくなります。

別売りアクセサリーを取り付ける[壁掛け](つづき)

テレビ取り付け寸法表

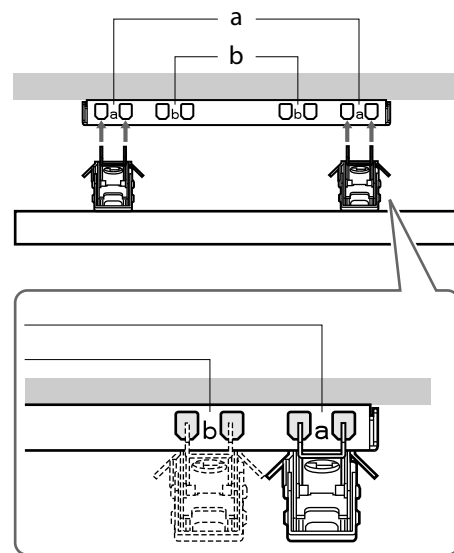
テレビを取り付けたときの画面の中心位置

⚠警告
取り付ける壁にはテレビ質量の4倍に耐えられる強度を要します。
テレビの質量は「主な仕様」(☞121ページ)をご覧ください。

単位:mm

テレビ型名	テレビ寸法		画面中心寸法	取り付け角度による長さ				
				角度0°		角度20°		
	Ⓐ	Ⓑ	Ⓒ	D	E	F	G	H
KDL-26J1	659	466	83	343	155	263	445	341
KDL-20J1	511	359	126	326	159	236	351	331

取り付け寸法は取り付け状態により若干異なることがあります。

フック位置一覧表

テレビ型名	フック位置
KDL-26J1	a
KDL-20J1	b

主な仕様

<table>
<tr><th colspan="2">テレビ型番(KDL-)</th><th>20J1</th><th>26J1</th></tr>
<tr><td rowspan="6">システム</td><td>受信方式</td><td colspan="2">NTSC方式、地上デジタル放送方式、BSデジタル放送方式、110度CSデジタル放送方式</td></tr>
<tr><td>受信チャンネル</td><td colspan="2">VHF 1 ～ 12チャンネル、UHF 13 ～ 62チャンネル、CATV(ケーブルテレビ放送会社との受信契約が必要)、
地上アナログ:C13 ～ C63、地上デジタル・BSデジタル・110度CSデジタル(テレビ・ラジオ・独立データ)の各チャンネル</td></tr>
<tr><td>BSデジタル・110度CSデジタル対応周波数</td><td colspan="2">1022 ～ 2072MHz</td></tr>
<tr><td>BSデジタル・110度CSデジタル対応ローカル周波数</td><td colspan="2">10.678GHz</td></tr>
<tr><td>使用スピーカー</td><td>フルレンジ 5×9cm楕円型(2)</td><td>フルレンジ 5.5×12cm楕円型(2)</td></tr>
<tr><td>音声出力</td><td>実用最大出力:5W＋5W　負荷インピーダンス:8Ω</td><td>実用最大出力:10W+10W　負荷インピーダンス:8Ω</td></tr>
<tr><td rowspan="12">入出力端子</td><td>アンテナ端子</td><td colspan="2">VHF/UHF、BS/110度CS IF 75Ω F型コネクター(コンバーター用電源出力、DC15/11V最大4W、芯線側＋、オート／入／切、メニュー切り換え)</td></tr>
<tr><td>ビデオ1 ～ 3入力端子</td><td colspan="2">S2映像:4ピンミニDIN　Y:1Vp-p、75Ω、不平衡、同期負　C:0.286Vp-p(バースト信号)、75Ω
映像:ピンジャック、1Vp-p、75Ω、不平衡、同期負
音声:ピンジャック、2チャンネル、500mVrms、インピーダンス47kΩ以上</td></tr>
<tr><td>コンポーネント1、2入力端子</td><td colspan="2">D5映像:D端子　Y:1Vp-p(0.3V負同期付き)　P_B/P_R、C_B/C_R:±350mVp-p、入力インピーダンス 75Ω
音声:ピンジャック、2チャンネル、500mVrms、インピーダンス47kΩ以上</td></tr>
<tr><td>HDMI1、2入力端子</td><td colspan="2">映像:デジタルRGB/Y C_B(P_B) C_R(P_R)
音声:PCM(32kHz、44.1kHz、48kHz)、ドルビーデジタル
(アナログ)音声(HDMI1入力のみ):ビデオ3音声入力端子を兼用</td></tr>
<tr><td>デジタル放送／ビデオ出力端子</td><td colspan="2">S2映像:4ピンミニDIN　Y:1Vp-p、75Ω、不平衡、同期負　C:0.286Vp-p(バースト信号)、75Ω
映像:ピンジャック、1Vp-p、75Ω、不平衡、同期負
音声:ピンジャック、2チャンネル、500mVrms、インピーダンス 4.7kΩ以下
テレビ放送の音声の100%変調時、またはBSデジタル放送の最大出力 －12dB時の数値です。</td></tr>
<tr><td>音声出力(可変／固定)端子</td><td colspan="2">2ch出力、ピンジャック、最大出力レベル 2.0Vrms、出力インピーダンス 5kΩ</td></tr>
<tr><td>ヘッドホン端子</td><td colspan="2">ステレオミニジャック、負荷インピーダンス 16Ω以上</td></tr>
<tr><td>光デジタル音声出力端子</td><td colspan="2">角型端子、AAC/AC3/PCM対応</td></tr>
<tr><td>電話回線端子</td><td colspan="2">モジュラージャック、直流抵抗値 293Ω</td></tr>
<tr><td>LAN(10/100)端子</td><td colspan="2">10 BASE-T/100 BASE-TXコネクター(ネットワークの使用環境により、接続速度に差が生じることがあります。
本機は10 BASE-T/100 BASE-TXの通信速度や通信品質を保証するものではありません。)</td></tr>
<tr><td>AVマウス端子</td><td colspan="2">ミニジャック</td></tr>
<tr><td>PC入力端子</td><td colspan="2">RGB映像:Mini D-Sub15ピン　RGB信号:0.7Vp-p、75Ω同期信号:TTLレベル、2.2kΩ
音声:ステレオミニジャック、500mVrms、インピーダンス 47kΩ以上</td></tr>
<tr><td rowspan="14">電源部、その他</td><td>モデム通信速度</td><td colspan="2">2400bps</td></tr>
<tr><td>使用温度</td><td>0℃～ 40℃</td><td></td></tr>
<tr><td>消費電力</td><td>67W</td><td>109W</td></tr>
<tr><td>消費電力(待機時)</td><td>0.09W(リモコン待機時　ただし、データ取得時を除く)
15W(高速起動「入」時)</td><td>0.09W(リモコン待機時　ただし、データ取得時を除く)
18W(高速起動「入」時)</td></tr>
<tr><td>年間消費電力量</td><td>63kWh ／年(スタンダード時)</td><td>91kWh ／年(スタンダード時)</td></tr>
<tr><td>区分名</td><td colspan="2">BEE</td></tr>
<tr><td>受信機型サイズ</td><td>20V</td><td>26V</td></tr>
<tr><td>パネル解像度</td><td colspan="2">1366×768×3(RGB)(ドット:水平×垂直)</td></tr>
<tr><td>有効画面サイズ(幅・高さ・対角)</td><td>44.5・25.0・51.0cm</td><td>57.6・32.4・66.1cm</td></tr>
<tr><td>視野角</td><td colspan="2">178度(JEITA規格準拠コントラスト比10:1)</td></tr>
<tr><td>最大外形寸法(最大突起部分を除く)(幅×高さ×奥行き)</td><td>51.1×35.9×9.9cm
51.1×39.6×21.1cm(スタンド含む)</td><td>65.9×46.6×9.5cm
65.9×50.5×24.2cm(スタンド含む)</td></tr>
<tr><td>質量</td><td>6.1kg
7.2kg(スタンド含む)</td><td>10.5kg
13.0kg(スタンド含む)</td></tr>
<tr><td>電源</td><td colspan="2">AC100V、50/60Hz</td></tr>
<tr><td>付属品</td><td colspan="2">「付属品を確かめる」(☞6ページ)をご覧ください。</td></tr>
</table>

次のページにつづく⇨

主な仕様(つづき)

PC入力対応信号表

	解像度 水平[pixel]/垂直[line]	水平周波数[kHz]/垂直周波数[Hz]	VESA規格
VGA	640/480	31.5/60	−
SVGA	800/600	37.9/60	○
XGA	1024/768	48.4/60	○
WXGA	1280/768	47.4/60	○
	1280/768	47.8/60	○
	1360/768	47.7/60	○

- Sync on Green/Composite Sync/Interlace信号には対応していません。
- PC入力対応信号表以外の信号を入力した場合、正しく表示されなかったり、各種設定ができなかったりすることがあります。
- 本機は垂直周波数が60Hzの入力信号を推奨しています。
- 接続状況によっては、映像がにじんだりぼやけたりして、正しく表示されないことがあります。その場合、パソコンの設定を変更してPC入力対応信号表にある他の入力信号を選んでください。

D端子について

デジタル放送には次のような信号フォーマットがあります。

信号フォーマット	走査線数	有効走査線数
525i(480i)	525本	480本
525p(480p)	525本	480本
1125i(1080i)	1125本	1080本
750p(720p)	750本	720本
1125p(1080p)	1125本	1080本

iはインターレース:飛び越し走査、pはプログレッシブ:順次走査の略です。
( )内は有効走査線数で数えたときの別称です。

デジタル放送の信号フォーマットに対応するD端子の種類は次のようになっています。

D端子の種類とその対応信号フォーマット

D端子の種類	525i	525p	1125i	750p	1125p
D1端子	○	×	×	×	×
D2端子	○	○	×	×	×
D3端子	○	○	○	×	×
D4端子	○	○	○	○	×
D5端子	○	○	○	○	○

別売りアクセサリー

2008年1月現在の別売りアクセサリーです。万一、品切れや生産完了のときはご容赦ください。

壁掛けユニット　SU-WL100
接続ケーブルなど　VM-50(AVマウス)
衛星アンテナなど

区分名と年間消費電力量について

- 区分名
  「エネルギーの使用の合理化に関する法律（省エネ法）」では、テレビに使用される表示素子、アスペクト比、画素数、受信可能な放送形態および付加機能の有無等に基づいた区分を行っています。その区分名称を言います。
- 年間消費電力量
  省エネ法に基づいて、型サイズや受信機の種類別の算定式により、一般家庭での平均視聴時間（4.5時間）を基準に算出した、1年間に使用する電力量です。

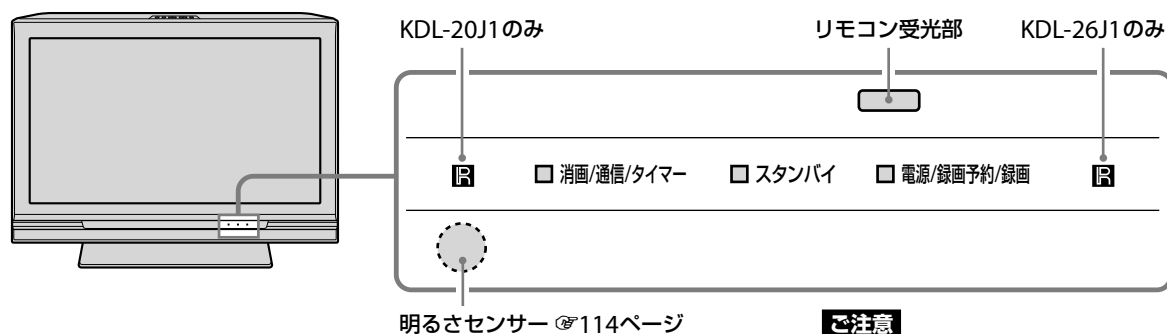
- 「JIS C 61000-3-2適合品」です。（KDL-26J1のみ）
  JIS C 61000-3-2適合品とは、日本工業規格「電磁両立性-第3-2部：限度値-高調波電流発生限度値（1相当たりの入力電流が20A以下の機器）」に基づき、商用電力系統の高調波環境目標レベルに適合して設計・製造した製品です。
- ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。
  Dolby、ドルビー及びダブルD記号はドルビーラボラトリーズの商標です。
- "XMB"、および"クロスメディアバー"は、ソニー株式会社および株式会社ソニー・コンピュータエンタテインメントの商標です。
- HDMI、HDMIロゴ、およびHigh-Definition Multimedia Interfaceは、HDMI Licensing LLCの商標または登録商標です。
- DLNA and DLNA CERTIFIED are trademarks and/or service marks of Digital Living Network Alliance.
- AdobeはAdobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の米国ならびに他の国における商標または登録商標です。
- 本機は電気通信事業法の規定に基づく技術基準適合認定モデルです。

機器名	認証番号
KDL-20J1	A08-0002005
KDL-26J1	A08-0003005

- このテレビは日本国内用です。電源電圧、放送規格の異なる外国ではお使いになれません。
- 仕様および外観は改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

その他

各部の名前

本機前面のランプ

ご注意

リモコン受光部、明るさセンサーの前には物を置かないでください。

ランプの点灯・点滅について

主電源「切」のとき

消画/通信/タイマー　スタンバイ　電源/録画予約/録画

電源スタンバイ中／ PCパワーマネジメント中（☞83ページ）

消画/通信/タイマー　スタンバイ　電源/録画予約/録画

スタンバイ：赤点灯

電源を入れたとき（☞17ページ）

消画/通信/タイマー　スタンバイ　電源/録画予約/録画

赤点灯　赤点灯　赤点灯

電源が入っているとき

消画/通信/タイマー　スタンバイ　電源/録画予約/録画

電源/録画予約/録画：緑点灯

消画中（☞83ページ）

消画/通信/タイマー　スタンバイ　電源/録画予約/録画

消画/通信/タイマー：緑点灯　電源/録画予約/録画：緑点灯

通信中（☞86ページ）

消画/通信/タイマー　スタンバイ　電源/録画予約/録画

消画/通信/タイマー：オレンジ点滅　電源/録画予約/録画：緑点灯

衛星アンテナ電源のショートなど（☞106ページ）

消画/通信/タイマー　スタンバイ　電源/録画予約/録画

電源/録画予約/録画：緑点滅

自己診断表示（☞97ページ）

消画/通信/タイマー　スタンバイ　電源/録画予約/録画

スタンバイ：赤点滅

主電源「切」以外のときは、上記に加えて、次のランプも点灯します。

スリープタイマー／オンタイマー作動中（☞65ページ）

ただし、消画中は緑色に点灯します。

消画/通信/タイマー　スタンバイ　電源/録画予約/録画

消画/通信/タイマー：オレンジ点灯

録画予約待機中

消画/通信/タイマー　スタンバイ　電源/録画予約/録画

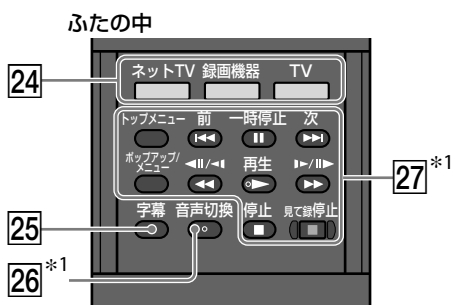
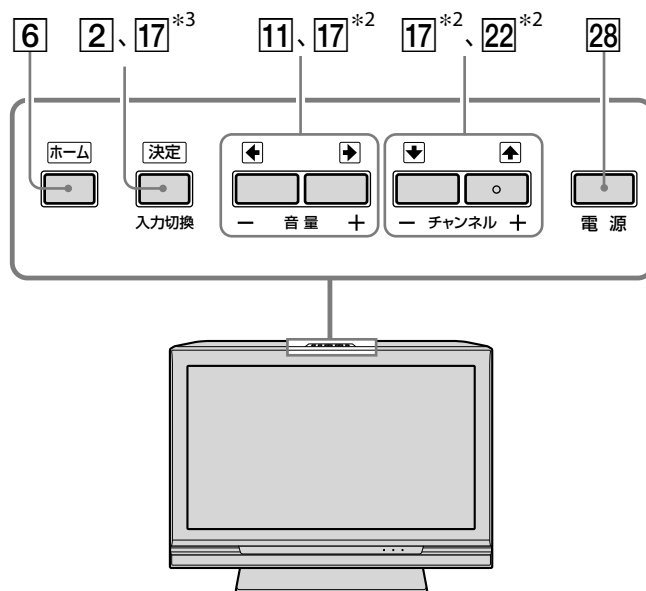
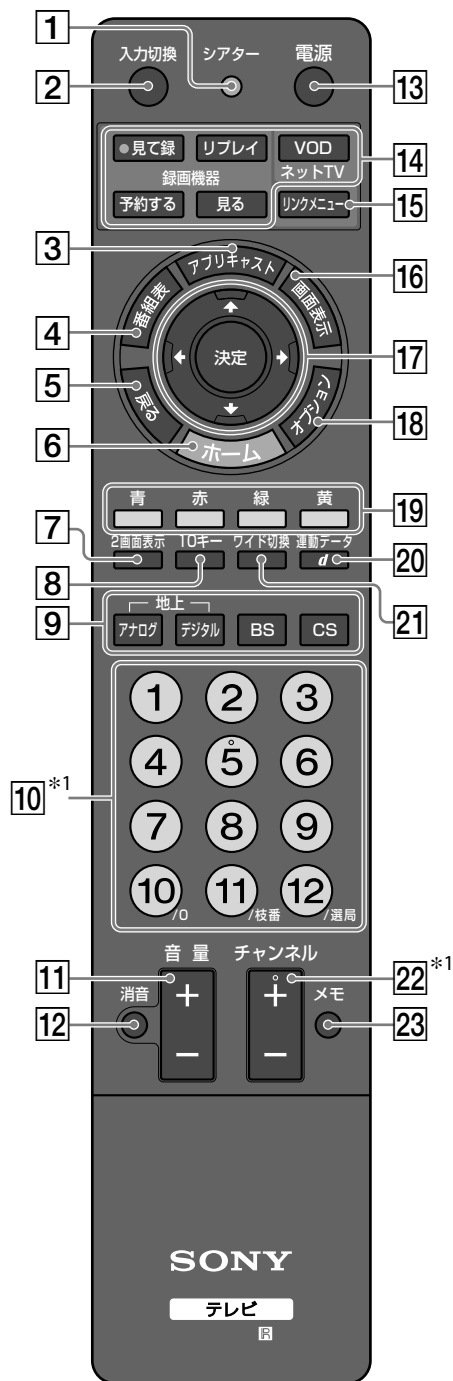
電源/録画予約/録画：オレンジ点灯

予約した録画の実行中（☞59ページ）

消画/通信/タイマー　スタンバイ　電源/録画予約/録画

電源/録画予約/録画：赤点灯

その他

リモコンと本体のボタン

＊1 の付いたボタン（チャンネル＋ボタン、音声切換ボタン、再生ボタン、数字ボタンの「5」）の上には、凸点（突起）が付いています。操作の目印として、お使いください。

＊2 ホームメニュー表示中は↑↓←→として働きます。

＊3 ホームメニュー表示中は、決定ボタンとして働きます。

次のページにつづく⇨

各部の名前（つづき）

1 **シアター**

シアターモードになります。映画の視聴に適した映像に自動で設定します。HDMIケーブルでAVアンプとつないでいれば、スピーカー出力も自動で切り換わります（☞55ページ）。
もとの設定に戻すには、もう一度ボタンを押してください。

ご注意

電源を切ると設定が「切」に戻ります。

2 **入力切換（☞50ページ）**

3 **アプリキャスト（☞87ページ）**

4 **番組表（☞44ページ）**

5 **戻る**

1つ前の画面に戻ります。

6 **ホーム（☞30ページ）**

7 **2画面表示（☞42ページ）**

8 **10キー（☞35ページ）**

9 **放送切換用ボタン（地上アナログ、地上デジタル、BS、CS）（☞35ページ）**

10 **数字**

チャンネルを切り換えたり（☞35ページ）、数字を入力します。

11 **音量＋／－**

音量を調節します。

12 **消音**

消音になります。電源スタンバイ時に押すと、最小の音量で電源が入ります。音量＋ボタンを押すと、音声が出ます。

13 **電源スイッチ**

電源を入／スタンバイします。

14 **他機器操作用ボタン（☞53ページ）**

15 **リンクメニュー（☞53ページ）**

HDMI入力につないだHDMI機器を選び、機器の操作メニューを表示します。

16 **画面表示**

チャンネルや番組情報を表示します。

17 **↑↓←→決定**

↑↓←→でホームメニューなどの項目を選んだり、カーソルの移動をします。
決定で選んだ項目を決定します。

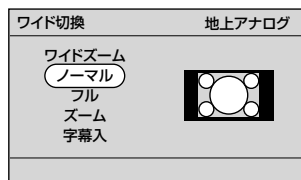
18 **オプション（☞30ページ）**

19 **カラーボタン（青、赤、緑、黄）（☞38、39ページ）**

20 **連動データ*d*（☞38ページ）**

その他

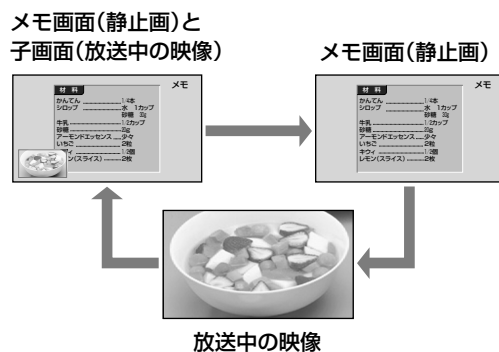
21 ワイド切換

押すと、下記の画面が表示されます。
⬆⬇で選んで、(決定)を押してください。

標準テレビ信号の4:3映像

デジタルハイビジョン信号の16:9映像

22 チャンネル＋／－(☞35ページ)

23 メモ

静止させたい場面が映っているときに押すと、2画面表示になり、押すたびに下記のように切り換わります。

ご注意

- 番組によっては、メモ画面を表示したあとでメモボタンを押さなくても、自動で放送中の映像(動画)が閉じることがあります。
- ラジオ放送と独立データ放送およびPC入力のときはメモボタンは働きません。

24 機器選択ボタン(☞53ページ)

25 字幕

字幕の入／切や言語を切り換えます。

ちょっと一言

- 字幕放送の取得には、時間がかかることがあります。
- 字幕ボタンを押すと、番組に字幕があるかどうかに関わらず、[第1言語]または[第2言語]、[切]に切り換わります。次に字幕のある番組が放送されたときに切り換えた字幕が表示されます。
- 字幕放送とはデジタル放送の映画やドラマなどの字幕のことです。

26 音声切換

副音声や第2音声(デジタル放送のみ)があるときに切り換えます。

ちょっと一言

チャンネルを切り換えたときは、第1音声に切り換わります。

27 他機器操作用ボタン(☞53ページ)

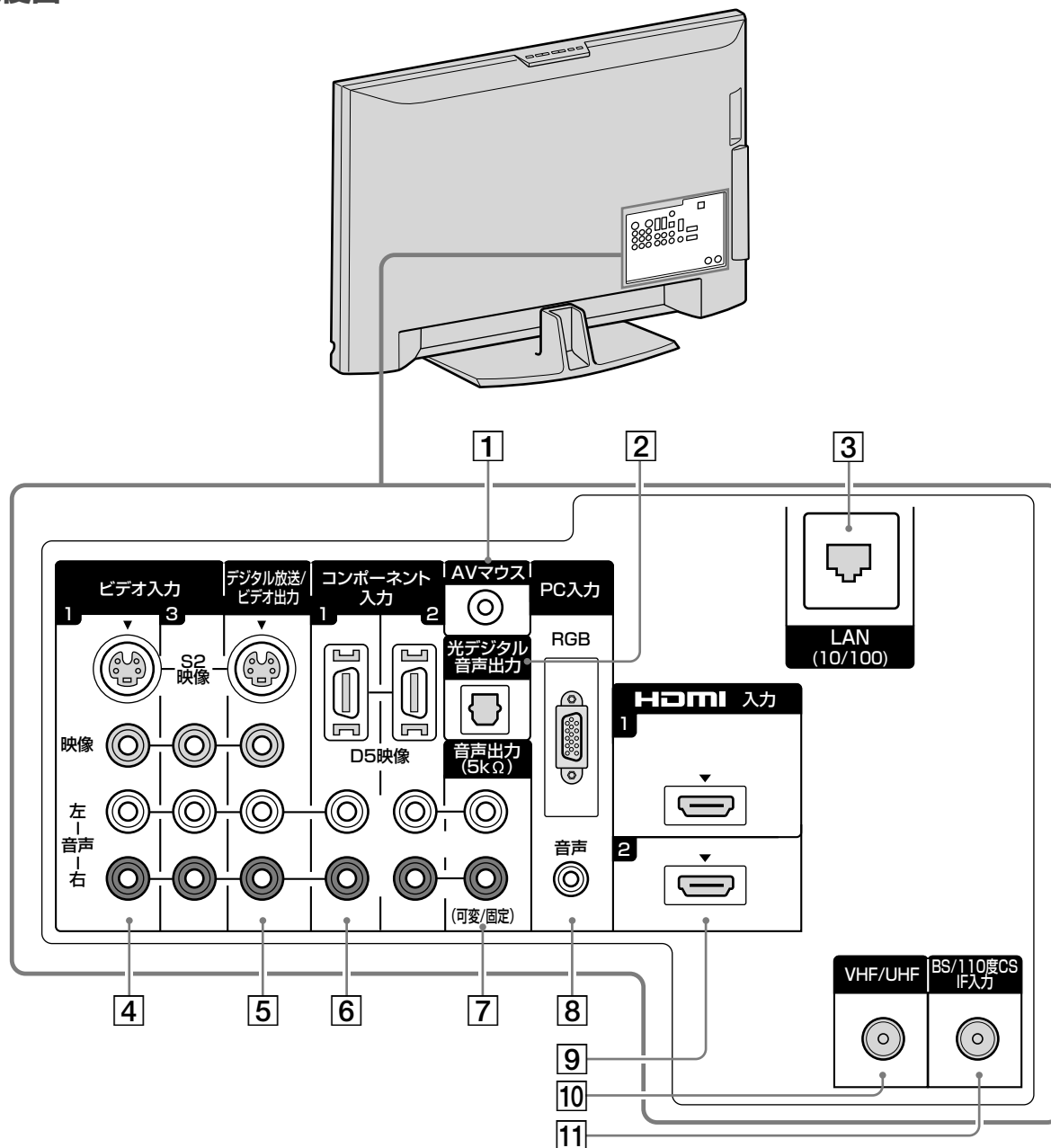
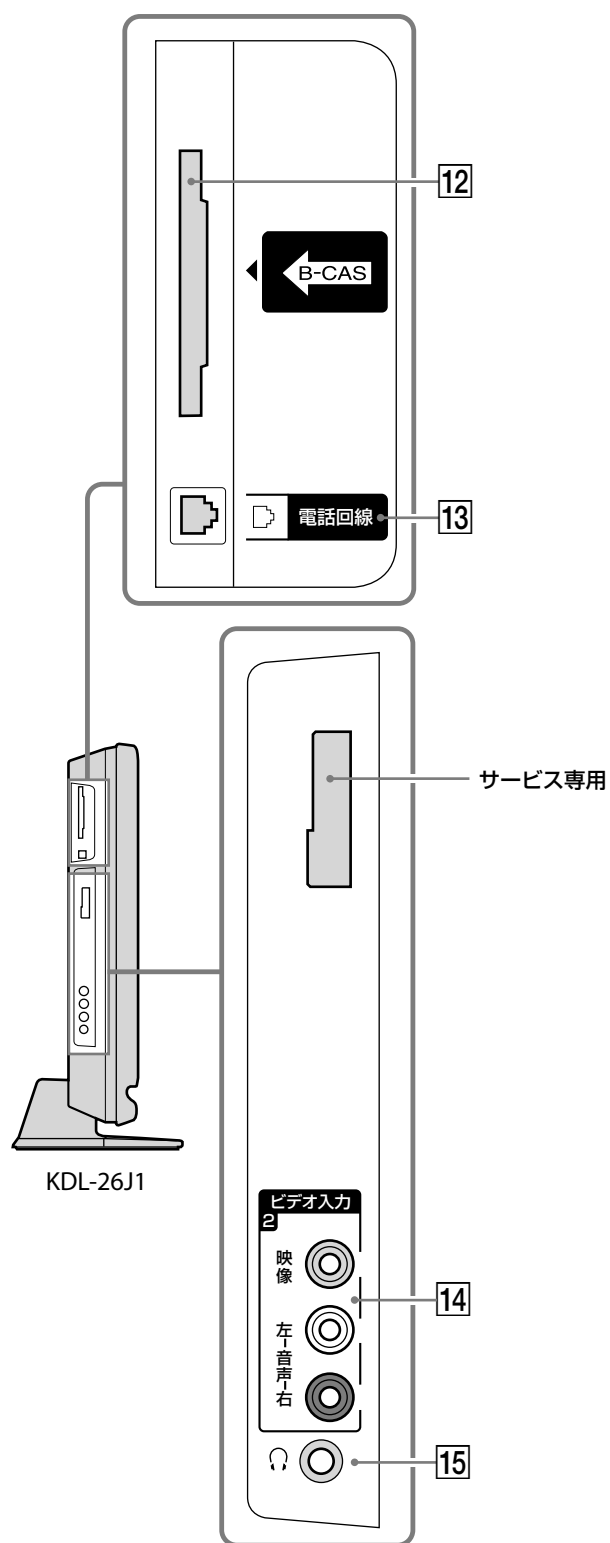
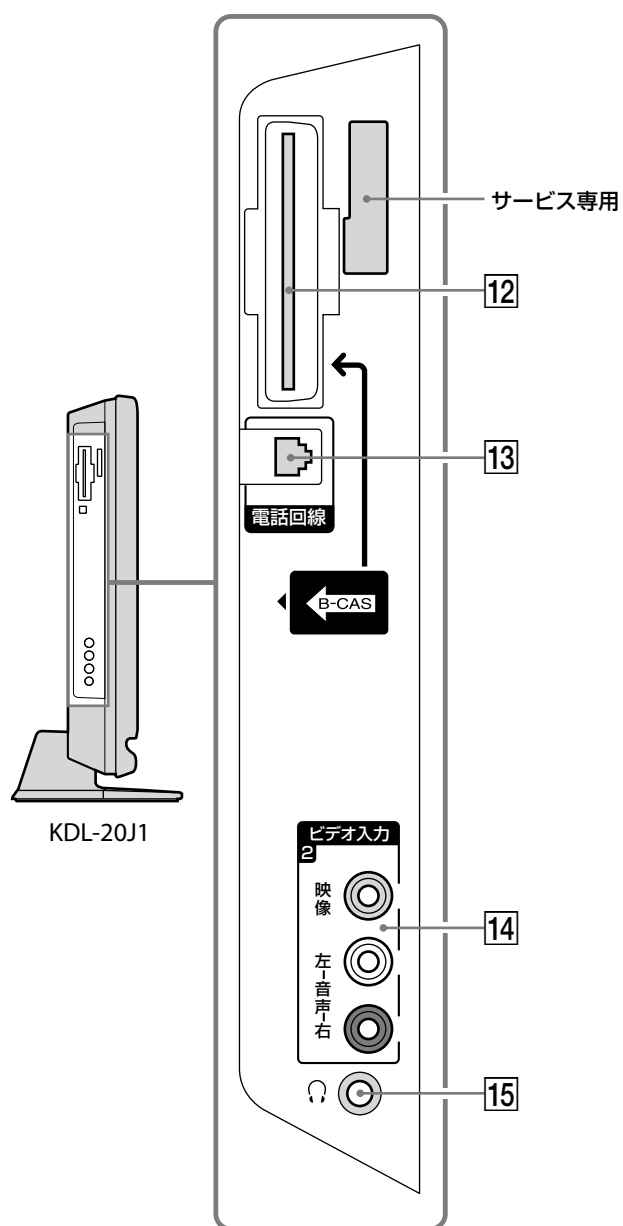
28 電源スイッチ

主電源を入／切します。

次のページにつづく⇨

接続端子

本機後面

1
2
3
ビデオ入力
1
3
デジタル放送/ビデオ出力
コンポーネント入力
1
2
AVマウス
PC入力
RGB
光デジタル音声出力
S2映像
映像
D5映像
音声出力(5kΩ)
左
音声
右
(可変/固定)
音声
LAN
(10/100)
HDMI 入力
1
2
VHF/UHF
BS/110度CS IF入力
4
5
6
7
8
9
10
11

本機左側面

その他

次のページにつづく⇨

各部の名前（つづき）

1 AVマウス端子（☞21ページ）

別売りのAVマウスをつなぎます。

2 光デジタル音声出力端子（☞24ページ）

AVアンプやホームシアター機器などの、光デジタル音声入力端子につなぎます。
デジタル放送のデジタル音声が出力されます。
また、地上アナログやアナログ録画機器などからのアナログ音声などはPCM音声（2ch）のデジタル信号に変換して出力されます。
Super Audio CDやDVD-Audioを再生する場合、本機と再生する機器をHDMIケーブルでつないでいるときは、本機の光デジタル音声出力端子からは、音声は出力されない場合があります。

3 LAN（10/100）端子（☞86ページ）

別売りのLANケーブルを使って、モデムやルーターにつなぎます。

4 ビデオ1、3入力端子（S2映像／映像／音声）（ビデオID-1システム）（☞22ページ）

録画機器やレーザーディスクプレーヤー、DVDプレーヤーなどの再生機器、およびデジタルCSチューナーなどのビデオ出力端子につなぎます。
ビデオ3入力の音声入力端子は、HDMI1入力の音声入力端子を兼用しています。

5 デジタル放送／ビデオ出力端子（S2映像／映像／音声）（☞21ページ）

録画機器のビデオ入力端子につなぎます。
地上アナログ、地上デジタル、BSデジタル、110度CSデジタル、ビデオ1 ～ 3入力*の信号が出力されます。
デジタル放送の録画実行中は映像･音声が固定されます。

＊ ビデオ1入力の信号については、［ビデオ1出力の設定］を［ビデオ1出力あり］に設定してください（☞79ページ）。
ホームメニューから（設定）→（外部入出力設定）→［ビデオ1出力の設定］→［ビデオ1出力あり］の順に選ぶ。

ご注意

- コンポーネント入力端子、HDMI入力端子、PC入力端子につないだ機器の映像･音声信号は出力されません。
- S2映像出力端子からは、デジタル放送の映像とビデオ1入力のS2映像入力端子につないだ機器の映像のみが出力されます。

6 コンポーネント1、2入力端子（D5映像／音声）（☞22ページ）

D5映像入力端子
デジタルCSチューナーや録画機器などのD映像出力端子につなぎます。

音声入力端子
デジタルCSチューナーや録画機器などの音声出力端子につなぎます。

7 音声出力（5kΩ）（可変／固定）端子（左／右）（☞24ページ）

オーディオ機器の音声入力端子につなぎます。
録画予約の設定（☞78ページ）に関係なく、選んでいるチャンネルや入力の音声が出力されます。

8 PC入力端子（RGB ／音声）（☞25ページ）

RGB入力端子
別売りのMini D-Sub15 - Mini D-Sub15ディスプレイケーブル（アナログRGB）を使って、パソコンのD-SUB出力端子につなぎます。Macintoshコンピューターにつなぐときは、必要に応じて市販のアダプターをお使いください。

音声入力端子
別売りの音声ケーブル（ステレオミニプラグ：抵抗なし）を使って、パソコンの音声出力端子につなぎます。

9 HDMI1、2入力端子（☞22ページ）

DVDプレーヤーやAVアンプ、パソコンのHDMI出力端子につなぎます。デジタル映像･音声信号を入力します。
対応している映像信号:525i（480i）、525p（480p）、750p（720p）、1125i（1080i）、1125p（1080p）、1125（1080）/24p
対応している音声信号:リニアPCM 32kHz、44.1kHz、48kHz、ドルビーデジタル

アナログ音声入力端子
HDMI1入力のアナログ音声は、ビデオ3入力の音声入力端子と兼用しています。DVI端子搭載機器のアナログ音声出力端子とつなぎます。

ご注意

- DVI端子搭載機器と接続する場合は、ビデオ3入力の音声入力端子に音声ケーブルを接続してください。
- DVI端子搭載機器と接続する場合は、DVI-HDMI変換用のケーブルをご使用ください。
- HDMIおよびDVI端子搭載機器と接続できますが、一部の機器では映像や音声が出ないなど正常に動作しない場合があります。

10 VHF/UHFアンテナ入力端子（☞12ページ）

アンテナケーブルやケーブルテレビのケーブルをつなぎます。

11 BS/110度CS IF入力端子（☞12ページ）

衛星アンテナからの同軸ケーブルをつなぎます。衛星アンテナ用の電源を供給するため、DC15/11Vの直流電圧が出ています。

ご注意

VHF/UHF用のアンテナ接続ケーブルは絶対につながないでください。

⑫ B-CASカード挿入口(☞10ページ)

付属のB-CASカードを挿入します。

⑬ 電話回線端子(☞85ページ)

市販のモジュラーテレホンコードカプラーを使って電話回線コンセントにつなぎます。また、ISDN回線をお使いのときは、ターミナルアダプターのアナログポートにつなぎます。ADSL回線をお使いのときは、スプリッターと市販のモジュラーテレホンコードカプラーを使ってつなぎます。

⑭ ビデオ2入力端子(映像／音声)(ビデオID-1システム)

テレビゲームやビデオカメラレコーダーなどのビデオ出力端子につなぎます。

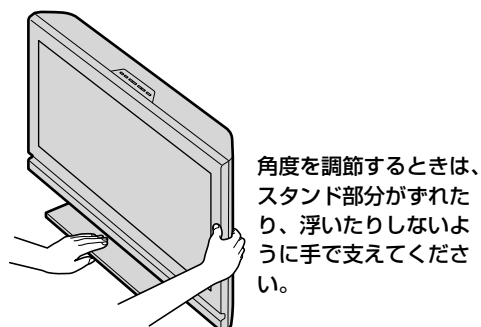
⑮ ヘッドホン端子

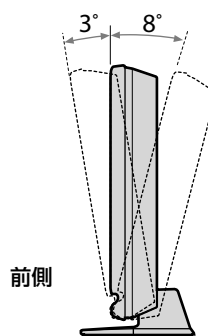
ヘッドホンをつなぎます。

見やすい角度に調節する［チルト・スイーベル］

ご注意

- 本体とスタンドの間に手や指をはさまないように動かしてください。調節するときは、壁などにぶつからないようにしてください。
- 調節するときに、液晶画面には触れないでください。
- 本機画面の向きを左右に調節したときに、スタンドの角がテレビ台などからはみ出すと落下やけがの恐れがあります。はみ出さないようにスタンドの位置を調節してください。

角度を調節するときは、スタンド部分がずれたり、浮いたりしないように手で支えてください。

本機画面の角度を前後に調節する(チルト)(KDL-20J1のみ)

右側から見た図

本機画面の向きを左右に調節する(スイーベル)(KDL-26J1のみ)

上から見た図

その他

索引

五十音順

あ行

か行

さ行

た行

な行

数字･アルファベット順